

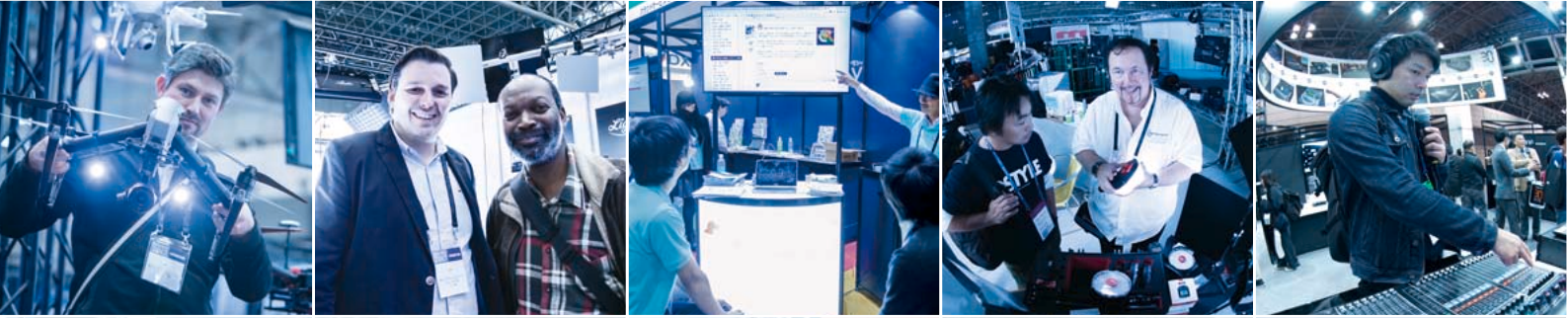
Broadmedia & Entertainment
Inter BEE

REVIEW 2017

INTER BEE ONLINE
www.inter-bee.com



#interbee2017





REVIEW 2017

WHAT WILL YOU DO NEXT?

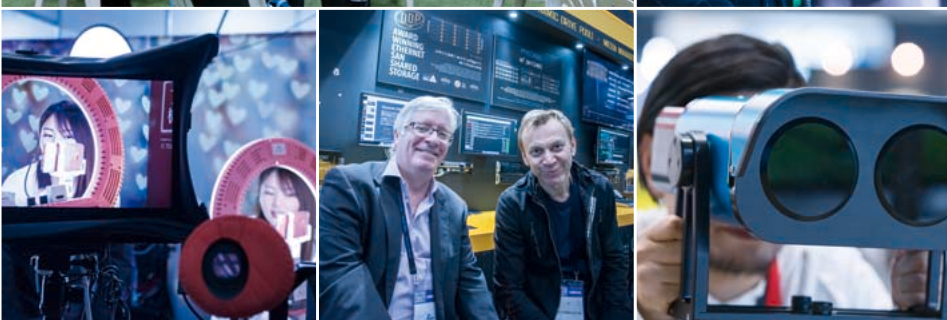
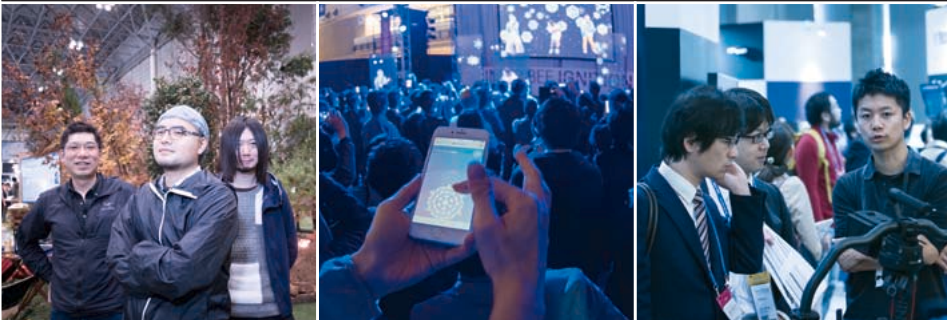
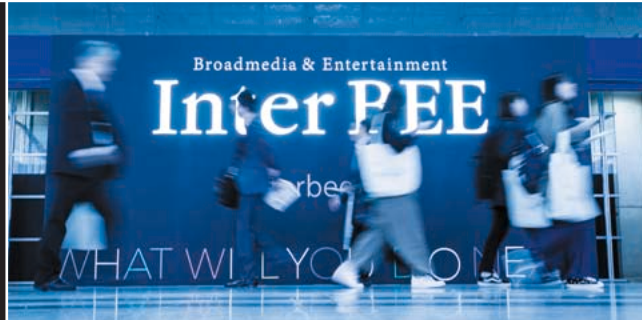


Table of Contents

Graphic Report

- Outline 02
- INTER BEE FOURM 04
- INTER BEE EXPERIENCE 08
- INTER BEE CONNECTED 12
- INTER BEE IGNITION 16
- INTER BEE CREATIVE 20

Ceremony Report

- Opening Ceremony / Reception Party 24

Exhibition Report

- News Center Pick up 26
- Exhibit Map 34
- Exhibitor List 40
- Online Magazine Headline 42

Forum & Event Programs

- INTER BEE FORUM 50
- INTER BEE EXPERIENCE 53
- INTER BEE CONNECTED 54
- INTER BEE IGNITION 56
- INTER BEE CREATIVE 57

Results

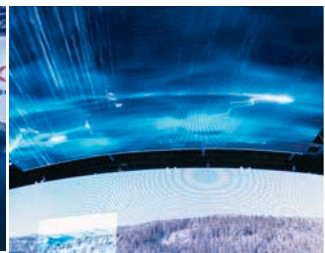
- Visitor Profile 58
- Exhibitor Profile 59
- Publication and Promotion 60

Photo by : Shigeharu Yoshihara

Akane Inagaki
Yukio Kurano
Kazuto Hattori
Masato Yoneyama
Takako Umemura
Fumiatsu Tabé
Seiji Abe
Katsumi Miyasaka



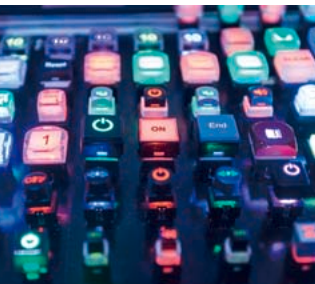
幕張メッセ1~8Hall、54,000㎡ 過去最大規模で開催！



4K・8K 超高精細映像の最新技術が集結



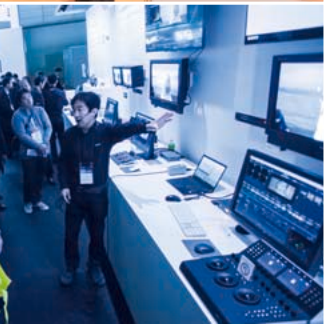
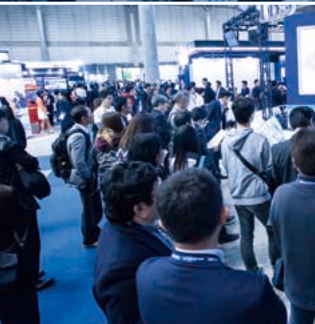
Broadmedia & Entertainment



高品位な音響制作技術、音響体験



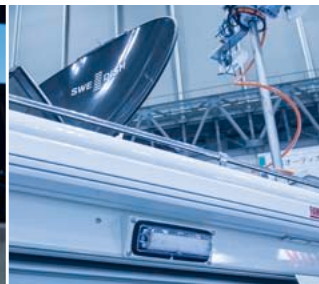
来場者数38,083名(過去最多)





過去最多**1,139社**が出展！

AI活用、VR、AR、新しいコンテンツ体験



IP伝送、クラウド、ネット配信、5Gにも注目



Broadmedia & Entertainment

Inter BEE 2017

開催概要

■名称 -----
Inter BEE 2017
(第53回)2017年国際放送機器展
International Broadcast Equipment Exhibition 2017

■会期 -----
11月15日(水) 10:00 ~ 17:30(※10:00 ~ 18:30)
11月16日(木) 10:00 ~ 17:30(※10:00 ~ 18:30)
11月17日(金) 10:00 ~ 17:00(※10:00 ~ 16:00)
※印は「SRスピーカー体験デモ」実施時間(イベントホール)

■会場 -----
幕張メッセ
展示ホール1~8・国際会議場・イベントホール

■入場 -----
無料(全来場者登録入場制)

■主催 -----
一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)

■後援 -----
総務省、経済産業省(建制順)
NHK、一般社団法人日本民間放送連盟、
一般社団法人電波産業会(順不同)

■協力 -----
IPDCフォーラム、一般社団法人IPTVフォーラム、一般社団法人衛星放送協会、特定非営利活動法人映像産業振興機構、一般社団法人映像情報メディア学会、一般社団法人映像配信高度化機構、公益社団法人映像文化製作者連盟、一般社団法人カメラ映像機器工業会、公益社団法人劇場演出空間技術協会、一般財団法人最先端表現技術利用推進協会(表技協)、3Dコンソーシアム、全国舞台テレビ照明事業協同組合、先進映像協会 日本部会、超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム、一般財団法人デジタルコンテンツ協会、デジタルサイネージコンソーシアム、一般社団法人デジタルメディア協会、一般財団法人電波技術協会、一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構、一般社団法人日本アド・コンテンツ制作協会、協同組合日本映画撮影監督協会、一般社団法人日本映画テレビ技術協会、協同組合日本映画テレビ照明協会、一般社団法人日本オーディオ協会、一般社団法人日本音楽スタジオ協会、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟、一般社団法人日本CATV技術協会、公益社団法人日本照明家協会、一般社団法人日本動画協会、一般社団法人日本パブリックビューイング協会、NPO法人日本ビデオコミュニケーション協会、一般社団法人日本舞台音響家協会、日本舞台音響事業協同組合、一般社団法人日本ポストプロダクション協会、一般財団法人プロジェクションマッピング協会、一般社団法人放送サービス高度化推進協会、マルチスクリーン型放送研究会、一般社団法人モバイルブロードバンド協会

■グローバルパートナー



■運営 -----
一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会(JESA)
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-1-3
大手センタービル5階
電話：(03) 6212-5231

INTER BEE FORUM

4K・8K実用放送からAI、5Gまで 放送とコミュニケーションの新しい扉が開かれる



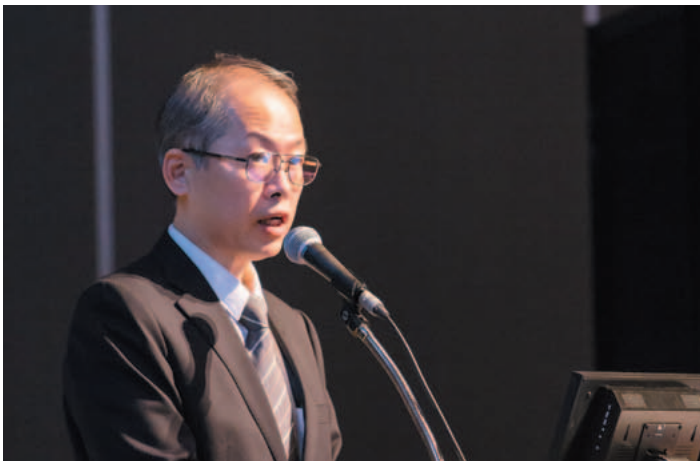
今年のINTER BEE FORUMは過去最多の27セッションとなり、定員500名のコンベンションホールAも使用して会場規模が拡大、満員のセッションが続出するなど例年以上に大いに賑わった。

なかでも注目を集めたのは、4K・8K実用放送の開始を目前に控え、同時にネット配信での次のビジネス展開を見据えた各放送局の取り組みだ。開催初日の15日(水)、オープニングセッションとなった「4K・8K実用放送に向けて」や、INTER BEE CONNECTEDの基調講演「配信新時代 ~キー局とプラットフォーム~」では、立ち見がでるほどの来場者が集まり、多くの聴講者が各局の取り組みに熱心に耳を傾けた。

一方で、今回のセッションで最も多く取り上げられたキーワードは「AI(人工知能)」。多様な分野で注目を集めるAIだが、放送やコミュニケーションメディア、コンテンツクリエイティブの分野でも次代に影響を与える大きな要素となっている。AIが放送をはじめとしたメディア業界にどのようなインパクトをもたらし、そのテクノロジーはコンテンツ制作にどう活用されて行くのか。AIを取り上げた各セッションでは、熱心な議論が展開された。

また17日(金)の基調講演のクロージングは「5Gセッション 2017」が行われ、通信キャリア2社の5Gへの取り組みや活動状況も含めた今後への展望が報告された。5Gの実用化により、メディアやコミュニケーションの新しい扉がどう開かれて行くのか。2020年も近づくなか、加速する様々な変化に大きな期待が寄せられる、熱気あふれる3日間だった。

Date:	Nov. 15-17
Place:	International Conference Hall
Area:	1,685 sqm
The Number of Sessions:	27
The Number of Speakers:	115
The Number of Audiences:	7,464





基調講演・特別講演では、海外からのスピーカー、パネリストも招き、IPライブ伝送制作をはじめ海外の映像技術トレンド、次世代放送技術に関する講演、事例報告が行われ、放送技術を現場で担う技術者など多くの来場者の関心を集めた。

また、映像・音響シンポジウムに加えて、これまでのチュートリアルセッションに替わり、今回から一新された映像と音響のテクニカルセッションでは、映像・音響のコンテンツ制作に関する多様な最新技術動向が報告された。





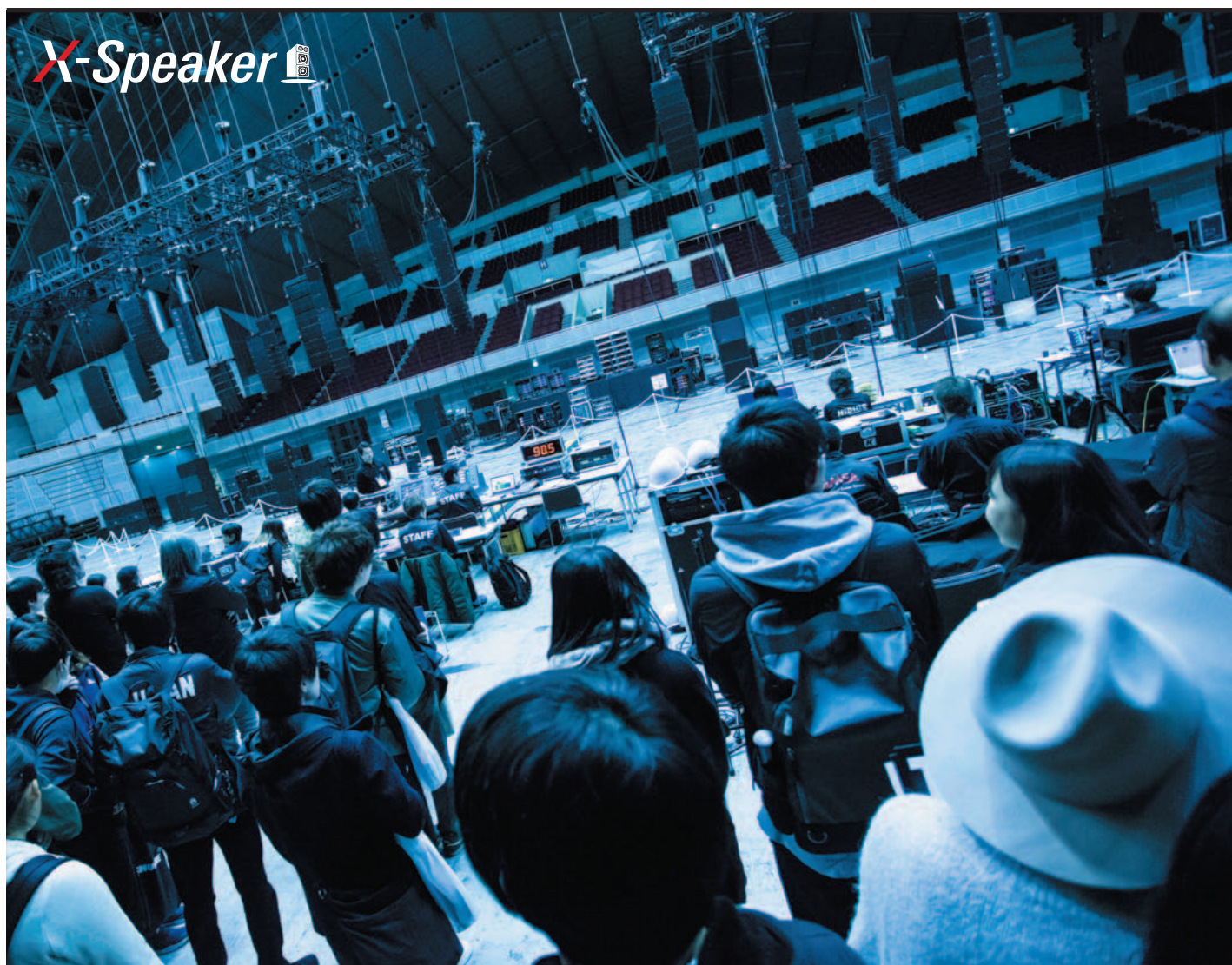
これからのメディアとコンテンツ配信を大きく進化させると予測させるクラウドやCDN、AI(人工知能)、5G技術も、今回のINTER BEE FORUMのセッショントレンドだった。

スポーツやライブエンターテインメントなど、体験型コンテンツに多くの人気が集まるなかで、2020年を見据えたコンテンツ制作の進化と最新技術動向に大きな関心が寄せられた。



INTER BEE EXPERIENCE

最大の規模で開催されたSRスピーカー体験デモ 内外著名ブランド15スピーカーを一堂に集めた壮観



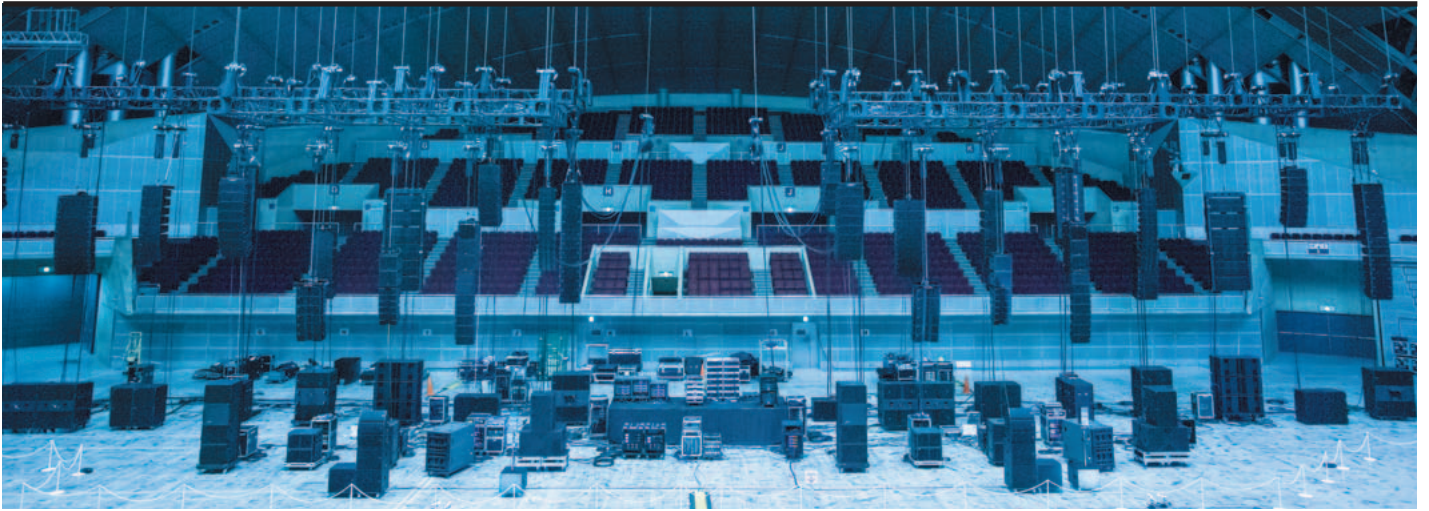
2014年のInter BEE 第50回記念開催を機に始められたINTER BEE EXPERIENCE: X-Speaker (SRスピーカー体験デモ)は、4回目となる今回、ラインアレイスピーカー 13ブランドにポイントソーススピーカー 2ブランドを加えた15製品の参加により、過去最大規模のスケールで開催された。

特に今回大きく注目を集めたのは、会場のイベントホール全体を使用しラインアレイスピーカー参加全製品を、すべて同時にフライング設置したことだ。これだけの数のラインアレイを同時に吊って試聴会を行うのは、おそらく日本で最初であり、また内外の著名ブランドのスピーカーが揃って吊られている光景は、世界でもきわめて珍しい。

また今回のもうひとつの注目点として、純国産であり久しぶりの新製品となるRAMSAブランドのラインアレイが登場した。世界のライブエンターテインメント市場で実績のある多くの海外製品の中で、日本発のラインアレイがどんな音を奏でるのか。音響のプロフェッショナルたちが集まるこのイベントでも、多くの期待と関心が集まった。

どんなプロでも、これだけの種類のスピーカーの実力を体験する機会はない。なぜなら、複数ブランドの最新SRスピーカーが、同時に設置されているライブエンターテインメントの現場はないからだ。その意味で世界でも貴重なこのイベントは、今回も3日間を通じて熱い現場となった。

Date:	Nov. 15-17
Place:	Event Hall
Area:	3,098sqm
The Number of Products Brands:	15
The Number of Presentations:	30
The Number of Audiences:	3,993



INTER BEE EXPERIENCE

良い音を追求する真剣さと出会ったときの笑顔
感性に直接響く音の最新技術を求め、今年も多くの来場者が集まる



第2回目となるINTER BEE EXPERIENCEのもうひとつの試聴体験企画、X-Headphone/X-Microphoneには、今年も3日間で4,500名を超える多くの人たちが来場した。会場にずらりと並んだ、各メーカーのヘッドフォン8ブースとマイクロフォン10ブース。音響制作に携わるプロフェッショナルから次代を担う学生まで、それぞれが思い思いに体験したい製品を求めてブースをまわる。良い音を追求したいという真剣さは、プロも学生も同じだ。

人気を集めるプロフェッショナルユースのヘッドフォンだけでなく、今回は11ブランドと多くの製品が一堂に会したマイクロフォンにも関心が集まった。その中でも特に注目を集めたのが、なんと二十数年ぶりの新製品として試聴体験の場に登場したソニーのレコーディングマイクロフォン。製品サイクルが日々早くなる現代にあっても、時の流れを超えた優れた品質と技術の追求が多くの来場者の耳目を引き寄せた。

音は人間の感性に直接響く、きわめて体感型のコンテンツだ。その点でも、今後もコンテンツ制作において良い音の追求は欠くことができない。ヘッドフォンやイヤフォン、マイクロフォンという精密なデバイスが生み出す真剣さと笑顔には、良い作品づくりや出会いを求める熱意と思いがあふれていた。

Date:	Nov. 15-17
Place:	Exhibition Hall 1
Area:	364 sqm
The Number of Booths:	18
The Number of Products Brands: Headphones	10
The Number of Products Brands: Microphones	11
The Number of Audiences:	4,545



INTER BEE CONNECTED

放送の進化はどこまで広がるのか メディアビジネスの最新動向を多角的に探る



今回で4回目となり、放送とメディアコミュニケーションの最前線を発信する場として定着したINTER BEE CONNECTED。今年も基調講演を含む全12セッションでは、熱いトークバトルが繰り広げられた。

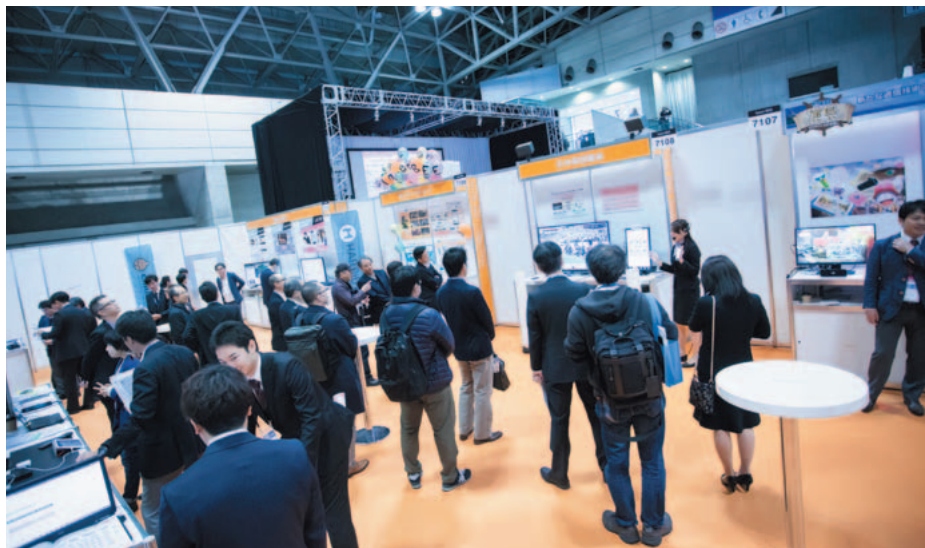
特に開催初日、民放キー局5局からパネリストを迎え、INTER BEE CONNECTED基調講演として国際会議場で行われた「配信新時代 ~キー局とプラットフォーム~」は、立ち見ができるほどの満員となり、ネットを舞台とした各局のプラットフォーム戦略への高い関心が集まった。

また、今回のINTER BEE CONNECTEDのセッションで特徴的だったのは、番組コンテンツ制作において広がる進化の動向だ。報道やスポーツ、あるいはローカル局から発信されるコンテンツなど、制作者たちや送り手が番組づくりとネット配信やネット活用をどう捉え、どう進化させようとしているのか。コンテンツ制作の視点から、放送とデジタルプラットフォームのより有効な関係性を探る議論が活発に展開された。

また今回は、ケーブルテレビやラジオから未来を考えるセッションも生まれ、放送とメディアビジネスの最新動向が多角的に発信された。

2日目と最終日のクロージングセッションには次代を担う制作者たちがパネリストとして登壇し、若い世代として番組制作にかける思いと、あらためてテレビの可能性が熱く語られた。技術が日々進化するなかで、「テレビには可能性しかない」という若手制作者の言葉は、放送の進化が更に進み広がることを予感させるものだった。

Date:	Nov. 15-17
Place:	Exhibition Hall 7
Area:	567 sqm
The Theme of Keynote Speech:	New Age of Distribution: Key Stations and Platforms
Capacity:	216 seats
The Number of Sessions:	12
The Number of Exhibitor's Presentation:	21
The Number of Exhibitors:	12
The Number of Audiences:	1,514
Facility:	CONNECTED Café



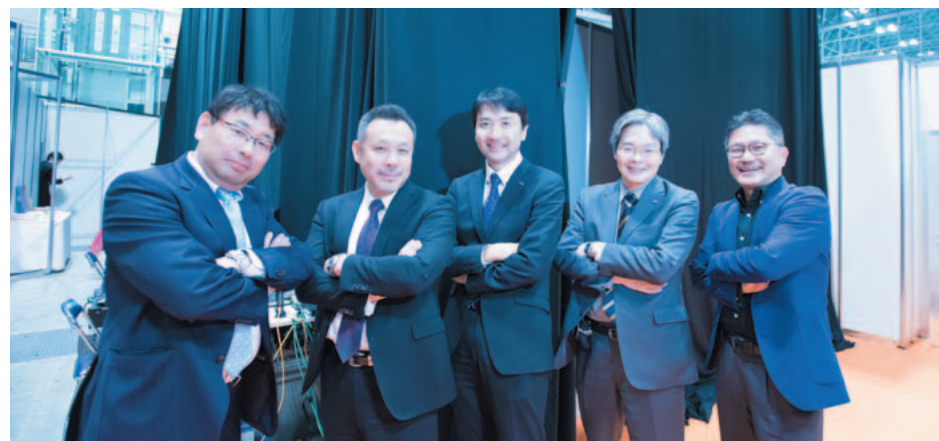


INTER BEE CONNECTEDの会場には、キー局を含む12社の展示ブースが設置され、映像制作やプラットフォーム、配信ソリューションなどの様々な最新技術が展示され、また出展各社によるプレゼンテーションも行われた。





今回は、関西キー局、ローカル局、ケーブルテレビ、ラジオ、あるいはスポーツや報道、ドラマ、ベテランから若手制作者まで、携わる分野や立場の異なるバラエティに富んだ登壇者の顔ぶれがセッションを彩った。幅広くメディア関係者を“コネクトする”にふさわしく、多彩で活発なトークが展開された。



INTER BEE IGNITION

クリエイター × メディア × テクノロジーが拓く 映像とエンターテインメントの可能性と未来とは



映像やライブエンターテインメントなどにおける、新しい表現と体験の最新技術、最新動向や可能性を発信するINTER BEE IGNITIONも今回で2回目となり、トップランナーたちのトークセッションや最新テクノロジーの展示に、多くの来場者の関心と注目を集めた。

3日間のセッションでは、「Show Biz」「Music」「Sports」というコンテンツカテゴリーがフォーカスされ、VRやAI、データやセンサ技術といった最新テクノロジーがコンテンツをどう進化させ、映像やエンターテインメントの未来をどう創っていくのかについての、様々な可能性が発信された。特に開催2日目の16日(木)に行われたINTER BEE IGNITION基調講演では、「人工知能とともに進化する放送局」をタイトルに落合陽一氏の基調講演とパネルディスカッションが行われ、AI活用の可能性と映像表現の未来への提言を多くの聴講者が熱心に聞き入った。

昨年に引き続き、先進映像協会による「ルミエール・ジャパン・アワード2017」の表彰式が行われ、また今回はVRコンソーシアムの「VR Creative Award 2017」受賞者のセッションも行われるなど、新しい映像表現の成果を発信する場としても充実した。

今回のセッションで特に注目されたのは、最新テクノロジーを駆使して新たな表現や体験の創造に挑む、多分野のクリエイターからの発信だ。テクノロジーが表現の可能性を引き出すと同時に、クリエイターと彼らが創造するコンテンツがテクノロジーや表現ビジネスの未来を牽引する、それをあらためて感じさせる3日間だった。

Date:	Nov. 15-17
Place:	Exhibition Hall 6
Area:	585 sqm
The Theme of Keynote Speech:	Broadcasters Evolving together with Artificial Intelligence
Capacity:	114 seats
The Number of Sessions:	15
The Number of Exhibitors:	11
The Number of Audiences:	710

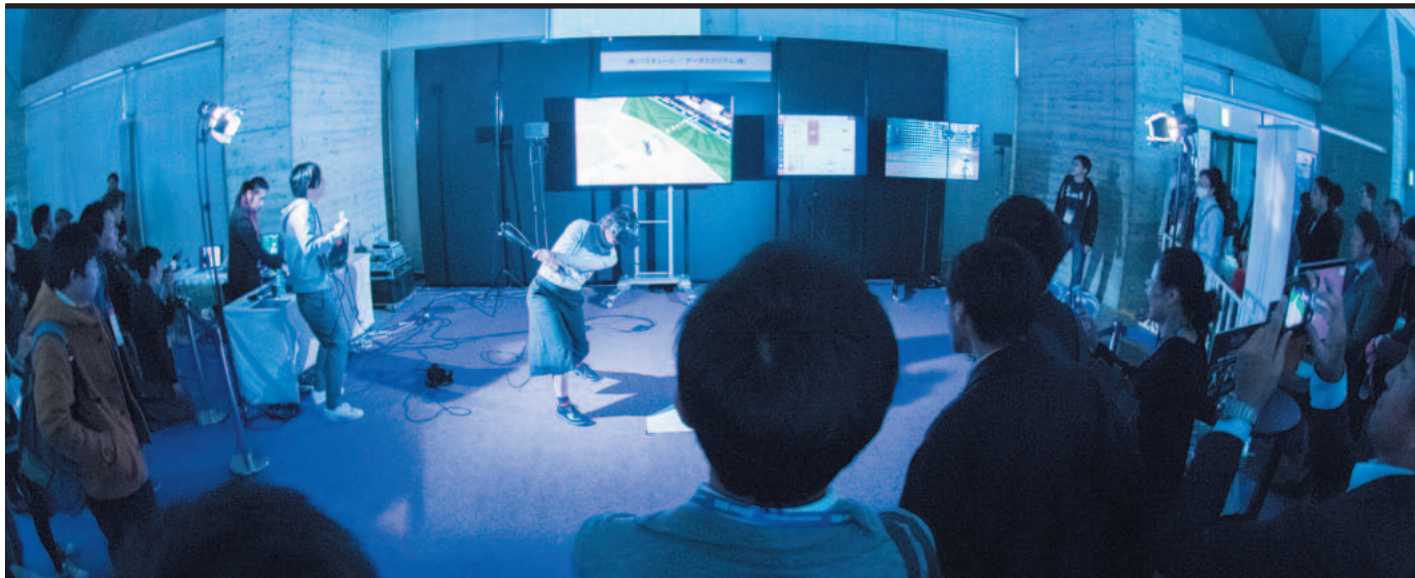




新しい映像表現やライブエンターテインメントなど、多方面の表現ビジネスを最前線で牽引するトップランナー、トップクリエイターたちが、いま何を考え、何に挑戦しているのか。未来に手を伸ばそうとする、そんな創造者たちの発言を間近に聞くことができるのが、INTER BEE IGNITIONの魅力だ。

最先端のテクノロジーを表現にどう活用すれば、楽しく斬新なコンテンツを受け手に届けられるのか。新しい表現とコミュニケーションの創造に挑む思いが、集まった聴講者を引き込んでいった。





INTER BEE IGNITIONの展示は、今回も多くの来場者に注目された。VR、ホログラム、ロボットや体感型の映像表現など、バラエティに富んだテクノロジーが展開。2日目の夜にはINTER BEE IGNITION NIGHTが開催され、観客のスマホと連動した「新体感ライブビューイング」により、新しいインタラクティブライブ体験が試みられた。



INTER BEE CREATIVE

今年も話題作品の最新映像技術が目白押しのセッション
広がる映像クリエイティブと新しい何かを生み出すMEET-UP



毎年、多くの熱心な来場者を集めるINTER BEE CREATIVE。映像コンテンツ制作に関する技術やノウハウ、制作ツール活用事例などを、実際に制作を行っているクリエイターの立場から発信し、また日本、アジア、世界という目線で展開されるセッションが、今回も最新情報を求める聴講者の関心を引き寄せた。

3日目に行われたINTER BEE CREATIVE基調講演では、本広克行監督を招いたスーパーセッションが行われたほか、本広監督の最新作「亜人」のVFXメイキングや「精霊の守人」、ハリウッド版「ゴースト・イン・ザ・シェル」のVFXのセッションなど、内外の話題作品のVFX制作に関するテーマが目白押しとなり、韓国のVFX最新動向とアジア戦略も発信された。

映画やテレビにおける最新映像技術に加えて、今回はマンガ、CFやミュージックビデオ、地方創生ムービーといった異なった視点からのセッションも行われ、映像クリエイティブとコンテンツの広がりに関心が向けられた。

そういった中で、多方面のクリエイターが集い、会い、ネットワークを拡げて新しい何かを生み出す場として、今年初めてINTER BEE CREATIVE MEET-UPが展開された。INTER BEE CREATIVEでのセッション後の登壇者によるアフター・ワークショップや、Meet-Upエリアでのマッチングサービス、最新製品のハンズオン、待ち合わせや休憩のためのオープンラウンジなど盛りだくさんの会場は、3日間多くの来場者が訪れ賑わっていた。

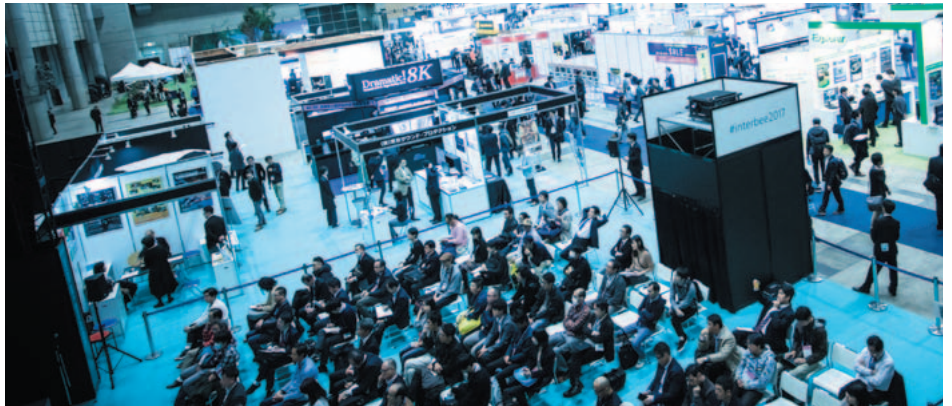
Date:	Nov. 15-17
Place:	Exhibition Hall 8
Area:	392 sqm
The Theme of Keynote Speech:	Top Creator's Super Session: Director Motohiro talks about Asian Creativity
Capacity:	118 seats
The Number of Sessions:	16
The Number of Exhibitors:	7
The Number of Audiences:	1,446
・ CREATIVE MEET-UP	
Area:	785 sqm
The Number of Participant Companies:	21
The Number of Feside Chats:	9 sessions
The Number of Workshops:	6 sessions

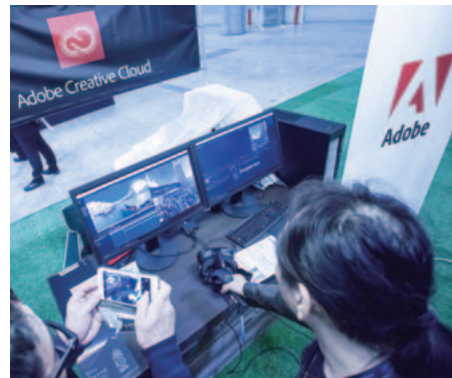




4K・8K、HDRとテクノロジーが高度化する中で、それをいかに活用して感動を創り出すか。美しさやリアル、楽しさを追求するクリエイターや制作関係者のテクニックやクリエイティビティの発言を、今年も多くの聴講者が熱心に聞き入った。

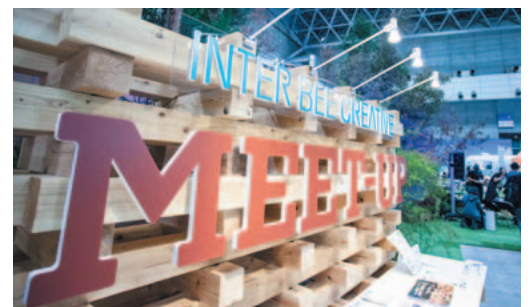
特に日本はもとより、ハリウッドやアジアの話題作を支えるVFXクリエイターの話を知ることができるのは、INTER BEE CREATIVEの大きな魅力となっている。今回も個別の講演に加え、最終日には日米韓のVFX制作者による「Creative Summit」セッションが行われた。





2017年に、初めてInter BEEに登場した、とても大きなMEET-UP空間。そこには他の特別企画ゾーンやセッションステージとは異なる、必要以上に肩に力が入らない、楽しく新鮮なイベント空間が出現していた。

多方面のクリエイターをはじめ、様々な人びとが会い話らうなかで何かを生み出したいという、メディアとエンターテインメントのイベント・Inter BEEらしい、新しく自由な場の可能性がそこには見えた。





新たな時代のコンテンツ産業へ向けた最新技術が一堂に



初日に開催した開会式では、総務省、経済産業省、米・Triveni Digital社、独・ブラウンシェバイク工科大学、放送機器工業会 (IABM)、ブラジルテレビ放送技術協会 (SET) の要人を招き、Inter BEE 開幕を記念するテープカットが華やかに執り行われた。

テープカットの参加者は以下の通り

- 奈良 俊哉 氏 (総務省 大臣官房審議官)
- 吉本 豊 氏 (経済産業省 商務情報政策局 商務情報政策統括調整官)
- ドクター・リチャード・チェルノック氏 (米 Triveni Digital 社 最高科学責任者)
- ドクター・ウルリッヒ・ライマーズ 氏 (独ブラウンシェバイク工科大学)
- ピーター・ホワイト 氏 (欧州放送機器工業会 チーフ・エグゼクティブ)
- オリンピック・フランコ 氏 (ブラジルテレビ技術協会)
- 川上 景一 常務理事 (一般社団法人電子情報技術産業協会)
- 常山 恵 委員長 (Inter BEE 2017 実行委員会)

「さらなる経済全体の成長の促進の大きな原動力」

今年のInterBEEでは、4K・8K、コンテンツとネット配信、そして次世代放送技術など、総務省の重要施策と関わる内容が数多く展示されている。

4K・8Kについては、今年9月末に新しい衛星が打ち上がり、来年12月の4K・8K実用放送の開始に向けて着々と準備が進んでいる。また、今月2日には4K・8K放送推進連絡協議会において、これからの4K・8K放送に関する周知・啓発に関するアクションプランを策定・公表したところであり、総務省としてもPRを強化している。

ネット配信については、情報通信審議会において、放送コンテンツの製作・流通の促進方策に関する中間答申を取りまとめて頂き、これを踏まえ、今年度、総務省プロジェクトとして、4K対応テレビ向けコンテンツ配信プロジェクトを全国で13件採択し、実施されている。また、モバイル端末向け同時配信に係る関連施策を、来年度予算案に盛り込んでいる。

次世代放送技術については、限られた放送用周波数帯において、大容量の4K・8Kを伝送するための技術や中継技術の研究開発を進めており、来年秋頃には実証試験も計画している。

政府の成長戦略として掲げている、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の時期に、全世界の50%が4K・8K放送を視聴していることを実現するためには、官民一体となってこれらの取組を加速していく必要がある。

世界の放送市場に対し、日本の最新技術や製品を展示するInter BEEが、日本の放送技術の発展だけでなく、経済全体の成長を促進する大きな原動力となることを期待している。

総務省 大臣官房審議官
奈良 俊哉 氏



「今年はBeyond 2020をInter BEEで」

2018年12月には、4K・8K衛星放送の実用放送が開始されることになるが、これに合わせて4K・8Kテレビの市場投入は本格化し、2018年で290万台、2019年には400万台、2020年には500万台の出荷を見込んでいる。

4K・8K放送を支える機器や技術は、日本が世界をリードしており、誇るべきことであると考えている。高精細・高臨場感がある4K・8K放送を視聴者にも新しい体験もたらすものと期待している。他方、ユーザの視聴環境が整うだけでは必ずしも十分ではなく、キラーコンテンツの提供が重要となる。

今年のInter BEEでは新たな試みとして、コンテンツを制作するクリエイターが集う、Meet Upという場が提供されると聞いている。放送技術とコンテンツが車の両輪として、マーケットが広がっていくことになる。新しいアイデアや新しいコンテンツが生み出されることを大いに期待している。

経済産業省として、新しいコンテンツを生み出していくような若手のプロデューサーの育成や新たな表現技術を用いたコンテンツ制作、国際展開についての政策的支援を今後一層の取り組みを進めていきたいと思っている。さらに、インフラシステムの輸出に関して総務省と一緒に、重点分野である放送技術を海外展開していただきたいと考えている。

昨年の展示会では、2020年の東京オリンピック/パラリンピックに実際に使われる技術であり、2020年までのタイムマシンと申し上げたが、今年はBeyond 2020ということで、2020年の東京オリンピック/パラリンピックを超えて、放送あるいは映像に関して、どういった未来を見せてくれるのか、非常に楽しみにしている。

経済産業省
商務情報政策局 商務情報政策統括調整官
吉本 豊 氏



「超スマート社会がもたらすメディアの変革を提示する場がInter BEE」

異なる業種、スタートアップ企業から海外の企業を含めた産業界、大学や研究開発機関などの学会、それに官庁の方々が一体となって、超スマート社会「Society 5.0」の実現を目指している。

メディア産業が大きな変革期を迎えている中、Inter BEEが過去最大規模で開催することになったことは、Inter BEEが「Society 5.0」の実現に向けた変化に対応する、様々な新しい提案が示される場となっていることを示唆している。1つ目の変化は2020年を見据えた変化。来年の4K・8K実用放送に向けて、より効率的に4K・8Kコンテンツを制作していただくための新しい技術、新しい製品を数多く展示している。2つ目の変化はネット技術やIT技術の活用。ネット配信するインフラ技術やプラットフォームサービスなど、多岐にわたる提案や事例を紹介する。3つ目の変化がVRやAR、人工知能やロボット技術との連携。

メディアは「情報」を伝えるだけでなく、「体験」を伝えるということまで拡張していくことになり、スポーツやエンターテインメントの感動を体験として届けられる時代の到来となる。すなわち、第1に作るという制作技術、第2に送るという伝送ネットワーク、さらには受け手が体験する技術というそれぞれの領域において、これに対応する新しい変化を示すメディア総合イベントへの更なる発展を目指している。

一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA)
川上 景一 常務理事



4K・8K放送開始を約1年後に控えたInter BEE 2017 気運の盛り上がりを象徴する盛大な催しに



Inter BEE 2017 初日である15日の閉幕後、「Inter BEE 2017レセプション」が、後援・協力団体および、出展企業関係者を招いて開催された。

冒頭、主催者を代表して一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA) 長尾尚人専務理事が登壇し挨拶を述べた後、一般社団法人日本民間放送連盟 (JBA) 技術対策小委員長 川口忠久氏、一般社団法人電波産業会 (ARIB) 専務理事 松井房樹氏による来賓挨拶があり、日本放送協会 技術局長、副技師長 春口篤氏による乾杯挨拶で会場に集った関係者による乾杯が一斉に執り行われた。会場内は放送業界、機器メーカーの多くの関係者が集まり、2018年12月に始まる4K・8K実用放送へ向けた機運の盛り上がり象徴する催しとなった。

「Society 5.0に立脚した放送、映像テクノロジーを」

Inter BEEは53回目を迎え、過去最大の出展者数になった。

Industry 4.0、Connected Industryなど、IoTの動きが活発化しており、世の中を変える勢いだ。ビジネスの中核として重要なのは、世の中のニーズにどれだけの確に対応するかという点だろう。サプライサイドの生産性向上にとどまらず、Society 5.0という上位概念に立ち、社会の仕組み、人の暮らしに役立つコンセプトの上には、はじめてそこに使われるテクノロジー、サプライサイドがある。

今年のInter BEEは「音と映像の世界で何をするか」「どうやって人の暮らしを良くしていくか」という具体的な意識がさらに高まったのではないかと。その背景にあるのが、先程申し上げたIoTの技術がどんどん進んできているということだと思ふ。

今後さらにSociety 5.0が進む中、特に音と映像に関わる領域も、Inter BEEは益々重要になってくる。こうした機会を好機と捉え、各種の技術の連携、融合が新たな製品やサービスを生み出すという柔軟な視点を持っていただければと思う。



一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA)
長尾 尚人 専務理事

「来年暮れの放送開始へ向け、業界一丸で課題の解決を」

Inter BEEは、前の東京オリンピックが終わった翌年から始まり、今年でもう半世紀以上になる。毎回、賑やかになっていると感じている。

電波産業会は、通信と放送の分野の標準化を行っており、総勢2000人を超える技術者・研究者が標準化活動に参加している。

2020年に向けて3つのテーマを持っている。一つが5G、もう一つが自動運転のインフラ等を担うITS。そして3つ目が4K・8K。この中で最も実用に近いのが4K・8Kだ。約20年にわたり、NHKが研究開発を進めてきた。ARIBでは約15年前に、標準化の関係部会で検討が始まった。約4年前にまずはハイビジョンの4K・8Kのスタジオ企画の標準化を行い、3年前には放送方式が。そして昨年、受信機の標準化が終了し、来年にはもう実用放送が始まる。

放送事業者の方々は、試験放送の段階でいろいろな見直し等をしてしながら標準規格のメンテナンスを行っている。本日、Inter BEEの基調講演のテーマでも、4K・8Kが取り上げられていたが、現状でまだいろいろな問題・課題がそれぞれの分野であるということを知った。それらを一つ一つ解決しながら、来年の暮れに繋げなければいけないのだろうと思っている。

円滑なスタートをするためにも、今日のこの会場にいらした方々を含め、ぜひ業界全体で協力をお願いしたい。



一般社団法人電波産業会 (ARIB)
専務理事
松井 房樹 氏

「国際的なスポーツイベントを重ねて放送技術のイノベーションへ」

2018年2月には、韓国・平昌で冬季オリンピック/パラリンピックが開催されるため、民放各局も中継の準備に追われている。6月にはロシアでFIFAワールドカップが開催され、日本では2019年にラグビーワールドカップ、2020年に東京オリンピック/パラリンピックが控えている。こうした国際的なスポーツイベントをきっかけに、放送技術のイノベーションが起きる先例は枚挙に暇がない。スポーツの迫力や感動を視聴者の皆さまにお届けできるよう、今後とも努力を重ねていきたい。

2018年12月には、BSで4K・8K実用放送が始まる。超高精細度とHDRをテレビ放送に取り入れ、質感や臨場感にあふれる映像を視聴者にお届けできる日が近づいている。4K番組のための放送設備の構築や、ワークフローの確立に直面している民放各局にとって、今年のInter BEEはまさに技術情報の宝庫であり、貴重な意見交換の場でもある。放送機器メーカーをはじめ関係各位に、より一層のご支援・ご協力をお願いしたい。



一般社団法人日本民間放送連盟 (JBA)
技術対策小委員長
川口 忠久 氏

「業界関係者全員の協力で東京オリンピック/パラリンピックを 世界最高の祭典に」

日本放送協会は今回のInter BEEから出展者という立場になっている。今年初めて、8K制作イメージを見ていただきたいと、各種の制作機器を展示している。少しでも実際のものを見て頂いて、制作者の皆様には8Kの制作を理解いただきたいという思いから展示した。目玉として、8K中継車を会場に持ち込んでいる。3日前に、NHK杯フィギュアスケートの中継で使用したものを、そのまま持ち込んでおり、正に制作現場で使われている機器を展示している。

来年2月の平昌五輪では8Kのパブリックビューイングを全国の放送局で開催する。放送でもふんだんに伝える予定だ。またインターネットを介したPC向け、あるいはスマホ向けのサービスもやっていく。さらにテレビ向けの4Kコンテンツも検討している。

2020年の東京オリンピック/パラリンピックでは、放送事業者、メーカーをはじめ業界関係者全員が協力をして、世界最高の祭典にしたいと考えており、我々もその一員として全力を尽くして、この祭典を盛り上げていきたい。



日本放送協会 (NHK)
技術局長、副技師長
春口 篤 氏



放送・映像制作から教育、自治体、医療など幅広い分野で映像ソリューションを提供する共信コミュニケーションズ株式会社は、Inter BEE 2017でも継続してシステムを一貫して提供するソリューションに力を入れた展示を行った。販売代理店として内外のベンダーの製品を取り扱ったソリューションを展示するほか、今回は自社で開発中のCMS(コンテンツマネジメントシステム)の「DaAlps」も動態展示し、ソリューションを構成する要素のラインアップを一段と手厚く提供することを示した。

ソリューション提供を大きなテーマに掲げる同社にとって、Inter BEE 2017の出展の狙いはどのようなもので、どんな評価をしているのか。共信コミュニケーションズ株式会社 営業部門 副部門長 兼 クリエーション営業部 統括部長の水島 隆氏に尋ねた。



共信コミュニケーションズ株式会社
営業部門 副部門長
兼 クリエーション営業部
統括部長
水島 隆氏

ソリューションをスムーズに提供するため お客様とのコミュニケーションの場

■出展のテーマと狙いは？

Inter BEEではソリューションの展示を主体に行っている。これは例年変わらないテーマであり、単品の製品の紹介だけでなく作業フロー全体の改善につながるような提案を行っていきたくと考えている。ソリューション提供をスムーズに行うためには、お客様とのコミュニケーションが欠かせない。そのために、Inter BEEのような展示会の場でも、周囲に展示した製品を見ながら、ゆっくりと打ち合わせや商談ができるスペースは不可欠なものであり、コーヒーなどの飲み物を提供して座って打ち合わせができるカフェ的なスペースを用意している。こうしたスペースを用意しているのは、Inter BEE全体を見回してもあまり例を見ないのではないかと。

Inter BEE 2017では、初日、2日目に弊社のお客様企業を集めたユーザー会もブースで実施した。海外ベンダーの開発者とのコミュニケーションを通じて、日本のユーザーのニーズや改善点のフィードバックにもつなげるなど、単なる展示会としてだけでなく、お客様とのコミュニケーションの場としてもInter BEEを活用している。



■8Kのシステムの連携や自社製CMSをアピール

ソリューションは、『8K・4K/HDR/VR/リアルタイム・フィニッシング』『超高速共有スケールアウト・ストレージ』『Contents Management』『220インチ4KLEDディスプレイ』『Audio&Video Broadcast Editing』『Archive』の6分野で展示した。中でも注力しているのが、8Kを含む編集システム。共信コミュニケーションズが日本総代理店を務めるスペインSGO社のポストプロダクトソリューションの『Mistika』では、8K・4Kのワークフローを提供する。Inter BEE 2016の時点でもMistikaは8K編集に対応していたが、今回は高速な共有ストレージを介して他のシステムと連携が可能になるなど、8K編集システムとして整備が十分に進んでいることをアピールした。

Mistikaでは、SDR映像とHDR映像を同時にモニター出力できる。SDRとHDRを同時に確認できるため、作業の効率向上につなげられる。また素材は、カメラの圧縮フォーマットをそのまま採用することで、小容量のストレージでも長時間のデータを記録することができる。圧縮データにより、保存や再利用が可能になっている。

今回のもう一つの目玉は、自社で独自に開発したCMSの『DaAlps』の動態展示だ。CMSのアプリケーションは多く提供されており、共信コミュニケーションズでも海

外製品を扱っていた。しかし、海外ベンダーは合併や買収などが頻繁で、継続した開発が保証されない。そこで自社でDaAlpsを開発し、試作品を出展した。今回が本格的な動態展示として初めての機会となる。2018年4月の提供を目指している。

DaAlpsは、お客様の要望を聞きながら開発した。アーカイブでは、テロップデータをメタデータとして使えるようにするため、人工知能(AI)を使って映像上のテロップの文字を認識してデータ化する機能を搭載する。テロップデータの“メタ付け”の作業を軽減することが目的だ。音声認識による音声のデータ化も検討を進めている。

■最大のイベントと位置づけて継続した出展

共信コミュニケーションズでは、年間20近いイベントに出展する中で、Inter BEEを最も重要なイベントと位置づけている。来場者も多く、既存顧客だけでなく新規顧客も含めて反響が大きい。それだけに、継続して出展する意義があると考えている。今年は特に2018年12月に4K・8K実用放送が始まることを受けて、準備の意識が高まってきていることもあり、来年(2018年)以降の案件につながるコミュニケーションが進んでいる。

今回のブースでは、初めて天井照明で『全消灯』を選ん

でみた。これが前回との大きな違いだった。全消灯のブースは思った以上に良い印象があり、今後の出展時にも検討していきたい。Inter BEEには、内外の関係企業が集まっている。自社製品の開発、販売を手掛ける上で、業界のトレンドを確認することができる貴重な場であるとともに、製品やサービス開発で連携できるパートナーを見つける機会であるともうらえている。

Inter BEEは、新しい出会いの場でもあり、また既存のお客様とつながる場でもある。こうしたつながりやコミュニケーションを今後も大切にして出展していきたい。

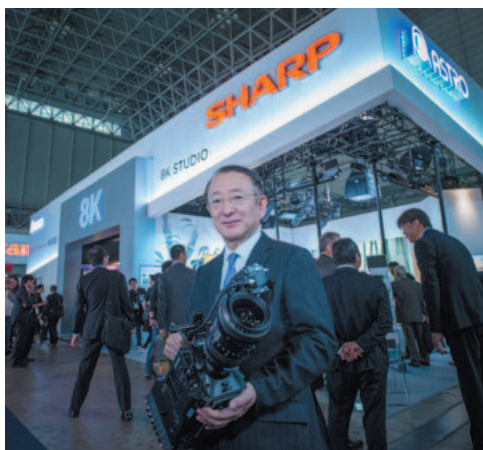
カムコーダーから映像制作、民生用テレビまで パートナーと共同ブースで8Kの世界を体現



Inter BEE 2017ではシャープ株式会社が、8K映像モニターや8Kテレビ、8Kカムコーダーといった8K関連製品を展示した。ブースは、シャープ株式会社とアストロデザイン株式会社が共同で構えたもの。シャープのカメラやディスプレイといった映像の出入口に当たる製品と、アストロデザインの映像制作システムを組み合わせた8Kのトータルソリューションを、共同のブースで提案した。

シャープのInter BEE 2017への出展の狙いはどこにあるのか。アストロデザインとの共同出展の意味合いはどのようなものか。シャープ株式会社 取締役 兼 執行役員 8Kエコシステム戦略推進室長の西山博一氏に尋ねた。

シャープ株式会社
取締役 兼 執行役員
8Kエコシステム戦略推進室長
西山 博一 氏



新生シャープの未来の事業の柱 8Kエコシステムに磨きをかける

■出展のテーマと狙いは？

シャープがInter BEEに出展するのは、Inter BEE 2017が初めてだという話があった。しかし社内で調べていくと、かなり古い時代に出展した記録があるようだった。とはいえ、シャープはInter BEEの常連企業ではなく、新しい資本経営体制に移った“新生シャープ”としては文字通り初めてInter BEEに名乗りを上げたと考えている。新生シャープが、今回はアストロデザインと共同でブースを構えたことに意義があると思う。

シャープでは、8Kの研究開発を続けてきた。シャープの得意分野としてはディスプレイがあり、8K映像モニターを提供するほか、世界に先駆けて8Kテレビの商品化を行った。今回は、アストロデザインの協力を得て、こちらも世界初となる8Kカムコーダーを開発、出展している。シャープでは、映像の撮影から収録、編集、表示までのソリューションを一貫して提供する『8Kエコシステム』の実現を目指している。しかし、シャープ単体ではすべてのパーツを揃えることはできない。今回は8Kエコシステムの1つの形として、シャープとア



ストロデザインが手を組んだトータルソリューションを提案している。

■8K時代を見据えた製品ラインアップを展示

シャープとアストロデザインの共同のブースの中で、シャープはカメラとディスプレイを展示した。1つが、世界初の業務用8Kカムコーダーの<8C-B60A>だ。8K 60p映像に対応し、映像の撮影から記録、再生、ライン出力まですべてに対応した一体型のカムコーダーである。シャープは、液晶のシャープと言われるようにディスプレイの技術や製品化を得意分野としている。しかし、約30年前に業務用のカメラを手がけていたこと、2004年まで民生用の『液晶ビューカム』を市場に提供してきたことといった過去の経験はあるが、カメラは必ずしも得意としてきた分野ではない。今回はアストロデザインの技術協力を得て、世界で初めての8Kカムコーダーの開発、発売を実現できた。

ディスプレイでは、8K映像モニターと8Kテレビを展示している。業務用の大型8K映像モニターとして、85V型の<LV-85001>、70V型の<LV-70002>を展示した。85V型のモニターは、2016年の8K試験放送の開始に合わせて提供したもので、リオデジャネイロ五

輪の試験放送の受信に全国で実際に使われた製品だ。業務用では、27V型の小型のモニターも参考出品し、映像制作現場での8Kモニター用途での利用も提案している。

2018年12月の8K実用放送の開始に向けて、世界で初めて製品化したのが8Kテレビだ。70V型8K対応液晶テレビ『AQUOS 8K』<LC-70X500>で、日本では2017年12月に発売する。8K実用放送の開始に合わせて発売予定の別売受信機を接続することで、8K放送をご家庭で受信して楽しめるようになる。

■「シャープに対する期待」をバネに8K事業で飛躍

シャープが目指す8Kエコシステムを実現する道筋の中で、今回はアストロデザインとのパートナーシップにより8Kエコシステムの1つの形を示すことができたと考えている。アストロデザインは強力なパートナーだ。一方、異なる分野では異なる企業とパートナーシップを組むことがあることも想定している。シャープの研究開発で力が及ばない部分があった場合には、来場企業の皆様にもご協力をお願いすることがあるかもしれない。

8K実用放送を1年後に控え、来場者の目の光り方が

変わってきていると感じた。8Kと4Kのシステムや装置が同じ価格で同じように使えるならば、今後は8Kを選ぶのが自然になるだろう。技術の進化で、価格がひとケタ下がれば、迷わず8Kの機器を選ぶようになる。今回のInter BEEで、8Kワールドが直近まで来ていることを感じてもらえたと自負している。

Inter BEEは国内最大の放送機器展であり、個人的にも毎年来場している。今回はシャープのブースで来場者の方々と話す機会があった。『シャープブースを楽しみにしている』『8Kモニターに圧倒された』『一体型でコストを下げたカムコーダーはさすがだ』といった声を多くいただいた。ほぼ初出展のシャープに対して、それだけ多くの期待がかかっていると感じた。8Kエコシステムを掲げ、この場に出展するところまで持ってくることができて良かったと感じている。ここが新生シャープの8K事業へのスタート地点だと思っている。

既存の枠組みを超えた「Beyond Definition」をテーマに 8K時代に向けた新しいソリューションを提案



ソニー株式会社はInter BEE 2017に、4K・8K、HDR、IPライブ伝送など同社の最新映像ソリューションを並べたブースを構えた。ブースは、ソニー株式会社、ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ株式会社、ソニービジネスソリューション株式会社の3社の共同出展となる。ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズは、2017年4月1日に設立された新会社で、ソニーから民生用カメラ事業や放送・業務用製品などのソリューション事業を継承している。

ソニービジネスソリューション株式会社でバリュー・クリエイション部門 マーケティング部 統括部長を務める小峰英樹氏に、ソニーグループとしてのInter BEE 2017への出展の意図や、今回のInter BEE で得られた感触などを尋ねた。



ソニービジネスソリューション株式会社
バリュー・クリエイション部門
マーケティング部 統括部長
小峰 英樹 氏

今後到来する4K・8Kの世界を 「お客様とともに歩む想い」を具現化

■出展のテーマと狙いは？

ここ数年、Inter BEEに向けてソニーでは『Beyond Definition』をテーマに掲げている。これまでの枠組みを超えて、映像ビジネスの可能性を追求するチャレンジの意志を込めたテーマだ。ソニーが独りで進んでいくということではなく、お客様と一緒に4K・8Kの時代を作り上げ、歩んでいくという想いを込めている。

Inter BEE 2017は、幕張メッセの国際展示場の1～8ホールをInter BEEとして初めてすべて使ってイベントを開催し、Inter BEE史上で最大規模になった。これは映像業界が盛り上がっていることを示していると考えているし、実際にブースでの体感としても来場者が前回よりも多くなっていると思う。ソニーだけということではなく、映像業界全体の幅を拡げて、盛り上がりを一層高めていくことにつながることを願っている。

■8Kカメラシステム、シネマカメラの新製品を出展

Inter BEE 2017では、カメラシステムの新製品を一堂に展示した。1つが、8Kカメラシステムの『UHC-8300』だ。



新開発の1.25型の8K CMOSセンサーを3枚搭載した3板式のカメラで、8Kの3板式カメラとしてはコンパクトなボディサイズを実現した。深い被写界深度が得られるため、スポーツなど広い範囲にピントが合うことを要求されるコンテンツの撮影にも向く。さらに最大120pの撮影にも対応するため、動きの早い被写体も鮮明に撮影が可能だ。8Kカメラだが、4KおよびHDのコンテンツを同時に出力することも可能で、8Kだけでなく利用の範囲が広いことも特徴といえる。

シネマ制作現場での利用を想定したシネマカメラの新製品も展示した。CineAltaカメラの最上位モデルとなる『VENICE』がそれで、CineAltaカメラの集大成と考えている。新開発の36×24mmフルフレームの6Kセンサーを搭載する。シネマ撮影の現場で利用が急増しているアナモフィックレンズの利用に対応し、広画角でオーバーラベが得られる映像表現に貢献する。光学プロセスの見直しにより、フィルムライクな映像表現にも磨きをかけた。

IPベースのライブソリューション『IP Liveプロダクションシステム』についても最新のソリューションを展示した。IPによるAV伝送方式のネットワーク・メディア・インターフェース (NMI) では、8K映像も4K映像もIPの

伝送路でデータを送れる。さらに制御信号や音声もIPで伝送が可能になる。IPの活用により、カメラは現地にありながらスイッチャーなどの操作は本局で行うといったリモートプロダクションなど、新しい撮影の手法が現実利用され始めている。ブースでは、インターネットイニシアティブ (IIT) およびネクシオンと共同で、飯田橋のIIT本社と幕張メッセをIPネットワークでつなぎ、リモートプロダクションのデモを行った。

一方で、既存のワークフローを生かせるように、4Kライブ機器でも既存のシステム構成を踏襲できる12G-SDIへの対応も進めている。IPを使ったNMIだけでなく、SDIでも4K時代に対応できるような機器のラインアップを示した。新開発で2018年秋に発売予定のマルチフォーマットスイッチャープロセッサ『XVS-9000』は、4Kで最大80入力といった大規模ライブ制作に対応する。HD制作と同等の4K制作を可能にするほか、12G-SDIとNMIの双方に対応することを示した。

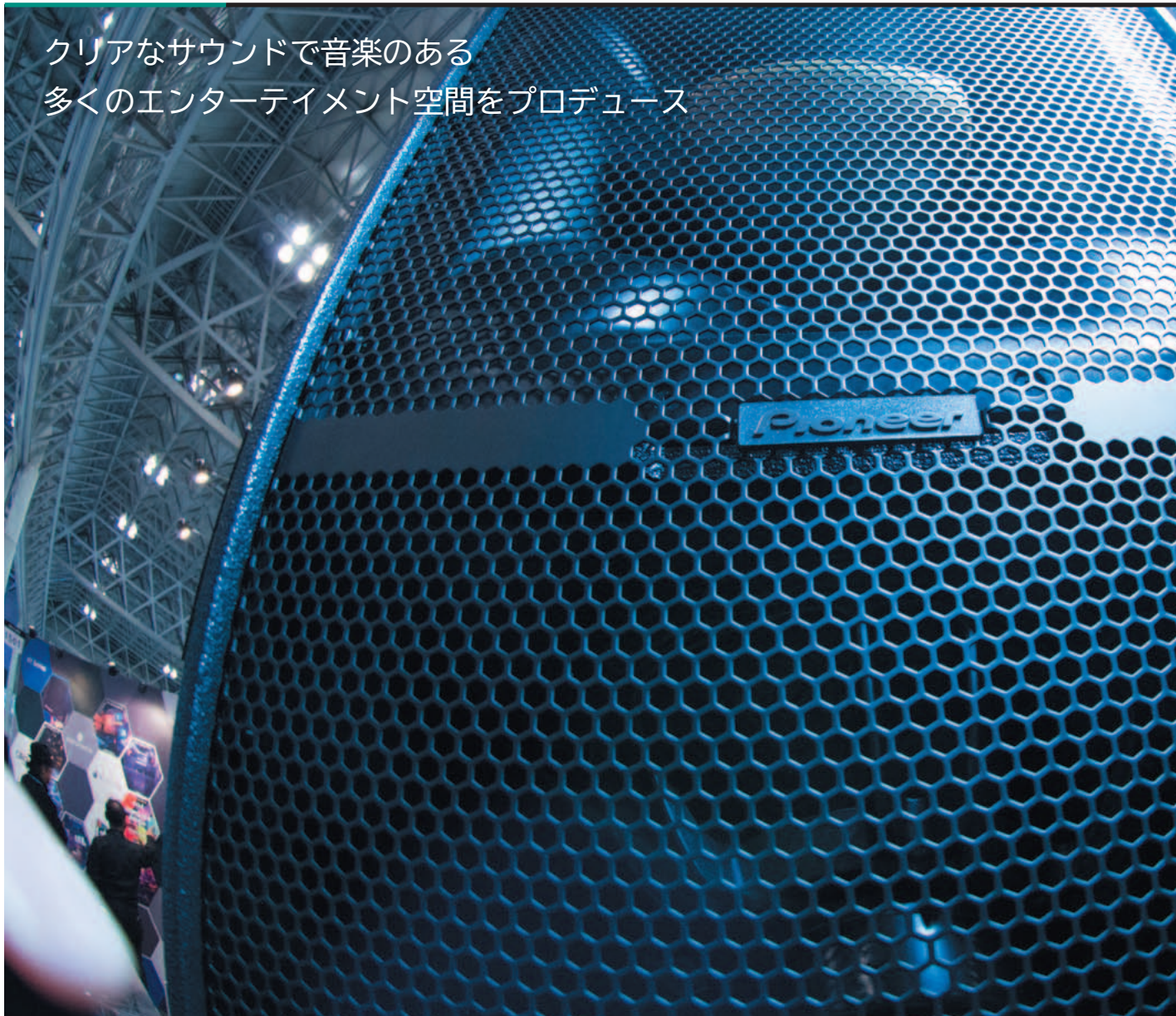
■8K時代に向けて一層の盛り上がりを

4K・8Kの実用放送が2018年12月に迫っている。8Kに対応するシステムを作るという信念に基いて、技術

開発から製品開発を行っているソニーグループの成果をInter BEE 2017に出展した。とはいえ、8Kの実用放送だけをターゲットにしているわけではなく、ソニーグループとしてはより幅の広い活用の仕方を提案していかなければと考えている。例えば、8Kはテレビ放送を受信して表示するためのものではなく、大画面のパブリックビューイングなどで生きてくる技術だとも言える。テレビ放送だけでない立ち位置が増えてくることも想定し、ソリューションの提案をしていきたい。

Inter BEE 2017ではセミナーも充実してきた。参加人数も増えている。ソニーとしては、今後でもできるだけInter BEEに力を入れて出展していくつもりだ。Inter BEEを主催する一般社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA) と協力し、映像業界の盛り上がりを継続させていきたい。

クリアなサウンドで音楽のある 多くのエンターテインメント空間をプロデュース

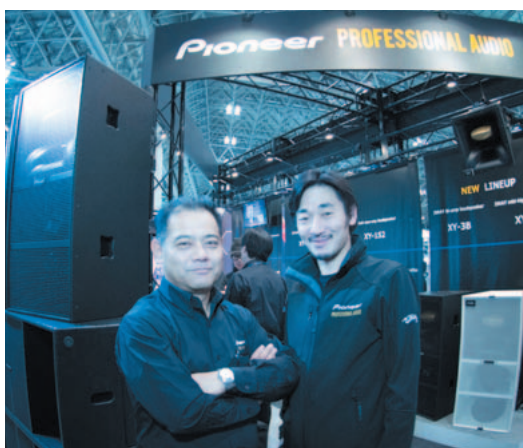


Pioneer DJ 株式会社は、パイオニアのDJ 機器関連部門が独立して2014年に設立した企業。1994年のフラットトップ型DJ プレーヤー「CDJ-500」開発以来の伝統と、パイオニアから独立したことで育まれた新しい創造性を、業務用音響機器の開発・提供に生かしている。

Pioneer DJ が扱うのは音響機器で、音の入り口となるプレーヤーから出口のスピーカーまでをトータルソリューションとして提供する。Pioneer DJ 株式会社 営業統括グループ エンターテインメント空間営業グループ マネージャーの永松 紀仁氏と空間企画グループ 村井 佑史氏にInter BEE 2017への出展について尋ねた。

Pioneer DJ 株式会社
営業統括グループ
エンターテインメント
空間営業グループ
マネージャー
永松 紀仁氏 (左)

事業企画統括グループ
エンターテインメント
空間企画グループ
村井 佑史氏 (右)



スピーカーのラインアップを一挙展示 音のクリアさとブランドをアピール

■出展の狙いとテーマは？

Pioneer DJ 株式会社として2014年に会社を設立し、2015年からInter BEEに出展してきた。今回のInter BEE 2017で3回目の出展となる。DJ 機器を幅広く取り扱っている中で、スピーカーをメインにプロオーディオ部門にブースを構えた。自社のPRO AUDIO 事業の認知拡大と、業界での出会いを目指した出展です。

Pioneer DJ の音響機器は、クラブやバー、ダンススタジオなどの音楽を軸としたエンターテインメント空間で導入、利用されている。小規模の店舗から1000人規模のスタジオやホールまで、国内ではすでに約50店舗、海外では約200店舗の施工事例がある。たとえばクラブというと、大音量でうるさい音をイメージすることが多いかも知れないが、Pioneer DJ のスピーカーは大音量でもクリアでナチュラルな表現ができ、聴き疲れしない音質で高い評価をいただいています。

■2つの製品ラインアップをフル展示

Inter BEE 2017では、Pioneer DJ の音響機器製品群



の中でも、店舗やイベント、ダンススタジオなどで大人数に音声や音楽を伝えるPA/SR (Public Address / Sound Reinforcement) 用のスピーカーを中心に展示した。ブースを大きく2つのエリアに分け、片側ではパッシブスピーカーの『XY Series』、反対側ではアクティブスピーカーの『XPRS Series』を展示した。いずれも新製品を出展し、フルラインアップへの拡充ができたことを来場者に紹介した。

パッシブスピーカーのXY Seriesはクラブやミュージックバーをはじめ、ライブハウスやダンススタジオなどに主に常設して利用するタイプのスピーカー。今回は、新製品の3ウェイスピーカー『XY-3B』と『XY-3B』もを展示した。XY-3Bは、2つの12インチ低域ドライバー、8インチ中域ドライバー、1インチ高域コンプレッションドライバーの構成を持つXY Seriesのトップモデルとなる機種。クリアでナチュラルな音を、大音量で遠くまで届けることができる。XY Seriesはトップモデルを追加してラインアップが出揃った。さらに、XY Seriesでは、本体のカラーが白のモデルも用意し、出展している。ラインアップの下位から上位まで、白で揃えられることで店舗のインテリアなどとの調和がしやすくなり、利用の幅が広がる。

アンプモジュールを内蔵したアクティブスピーカーのXPRS Seriesは、常設のほか、その可搬性を活かしてイベントなどの持ち込み音響機器として活躍している。Inter BEE 2017では、新製品の『XPRS 10』『XPRS 115S』を含めたフルラインアップを展示した。XPRS 10は、10インチフルレンジのアクティブスピーカーで、既存の12インチ、15インチの製品ラインアップに『もっと小さいものはないのか』という声を多くいただき、その要望に応えた製品となる。XPRS 115Sも既存製品より小型のアクティブサブウーファーで、使い勝手を高めた。

ブースの壁面には、XY SeriesやXPRS Seriesを導入しているクラブやダンススタジオなどの施工事例の写真を並べ、ディスプレイではDJやPAエンジニアの生の声も流している。バーなどでは、一般にスピーカーの近くの席は話がしづらく滞在時間が短くなる傾向にあるが、Pioneer DJの製品の導入後は大音量の音楽があつて話のじゃまにならず滞在時間が長くなったというような店舗のリアルな声を紹介した。

■海外からの来場客の増加に期待

Inter BEE 2017の会場では、展示商品を見ていただきながら、導入事例の紹介や、詳しい商品説明をすると

もに、スピーカーの、また拡充したスピーカーのラインアップを確認してもらうことを狙った。国内で導入した店舗では、Pioneer DJのスピーカーを導入した後は音に厳しい外国人客が増加したという声もある。大音量でありながら、これまでに体験したことのないようなクリアでナチュラルな音を実感してもらう場として、Inter BEEには大きな期待を寄せている。

Pioneer DJのスピーカーは、国内だけでなくヨーロッパを中心に海外での施工事例も多く、高い評価もいただいている。しかし、海外に実際に営業に出向くのはなかなか難しい。国際的なイベントであるInter BEEにもっと多くの外国人の来場者があつて商談できる場になるとうれしい。Inter BEE視察ツアーなどで、特に東南アジア諸国などからの来場者を集めるような手法を採ってもらえると、よりグローバルビジネスに向けた活用がしやすくなると思う。



Hall 8



INTER BEE CREATIVE MEET-UP



- 8512 パナソニック/
パナソニック
システムソリューションズ
ジャパン
- 8513 アドビシステムズ
- 8514 DJI Japan

8211

ブラックマジックデザイン

8314
東通
インターナショナル

8210
昭特製作所

メラノックテクノロジーズ/
サーヴァンツインターナショナル

8502
三友

8410
ビジュアル・
グラフィックス

8313
NOVASTAR

8208 8209
コスメイト シナジー

8207
フジテレビジョン

8411

8312 8311
ランサーリンク

8501
フェアウェイ

エムアイシー・アソシエーツ テクニカルファーム

8408 ARDIS TECHNOLOGIES DDP
8406
8407

メモリーテック
8309 8310
浅沼商会 パリビュー
8307 プラス
8308

8205 8206
日本海洋
8204
Semtech
Japan

リンディー・セールス/
ウェアブスプリッター・
ジャパン
マウスコンピューター
アドバンスト・メディア

伊藤忠テクノソリューションズ

8404
メディア
パートナー
8403

8405 Group
IMD
8305
8304
Spectee
シーディー
シー・
エスピー

8203
IABM/
RGLINK/
GLENSOUND/
AVIWEST S.A.S/
Scality/
AXON DIGITAL DESIGN

INTER BEE CREATIVE

- 8505 パナソニック映像
- 8506 東京サウンド・プロダクション
- 8507 キュー・テック
- 8508 レスパスビジョン
- 8509 日本ポストプロダクション協会
- 8510 オムニバス・ジャパン
- 8511 IMAGICA

アカマイ・テクノロジーズ

アリスタネットワークスジャパン ITGマーケティング

8402
吉積情報
8401

8302 8303
8301

8202
シスコンシステムズ
8201

エクスプローラ/
PALTEK

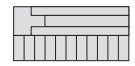
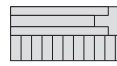
DXアンテナ

ATOMOS

ICT/クロスメディア部門

8001

メディアエッジ

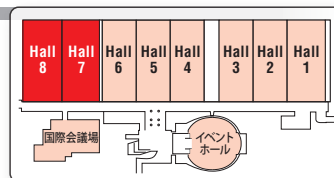


1F

2F

Hall 7

映像制作/放送関連機材部門



- 休憩所
- モバイルチャージラウンジ
- 食事
- カフェ
- トイレ
- エレベーター
- フォトスポット

7309

パナソニック/
パナソニックシステム
ソリューションズジャパン

7204

アマゾン
ウェブサービスジャパン/
AWSエレメンタル

7509

リーダー電子

7308

AJA Video Systems

7203

アスクメディア&
エンタープライズ事業部

8106

Datavideo/
エム・アンド・
アイ ネットワーク

8107

エスディーピーシー
ビジュアルシステム

7508

EIZO

7507

タックシステム/
ADDER Technology

7412

エルグベンチャーズ/
SWIT Electronics

7410

ザクセル

7307

アスク/
ディストーム

7306

テクトロニクス社

7202

富士フイルム

7101

RAID

7409

富士通

7305

TBSテレビ

7201

エヌジーシー

テクノロジー・ジョイント/
トワ電機/Spin Digital VideoTechnologies

8105

Guntermann&
Drunk

8104

テクノマセマティカル

7505

フジミック

7506

テクノ
ブレン

7407

ファイバーネットワーク

7408

プラトイーズ/
とくしま4Kフォーラム
実行委員会

7304

エヌ
ジーシー

7303

7302

北陸電話工事

7504

KAIMEDIA

7406

Macro Image Technology
アブコット

AB1CODEC TEAM Tech Star

8103

JX通信社

7502

7503

WONWOO

7403

ロジック
ロジック

7404

7301

日本
マイクロソフト

8101

アイ・ビー
東北新社/
ねこじゃらし

7501

7402

7401

ネクスト
スケープ

INTER BEE CONNECTED

- 7102 フォトロン
- 7103 伊藤忠ケーブルシステム
- 7104 EVC
- 7105 EVC
- 7106 Jストリーム
- 7107 テレビ朝日
- 7108 日本放送協会
- 7109 ホウドウキョク
- 7110 HAROiD
- 7111 日本テレビ放送網
- 7112 JOCDN
- 7113 マルチスクリーン型放送研究会
- 7114 日本ヒューレット・パッカード

スキルアップ・ビデオテクノロジーズ

7002 スピリテック

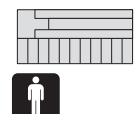
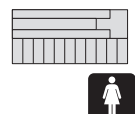
加賀ソルネット

7001 日本デジタル・プロセッシング・システムズ

7003 データブロード

7004 Croak Studio

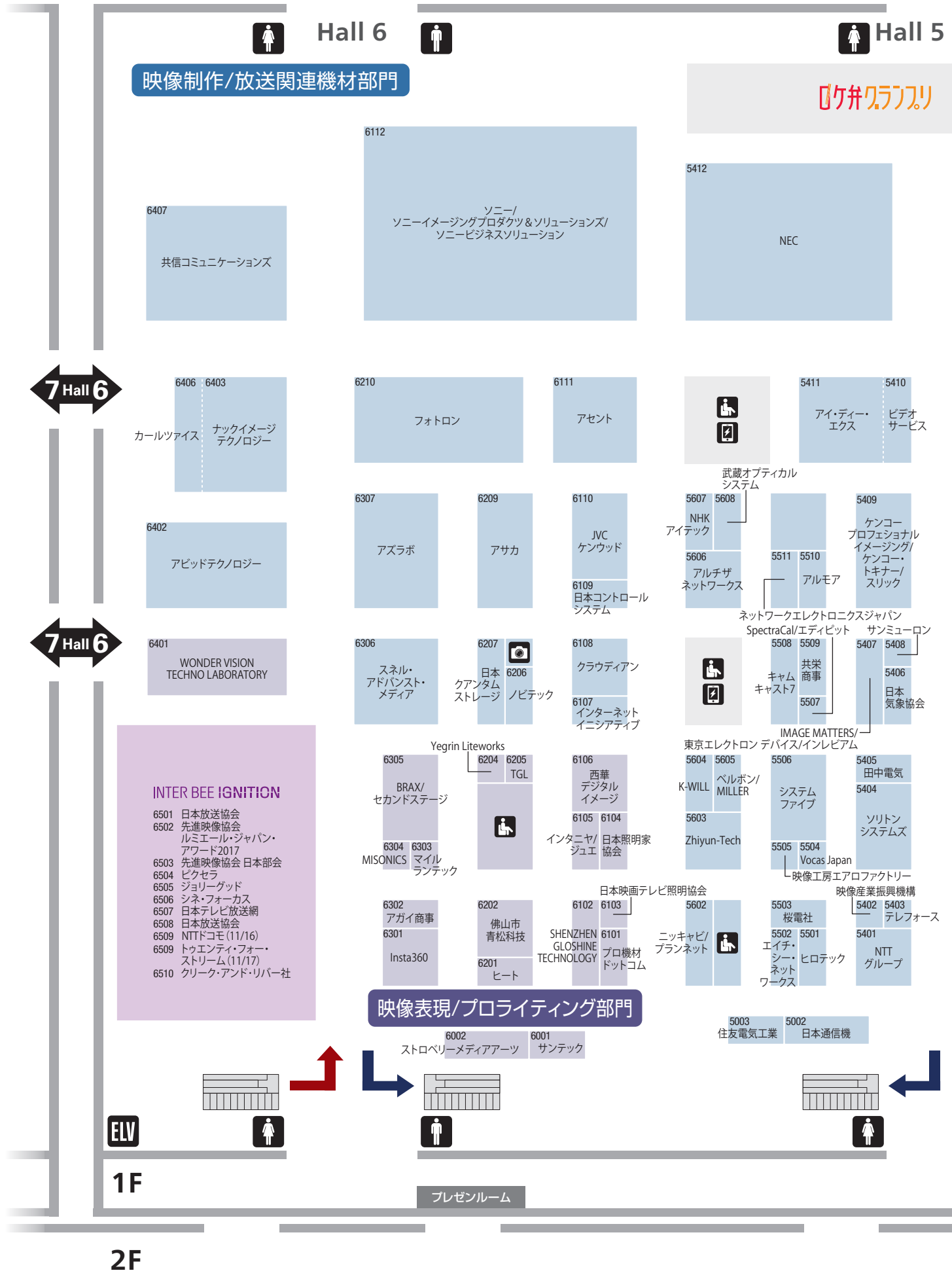
7005



ELV

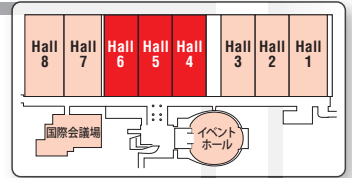
- 商談ルーム
- 救護室
- 事務局
- 宅配便コーナー

登録カウンター





Hall 4



5312
池上通信機

4610
東芝グループ
東芝インフラシステムズ/
東芝ライテック/
東芝エルティエーエンジニアリング/
東芝メモリ/
東芝映像ソリューション/
東芝デジタルソリューションズ

4311
朋栄

4208
伊藤忠ケーブルシステム

5311
コスミック
エンジニアリング

5110
三信電気



4513
イメージクス/
ビデオトロン

4309
ジャパンマテリアル/
Matrox Electronic Systems/
Visual Research

4207
シグマ



4108
テレデザイン・
レクロイ・
ジャパン
4107
ダイナコムウェア
4106 JUNS
4105
マルミ光機

セイコーソリューションズ
5309 5310
マイクロコム
5308
Extron
Electronics,
Japan
5213
デジキャス
5212
関西通信
電線

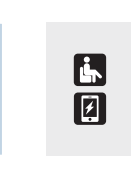
スターコミュニケーションズ
5108 5109
フロント
ワークス
クロス
イメージング
5107
アイベックス
テクノロジー

SCREENグラフィック
ソリューションズ
4611
TVU
Networks
4609
4512
エーティ
テクノ
4511 4510
シュエック・
ジャパン/
ALADDIN
4608 4607
RIP-TIE
須川映像技術研究所

WELL BUYING INDUSTRIAL
4412
日本
シーゲイト
4411 4410
4308
平和精機
工業

4205
ラムダ
システムズ
4203
エーティ
コミュニケーションズ

NANJING NAGASOFT
5307
ヴァレッジ
アイランド
5306
三井物産
エアロスペース
5210 5208
5209 武蔵
ティク



GoMax Electronics
4508 4509
TEEMA
4507
メイコー
4606
石川
トランク
製作所
4605
カンスイ

YUHSUN TECHNOLOGY/
BRUVIS MULTI MEDIA CREATIVE
4409 4407
三和
映材社/
三和
プロライト
4408
PROMISE
テクノロジ

4104
マイクロボード・
テクノロジー
4103
ティ・アイ・ティ
4102 Deity Japan
4101
よしみカメラ



5305
銀一
5206
トラフィック・
シム
5207
Too
5205
INTOPIX
SA
5304
ミナレ通信

ピーエスインターナショナル
5105 5106
ピーテック
5104
メディア
リンクス

4506
スタック電子
4604
AV LINK
GROUP

4405
モニック
4404
カナレ
電気

4202
アイ・ディ・ケイ/
アルバニクス
4201
ヴァイテック
ビデオコム/
マンフロット

5302 5303
DTS
イン
サイト
NKK
スイッチズ
5301
電波
新聞社
5203 5204
緑屋電気
和成
5202 5201
SHENZHEN
ANTOP
TECH
5103
興和光学
5102 5101
コベック
ジャパン
OpenStack

マウピック
4603 4601
アルピックス
4602
精工技研

4503 4504
クレセント/
BLUEFISH444
エム
電子
4502 4501
DALET
エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン

ジェーピージェネレーターズ
イノテック/QNAP
4402 4403
クボテック
4401
ニコン
システム
4303 4301
4302
ATV
ニューテック

4306 4305
小峰無線電機
松浦機械製作所

5001
CHIEF/映像センター



プレスルーム

本部事務局



商談ルーム



ミーティングルーム

宅配便コーナー

映像制作/放送関連機材部門

Hall 3

4 Hall 3

4 Hall 3

3509
 キヤノン/
 キヤノンマーケティングジャパン

3315
 アストロデザイン/
 シャープ

2611
 NHK/JEITA

3508
 日立国際電気

3414
 ローランド

3314
 メディア・ガーデン/
 江東電気/
 国際照明/
 富士ライト商事

2610
 テクノハウス

3605
 JEITA
 テープストレージ
 専門委員会

3507
 ユニテックス

3506
IP SHOW CASE

3413
 NIXUS
 北海道
 日興通信

3311
 アイディール
 システムズ
 ジャパン

3312
 モリサワ

3212
 ソシオ
 ネクスト

3107
 メディア
 パートナー

2612
 メディア
 パートナー

2509
 松田通商

3505
 グラスパレー

3409
 BELDEN/
 トモカ電気

3408
 WOWOWエンタテインメント

3308
 カリーナシステム

3209
 カベラシステムズ

2609
 営電

2608
 美容ビデオ
 エイジェンシー

2508
 LUMANTEK

2506
 エル・エス・
 アイジャパン

3603 ウェルクラフト

3604 日鐵住金
 溶接工業

3504 スカパーJSAT

3503 EMCジャパン

3602 放送技研

3601 パール
 光学工業

3502 NKL/Backstage Equipment/
 Grip Factory Munich /
 KFX Technology/
 イデオモータロボティクス/
 ACEBIL JAPAN

3501 日本ビデオシステム/
 ACEBIL JAPAN

3406 トモカ電気

3407 ノガ・ジャパン

3404 平河
 ビュー
 テック

3405 インターテック

3403 アイ・エス・エックス/OptoMedia Technology

3402 エヌ・
 イー・
 ビー

3401 フジコーフ
 工業

3306 デュブ
 レックス

3304 Y.D.S.
 Pro shop

3305 Mobile Viewpoint

3302 SiTune

3303 KOBA

3301 ATEN
 ジャパン

3206 システム計画研究所

3207 カンバス

3209 理経

3208 HGSTジャパン/
 G-Technology

3201 ルミカ

3204 3MIM

3104 IPTV
 フォーラム

3103 SET

3102 電波
 産業会

3101 メディア
 パートナー

映像情報メディア学会

2606 アンリツ

2607 ヒロセ
 電機

2605 3Dコンソーシアム

2603 加藤電気
 工業所

2602 スリー・エム

2601 COMART SYSTEM

2504 府中技研

2505 ラグナヒルズ/
 DATATON

2503 Bayern International/
 AVT Audio Video Technologies/Studio Wächter

2502 ユアサ
 工機

2501 フォレストデザインシステムズ

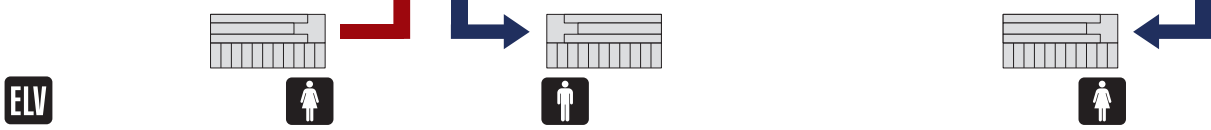
2010 おいぬビジョン

2009 川崎重工業

2008 ウエッジ

2007 東西商事アドテック

2006 スタジオ
 イクイブメント



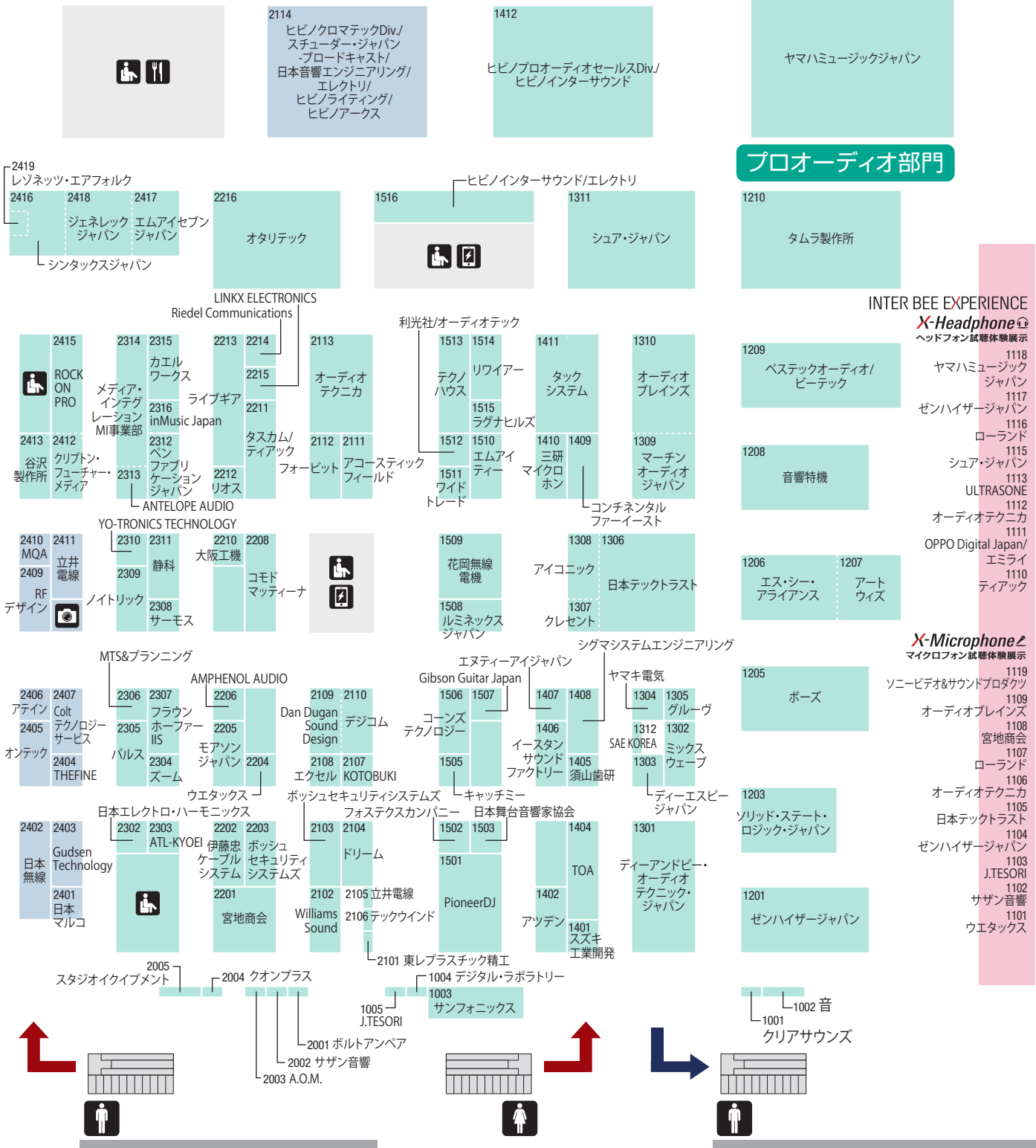
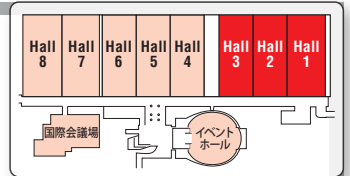
1F

2F

Hall 2



Hall 1



プロオーディオ部門

INTER BEE EXPERIENCE

- X-Headphone**
ヘッドフォン試聴体験展示
- 1118 ヤマハミュージックジャパン
 - 1117 ゼンハイザージャパン
 - 1116 ローランド
 - 1115 シュア・ジャパン
 - 1113 ULTRASONIC
 - 1112 オーディオテクニカ
 - 1111 OPPO Digital Japan/ エミライ
 - 1110 ティアック
- X-Microphone**
マイクロフォン試聴体験展示
- 1119 ソニービデオ&サウンドプロダクツ
 - 1109 オーディオブレインズ
 - 1108 宮地商会
 - 1107 ローランド
 - 1106 ローランド
 - 1106 オーディオテクニカ
 - 1105 日本テックトラスト
 - 1104 ゼンハイザージャパン
 - 1103 J.TESORI
 - 1102 サザン音響
 - 1101 ウエタックス

登録カウンター

プロオーディオ部門

Hall 1-2

1207 (株)アートウィズ
 1308 (株)アイコニック
 2111 (株)アコースティックフィールド
 1402 アツデン(株)
 2313 ANTELOPE AUDIO
 2206 AMPHENOL AUDIO
 1406 (株)イースタンサウンドファクトリー
 2202 伊藤忠ケーブルシステム(株)
 2316 inMusic Japan(株)
 2102 Williams Sound
 2204 ウエタックス(株)
 2003 A.O.M.(株)
 2303 (株)ATL-KYOEI
 2108 エクセル(株)
 1312 SAE KOREA
 1206 (株)エス・シー・アライアンス
 1407 エヌティーアイジャパン(株)
 2417 (株)エムアイセブンジャパン
 1510 エムアイティー(株)
 2306 (株)MTS & ブランニング
 1516 (株)エレクトリ
 2210 大阪工機(株)
 2113 (株)オーディオテクニカ
 1310 (株)オーディオブレインズ
 2216 オタリテック(株)
 1002 音(株)
 1208 音響特機(株)
 2315 (株)カエルワークス
 1507 Gibson Guitar Corp. Japan
 1505 キャッチミー(株)
 2004 クオンプラス(株)
 1001 クリアサウンドス
 2412 クリプトン・フューチャー・メディア(株)
 1305 (有)グルーヴ
 1307 (株)クレセント
 1506 コーンズテクノロジ(株)
 2107 (株)KOTOBUKI
 2208 コモドマッティーナ(株)
 1409 コンチネンタルファーマーイスト(株)
 2308 サームス(株)
 2002 (株)サザン音響
 1410 三研マイクロホン(株)
 1003 (株)サンフォニックス
 1005 (株)J.TESORI
 2418 (株)ジェネレックジャパン
 1408 (株)シグマシステムエンジニアリング
 2311 (株)静科
 1311 シュア・ジャパン
 2416 (株)シンタックスジャパン
 2304 (株)ズーム
 1401 スズキ工業開発(株)
 2005 (株)スタジオイクイメント
 1405 (株)須山歯研
 1201 ゼンハイザージャパン(株)
 1203 ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン(株)
 2211 タスカム/ティアック(株)
 2105 立井電線(株)
 1411 タックシステム(株)
 2413 (株)谷沢製作所
 1210 (株)タムラ製作所
 2109 Dan Dugan Sound Design, Inc.
 1301 ディーアンドビー・オーディオテクニク・ジャパン(株)
 1303 ディーエスピージャパン(株)
 1404 TOA(株)
 1513 (株)テクノハウス
 2110 (有)デジコム
 1004 (株)デジタル・ラボラトリー
 2106 テックウインド(株)
 2101 東レプラスチック精工(株)
 2104 (株)ドリーム
 2302 日本エレクトロ・ハーモニクス(株)
 1306 日本テクトラスト(株)
 1503 一般社団法人日本舞台音響家協会
 2309 ノイトリック(株)
 1501 Pioneer DJ(株)
 1509 花岡無線電機(株)
 2305 (有)バルス
 1209 ビーテック(株)
 1412 ヒビノインターサウンド(株)
 1516 ヒビノインターサウンド(株)
 1412 ヒビノプロオーディオセールスDiv.
 2112 (株)フォービット
 1502 フォステクスカンパニー
 2307 フラウンホーファー IIS
 1209 ベステックオーディオ(株)
 2312 ベンファブリケーションジャパン(株)
 1205 ボーズ合同会社
 2103 ポッシュセキュリティシステムズ(株)
 2203 ポッシュセキュリティシステムズ(株)
 2001 (有)ポルトアンベア
 1309 (株)マーチンオーディオジャパン
 1302 ミックスウェーブ(株)
 2201 (株)宮地商会
 2314 (株)メディア・インテグレーション MI 事業部
 2205 (株)モアソニックジャパン
 1304 ヤマキ電気(株)

1211 (株)ヤマハミュージックジャパン
 2310 YO-TRONICS TECHNOLOGY CO., LTD.
 2213 ライプギア(株)
 1515 (株)ラグナヒルズ
 2214 Riedel Communications GmbH & Co. KG
 2212 リオス(株)
 1512 (株)利光社/オーディオテック
 1514 リワイアー(株)
 2215 LINKX ELECTRONICS CO., LTD.
 1508 ルミネックスジャパン(株)
 2419 レゾネッツ・エアフォナル(株)
 2415 ROCK ON PRO
 1511 (株)ワイドトレード

X-Microphone

1101 ウエタックス(株)
 1106 (株)オーディオテクニカ
 1109 (株)オーディオブレインズ
 1102 (株)サザン音響
 1103 (株)J.TESORI
 1104 ゼンハイザージャパン(株)
 1119 ソニービデオ&サウンドプロダクツ(株)
 1105 日本テクトラスト(株)
 1108 (株)宮地商会
 1107 ローランド(株)

X-Headphone

1113 ULTRASON
 1111 (株)エミライ
 1112 (株)オーディオテクニカ
 1111 OPPO Digital Japan(株)
 1115 シュア・ジャパン
 1117 ゼンハイザージャパン(株)
 1110 ティアック(株)
 1118 (株)ヤマハミュージックジャパン
 1116 ローランド(株)

映像制作/放送関連機材部門

Hall 2-8

8408 ARDIS TECHNOLOGIES DDP
 2409 RFデザイン(株)
 3403 アイ・エス・エックス(株)
 5411 (株)アイ・ディー・エクス
 3311 アイディールシステムズジャパン(株)
 4202 (株)アイ・ディ・ケイ
 3210 IBC
 3104 一般社団法人IPTVフォーラム
 5107 アイベックステクノロジ(株)
 6209 (株)アサカ
 8309 (株)浅沼商会
 7307 (株)アスク/(株)ディストーム
 7203 (株)アスクメディア&エンタープライズ事業部
 3315 アストロデザイン(株)
 6307 アズラボ(株)
 6111 (株)アセント
 7507 ADDER Technology
 2406 アテイン(株)
 2007 アドテック(株)
 8308 (株)アドバンスト・メディア
 6402 アピッドテクノロジ(株)
 7204 アマゾンウェブサービスジャパン(株)
 4511 ALADDIN CO., LTD.
 5606 (株)アルチザネットワークス
 4202 (株)アルバニクス
 4601 アルピクス(株)
 5510 (株)アルモア
 2606 アンリツ(株)
 3503 EMCジャパン(株)
 5312 池上通信機(株)
 4606 (株)石川トランク製作所
 3502 (株)イデオモーターロボティクス
 4208 伊藤忠ケーブルシステム(株)
 4303 イノテック(株)
 4513 イメージニクス(株)
 5407 IMAGE MATTERS
 3405 (株)インターテック
 6107 (株)インターネットイニシアティブ
 5205 INTOPIX SA
 4201 ヴァイテックビデオコム(株)
 5307 (株)ヴィレッジアイランド
 8407 (株)ウェーブスプリッタ・ジャパン
 2008 ウエッジ(株)
 3603 ウェルクラフト(株)
 4410 WELL BUYING INDUSTRIAL CO., LTD.
 4501 エアバス・ヘリコプターズ・ジャパン(株)
 7308 AJA Video Systems
 5505 (株)映像工房 エアロファクトリー
 5402 特定非営利活動法人 映像産業振興機構
 2605 一般社団法人映像情報メディア学会
 7508 EIZO(株)
 7204 AWS エレメンタル
 5502 エイチ・シー・ネットワークス(株)
 2609 宮電(株)
 3301 ATENジャパン(株)
 4504 エイム電子(株)
 3501 ACEBIL JAPAN(株)
 3502 ACEBIL JAPAN(株)
 4203 エーティコミュニケーションズ(株)

(株)エーディテクノ
 4302 ATV(株)
 2502 AVT Audio Video Technologies GmbH
 4604 AV LINK GROUP LTD.
 5308 Extron Electronics, Japan
 3103 SET
 8107 合同会社エスディーピーシービジュアルシステム
 3208 (株)HGSTジャパン/G-Technology
 5507 (株)エディビット
 5412 NEC
 3402 エヌ・イー・ピー(株)
 5607 (株)NHKアイテック
 3213 NAB SHOW
 5303 NKKスイッチズ(株)
 3502 (株)NKL
 7201 (株)エヌジーシー
 5401 NTTエレクトロニクス(株)
 5401 NTTテクノクロス(株)
 8312 エムアイシー・アソシエーツ(株)
 8106 (株)エム・アンド・アイ ネットワーク
 2410 MQA Limited
 2506 エル・エス・アイ ジャパン(株)
 7412 (株)エルグベンチャーズ
 2114 (株)エレクトリ
 2010 (株)おいぬビジョン
 5503 (株)桜電社
 3105 (株)OA研究所
 3408 AudioVideo BrandBuilder Corporation
 5101 Open Stack, Inc.
 3403 OptoMedia Technology Inc.
 2405 (株)オンテック
 6406 カールツァイス(株)
 2603 (株)加藤電気工業所
 4404 カナレ電気(株)
 3209 カペラシステムズ
 3308 カリーナシステム(株)
 2009 川崎重工業(株)
 5212 関西通信電線(株)
 3002 関西放送機器展
 4605 (株)カンスイ
 3207 (株)カンパス
 3509 キヤノン(株)/キヤノンマーケティングジャパン(株)
 5508 (株)キャムキャスト7
 4303 QNAP(株)
 5509 (株)共栄商事
 6407 共信コミュニケーションズ(株)
 5305 銀一(株)
 2403 Gudsen Technology Co., Ltd
 4403 クボテック(株)
 6108 クラウドティアン(株)
 3505 グラスバレー(株)
 3502 Grip Factory Munich GmbH
 4503 (株)クレセント
 3003 Croak Studio
 5108 クロスイメージング(株)
 5604 (株)K-WILL
 3502 KFX Technology
 5409 ケンコー・トキナー(株)
 5409 (株)ケンコープロフェッショナルイメージング
 3314 江東電気(株)
 5103 興和光学(株)
 4409 GoMax Electronics, INC.
 3314 国際照明(株)
 5311 (株)コスミックエンジニアリング
 8208 (株)コスメイト
 3303 KOBA 2018 (KOREA E & EX INC.)
 5102 (株)コベックジャパン
 2504 COMART SYSTEM CO., LTD
 4305 小峰無線電機(株)
 2407 Coltテクノロジサービス(株)
 3201 3MIM(株)
 3302 SiTune Corp
 7410 (株)サクセル
 2404 THEFINE Co., Ltd.
 5110 三信電気(株)
 5408 (株)サンミュージック
 4407 (株)三和映材社
 4407 (株)三和プロライト
 4304 CEATEC JAPAN
 6110 (株)JVCケンウッド
 4402 (株)ジェービー・ジェネレーターズ
 5201 SHENZHEN ANTOP TECH CO., LTD
 4207 (株)シグマ
 3206 (株)システム計画研究所
 5506 (株)システムファイブ
 8209 (株)シナジー
 3315 シャープ(株)
 4309 ジャパンマテリアル(株)
 4511 (株)シューテック・ジャパン
 4106 JUNS(株)
 5603 Zhiyun-Tech
 8210 (株)昭特製作所
 7412 SWIT Electronics Co., Ltd.
 3504 スカパー JSAT(株)
 4608 (株)須川映像技術研究所
 4510 (株)SCREENグラフィックソリューションズ
 4609 スターコミュニケーションズ(株)
 2006 (株)スタジオイクイメント

2502 Studio Wächter
 4506 スタック電子(株)
 2114 スチューダー・ジャパン-ブロードキャスト(株)
 6306 スネル・アドバンスド・メディア(株)
 5507 SpectraCal Inc.
 5003 住友電気工業(株)
 2601 (株)スリー・エム
 2607 3Dコンソーシアム
 5409 スリック(株)
 4602 (株)精工技研
 5309 セイコーソリューションズ(株)
 4307 摂津金属工業(株)
 8204 Semtech Japan
 3212 (株)ソシオネクスト
 6112 ソニー(株)/ソニービジネスソリューション(株)
 6112 ソニーイメージングプロダクツ&ソリューションズ(株)
 5404 (株)ソリッドシステムズ
 4107 ダイナコムウェア(株)
 4509 Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association (TEEMA)
 2411 立井電線(株)
 7507 タックシステム(株)
 5405 田中電気(株)
 4502 DALET
 5001 CHIEF/映像センター
 4103 (株)ティ・アイ・ディ
 3309 (株)ティ・エム・エス
 7305 (株)TBSテレビ
 4611 TVU Networks
 5209 (株)テイク
 7307 (株)ディストーム
 5302 (株)DTSインサイト
 4102 Deity Japan 合同会社
 8106 Datavideo
 7306 テクトロニクス社
 8206 (株)テクニカルファーム
 2610 (株)テクノハウス
 5213 デジキャスト合同会社
 2503 DATATON
 3306 (株)デュプレックス
 4108 テレサイン・レクロイ・ジャパン(株)
 5403 (株)テレフォース
 2611 一般社団法人電子情報技術産業協会 AVC 部会
 3605 一般社団法人電子情報技術産業協会
 テーブルストレージ専門委員会
 3102 一般社団法人電波産業会
 5301 (株)電波新聞社
 5207 (株)Too
 5407 東京エレクトロニクスデバイス(株)/インレピアム
 2007 東西商事(株)
 4610 東芝インフラシステムズ(株)
 4610 東芝映像ソリューション(株)
 4610 東芝エルティエエンジニアリング(株)
 4610 東芝デジタルソリューションズ(株)
 4610 東芝メモリ(株)
 4610 東芝ライテック(株)
 8314 (株)東通インターナショナル
 3406 トモカ電気(株)
 5206 (株)トラフィック・シム
 6403 (株)ナックイメーজテクノロジー
 5210 NANJING NAGASOFT CORPORATION
 3413 NIXUS 北海道日興通信(株)
 4401 (株)ニコンスシステム
 5602 ニッキャビ(株)
 3604 日鐵住金溶接工業(株)
 2114 日本音響エンジニアリング(株)
 8205 日本海洋(株)
 5406 一般財団法人日本気象協会
 6207 日本クアンタムストレージ(株)
 6109 日本コントロールシステム(株)
 4412 日本シーゲイト(株)
 5002 日本通信機(株)
 5401 日本電信電話(株)
 2508 特定非営利活動法人日本ビデオコミュニケーション協会
 3501 (株)日本ビデオシステム
 2611 日本放送協会
 2401 日本マルコ(株)
 2402 日本無線(株)
 4301 (株)ニューテック
 5511 ネットワークエレクトロニクスジャパン(株)
 3407 ノガ・ジャパン(株)
 8313 NOVASTAR
 6206 (株)ノビテック
 3412 Harmonic Japan 合同会社
 3601 パール光学工業(株)
 2502 Bayern International
 3502 Backstage Equipment, Inc.
 7309 パナソニック(株)
 7309 パナソニックシステムソリューションズ ジャパン(株)
 8307 (株)パリュープラス
 5106 ビーエスインターナショナル(株)
 3307 (株)PFU
 5105 (株)ピーテック
 8410 ビジュアル・グラフィックス(株)
 4309 Visual Research Inc.
 3508 (株)日立国際電気
 5410 (株)ビデオサービス
 4513 ビデオトロン(株)
 2114 ビビノアークス(株)

2114 ヒビノクロマテック Div.
 2114 ヒビノライティング(株)
 3404 平河ヒューテック(株)
 2604 ヒロセ電機(株)
 5501 ヒロテック(株)
 6210 (株)フォトロン
 2602 フォレストデザインシステムズ(株)
 5109 フォントワークス(株)
 3401 フジコーワ工業(株)
 7409 富士通(株)
 3310 富士通エレクトロニクス(株)
 7202 富士ファイルム(株)
 3314 富士ライト商事(株)
 2505 (株)府中技研
 2608 (株)芙蓉ビデオエイジェンシー
 8211 ブラックマジックデザイン(株)
 4411 BRUVIS MULTI MEDIA CREATIVE Co., Ltd.
 5602 (有)ブランネット
 4503 BLUEFISH444
 4310 ブロードデザイン(株)
 3001 (株)ブロスパー電子
 4408 PROMISE テクノロジー(株)
 4508 プロライト・ダウティ(株)
 4308 平和精機工業(株)
 3409 Belden Singapore Pte. Ltd.
 3409 BELDEN/トモカ電気(株)
 5605 ベルボン(株)
 4311 (株)朋栄
 3602 (株)放送技研
 5504 Vocas Systems
 5504 Vocas Japan
 5310 (株)マイクロコム
 4104 (株)マイクロボード・テクノロジー
 8406 (株)マウスコンピュータ
 4603 (株)マウビック
 4306 (株)松浦機械製作所
 2509 松田通商(株)
 4312 (株)円
 4309 Matrox Electronic Systems Ltd.
 4105 マルミ光機(株)
 4201 マンプロット(株)
 5306 三井物産エアロスペース(株)
 8502 三友(株)
 5203 緑屋電気(株)
 5304 ミハル通信(株)
 5605 MILLER
 5208 武蔵(株)
 5608 武蔵オプティカルシステム(株)
 4507 (株)メイコー
 3314 (株)メディア・ガーデン
 5202 (株)メディアキャスト
 5104 (株)メディアリンクス
 8310 メモリーテック(株)
 8411 メラノックステック/ロジーズ/
 サーヴァンツインターナショナル
 3305 Mobile Viewpoint
 3312 (株)モリサワ
 2501 ユアサ工機(株)
 4411 YUHSUN TECHNOLOGY CORPORATION
 3507 (株)ユニテックス
 4101 (株)よしみカメラ
 2503 (株)ラグナヒルズ
 4205 (株)ラムダシステムズ
 8311 ランサーリンク(株)
 7509 リーダー電子(株)
 3204 (株)理経
 4607 (株)RIP-TIE
 8407 (株)リンディー・セールス
 2507 LUMANTEK
 3202 (株)ルミカ
 7101 (株)RAID
 3414 ローランド(株)
 3304 (株)Y.D.S.pro shop
 3408 WOWOW エンタテインメント(株)
 5204 和成(株)

映像表現/プロライティング部門

Hall 6

6302 アガイ商事(株)
 6204 Yegrin Liteworks
 6301 Insta360
 6105 (株)インタニヤ
 6001 (株)サンテック
 6102 SHENZHEN GLOSHINE TECHNOLOGY CO.,LTD.
 6105 ジュエ(株)
 6002 (株)ストロベリーメディアアーツ
 6106 西華デジタルイメージ(株)
 6205 TGL
 6103 日本映画テレビ照明協会
 6104 公益社団法人日本照明家協会
 6201 (株)ヒート
 6202 佛山市青松科技株式会社
 6305 BRAX/セカンドステージ
 6101 (株)プロ機材ドットコム
 6303 (株)マイルランテック
 6304 MISONICS
 6401 WONDER VISION TECHNO LABORATORY(株)

INTER BEE IGNITION

6509 (株)NTTドコモ
 6510 (株)クリーク・アンド・リバー社
 6506 (株)シネ・フォーカス
 6505 (株)ジョリーグッド
 6503 先進映像協会 日本部会
 6502 先進映像協会ルミエール・ジャパン・アワード2017
 6509 (株)トゥエンティ・フォー・ストリーム
 6507 日本テレビ放送網(株)
 6501 日本放送協会
 6508 日本放送協会
 6504 (株)ヒクセラ

ICT/クロスメディア部門

Hall 7-8

8203 RGBLINK
 8203 IABM
 8303 ITG マーケティング(株)
 8403 アカマイ・テクノロジー合同会社
 8201 ATOMOS(株)
 7503 (株)アブコット
 8302 アリスタネットワークスジャパン合同会社
 8305 伊藤忠テクノソリューションズ(株)
 7403 WONWOO
 8203 AVIWEST S.A.S
 7303 AB1 CODEC TEAM TechStar
 8401 (株)エクスポローラ
 8203 AXON DIGITAL DESIGN B.V
 7405 (株)エヌジーシー
 7504 KAIMEDIA
 7005 加賀ソルネット(株)
 7505 Guntermann & Drunck GmbH
 8405 Group IMD
 8203 GLENSOUND
 7004 Croak Studio
 8304 シーティーシー・エスピー(株)
 8103 (株)JX通信社
 8202 シスコシステムズ合同会社
 8203 Scalify
 7402 スキルアップ・ビデオテクノロジー(株)
 7501 スキルアップ・ビデオテクノロジー(株)
 7002 (株)スプリテック
 8105 Spin Digital Video Technologies GmbH
 8306 (株)Spectee
 8301 DXアンテナ(株)
 7003 (株)データブロード
 7407 テクノプレーン(株)
 8104 (株)テクノマセマティカル
 8105 テクノロジー・ジョイント(株)
 8101 (株)東北新社
 8105 トーワ電機(株)
 7304 とくしま4Kフォーラム実行委員会
 7502 日本アイ・ビー・エム(株)
 7001 日本デジタル・プロセッシング・システムズ(株)
 7301 日本マイクロソフト(株)
 7401 (株)ネクストスケープ
 8101 (株)ねこじやらし
 8401 (株)PALTEK
 7408 (株)ファイバーネットワーク
 8501 (株)フェアウェイ
 8207 (株)フジテレビジョン
 7506 (株)フジミック
 7304 (株)ブラットイーズ
 7302 北陸電話工事(株)
 7406 Macro Image Technology Inc.
 8001 メディアエッジ(株)
 8402 吉積情報(株)
 7404 (株)ロジックロジック

INTER BEE CONNECTED

7104 (株)EVC
 7105 (株)EVC
 7103 伊藤忠ケーブルシステム(株)
 7112 JOCDN(株)
 7106 (株)Jストリーム
 7107 (株)テレビ朝日
 7111 日本テレビ放送網(株)
 7114 日本ビューレット・バックカード(株)
 7108 日本放送協会
 7110 (株)HAROID
 7102 (株)フォトロン
 7109 ホウドウキョク
 7113 マルチスクリーン型放送研究会

INTER BEE CREATIVE

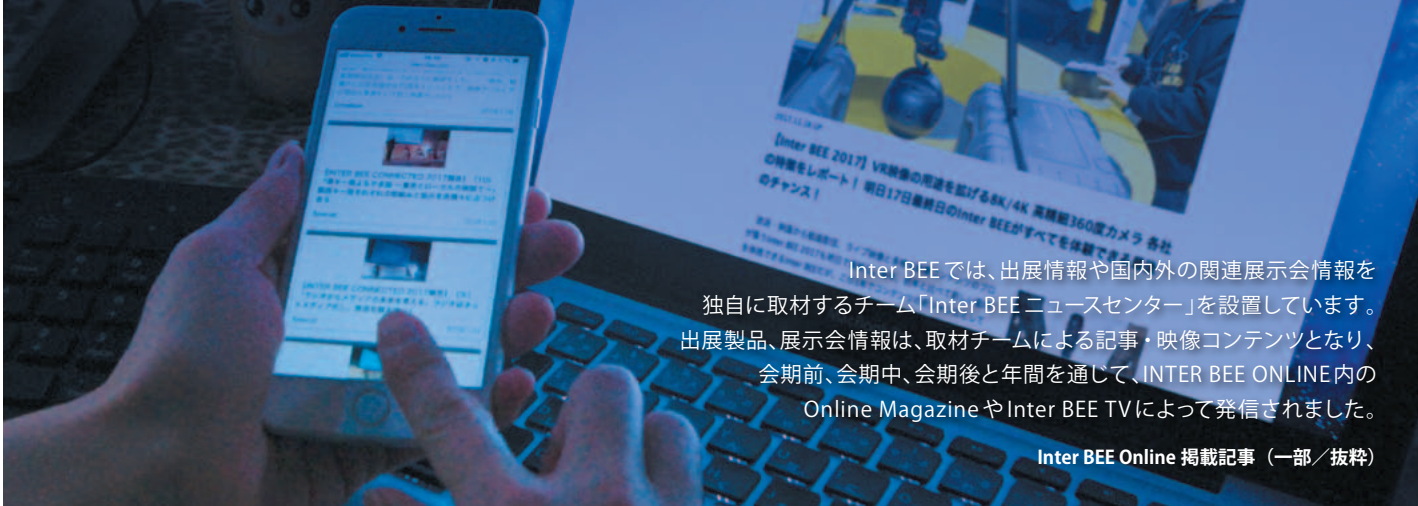
8511 IMAGICA
 8510 (株)オムニバス・ジャパン
 8507 (株)キュー・テック
 8506 (株)東京サウンド・プロダクション
 8509 一般社団法人日本ポストプロダクション協会
 8505 パナソニック映像(株)
 8508 レスパシビジョン(株)

MEET-UP Hands On エリア

8513 アドビシステムズ(株)
 8514 DJI Japan(株)
 8512 パナソニック(株)
 8512 パナソニックシステムソリューションズ ジャパン(株)

音と映像と通信のプロフェッショナル情報サイト

INTER BEE ONLINE



Inter BEEでは、出展情報や国内外の関連展示会情報を独自に取材するチーム「Inter BEE ニュースセンター」を設置しています。出展製品、展示会情報は、取材チームによる記事・映像コンテンツとなり、会期前、会期中、会期後と年間を通じて、INTER BEE ONLINE内のOnline MagazineやInter BEE TVによって発信されました。

Inter BEE Online 掲載記事 (一部/抜粋)

アテイン(株) 2017.10.17UP
撮影用テレプロンター、演説用スピーチプロンターなどプロンター商品を出展




Dan Dugan Sound Design, Inc. 2017.10.31UP
最大32chに対応した新製品「Model E-3A」を初出展
オートミキサーの開発者デュガン氏が来日しデモを実施




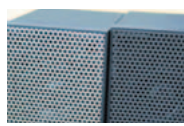

クロスイメージング(株) 2017.11.2UP
放送用3D気象情報作画システム「BOLT Weather Station」や、防災情報送出システム、緊急地震速報システムなどを出展




(株)Spectee 2017.10.25UP
ニュース記事を自動で作成する「AI記者」がさらに進化より速く、より細かく、より詳しくニュースを伝える報道機関向けニュース記事自動作成サービスを出展




東レプラスチック精工(株) 2017.10.31UP
CFRTP素材のスピーカーカバーを出展、軽量、防錆に加えて音質向上効果も

WOWOWエンタテインメント(株) 2017.11.2UP
カラーコレクションデバイス「IS-miniX」とHDR対応制御ソフト「WonderLookPRO」の最新バージョンを出展






クボテック(株) 2017.10.26UP
4Kコンテンツの需要拡大に対応した新製品 HEVC/H.265 採用4Kリアルタイムエンコーダ/デコーダ「MNB4000」シリーズを出展




EIZO(株) 2017.11.1UP
12月発売の31.1型HDRリファレンスマニター新製品を実機展示「次世代HDRワークフロー」をテーマに各種最新HDR対応機器をデモ 数量限定ノートも配布




電子情報技術産業協会 テープストレージ専門委員会 2017.11.3UP
4K/8K時代へ向けたテープストレージの新世代LTO 8を出展 1巻12TBに1巻192TBの第12世代までのロードマップも紹介



アストロデザイン(株) 2017.10.27UP
編集時間を10分の1に大幅短縮した最新8Kノンリニア編集環境 2020へ向け8K制作に対応した各種製品を発表






Insta360 2017.11.2UP
最大8K解像度360°撮影が可能なプロ用VRカメラを出展




(株)エム・アンド・アイ ネットワーク 2017.11.6UP
Datavideo社製4K映像切り出しユニットを出展 1ソースから最大4つのHD映像を同時に表示

(株)ガンスイ 2017.10.31UP
独LYNX Technik社製4K/8K対応12G-SDI光ファイバー送受信機を出展 3GSDI信号を最大20kmまで伝送可能

(株)映像工房 エアロファクトリー 2017.11.2UP
地上61メートルで無制限にドローン撮影可能な米社製有線給電システムを出展




キャッチミー(株) 2017.11.6UP
デジタルワイヤレスインカムの新製品を出展 クリアな音質で最大120人との通話が可能に 中継アンテナで100mのワイヤレス通話も



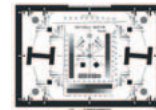

ジュエ(株) 2017.11.6UP
8K 立体視360度カメラや360度撮影専用スタビライザー
など各種新製品を出展



(株)アイ・ディ・ケイ 2017.11.11UP
4K@60 VIDEO OVER IP Solution IP-NINJARを出展



パール光学工業(株) 2017.11.14UP
8K 撮影用解像力チャート、900x1600mmの大型チャートと
透過型8K 解像力チャートを参考出展 会場で撮影もOK



日本アイ・ピー・エム(株) 2017.11.6UP
IBMのAI「Watson」と「IBM Cloud」活用した8K 映像編集
ワークフロー提案 最大180TB非圧縮記録可能な
オールフラッシュ登場



(株)フォトロン 2017.11.12UP
4K HDR/8K/IPなど国内初出展製品を含む最新映像シス
テムを出展 360度カメラやAIを組み合わせたAIスポーツ
映像制作のデモを実施



ビジュアル・グラフィックス(株) 2017.11.14UP
低コストQCソフトウェア「QUALES」を出展 中京テレビ
からのゲストを招き、Editshare 導入事例をデモ



(株)シネ・フォーカス 2017.11.8UP
INTER BEE IGNITION エリアで3D ホログラム技術の
最新機器を出展



(株)オンテック 2017.11.13UP
マルチファイルプレーヤー「KAMELEON」にポン出し利用が
可能な新機能を追加して展示、スマホ撮影関連製品も充実



アビッドテクノロジー(株) 2017.11.15UP
クラウド、4Kソリューション等の新製品を紹介



(株)テイク 2017.11.8UP
Edelkrone 製電動スライダーなどを出展 スマホの簡単制御
で多彩な映像表現が可能に



(株)ティ・アイ・ディ 2017.11.13UP
実測2,000MB/s超PCIe3.0 台湾Accusys社製ストレージ
ExaSAN「A16S3-PS」とPCIe接続専用SANスイッチで
4K 編集デモ



(株)ヴィレッジアイランド 2017.11.15UP
ビジュアリー・ロスレス画質のTICOコーデックの最新製品
「VICO-4H」や8K対応12G-SDI TICOコンバータ
「VICO-8」を出展



ホウドウキョク 2017.11.8UP
スマホ時代の新しいニュースの伝え方、さらに次の時代の
新しい伝え方を模索 VR・ARを駆使した未来の報道の姿を
デモで提案



ベルボン(株) 2017.11.13UP
豪 MILLER 社フルードヘッドの新製品「Compass
Xシリーズ」を国内初出展 注目を集めている「HD 100
ツールステージ三脚 CF/2M キット」など



オタリテック(株) 2017.11.15UP
ワイヤレス・インカムシステム「Bolero」を展示



ATENジャパン(株) 2017.11.10UP
目指すのは「映像とITの融合」 IPベースで高品質な4K 映像
の制作・配信を実現



(株)谷沢製作所 2017.11.14UP
新製品 PGM 端子付き 子機用4Wアダプタ「IN-HS042」
を出展



グラスパレー(株) 2017.11.15UP
EDIUS Pro 9 ノンリニアビデオ編集ソフトウェア展示



Gibson Guitar Corp. Japan 2017.11.10UP
Cerwin-Vega 製パワードPAスピーカー「Cerwin Vega
CVXシリーズ」、KRKのスタジオモニター「ROKITシリーズ」
出展



(株)テクノハウス 2017.11.14UP
仏 AVIWEST 社製 H265 ハードエンコーダー内蔵モバイル
トランスミッター「AIR320」を出展 世界のどこからでも
高画質でシームレスに映像配信



(株)ケンコープロフェッショナルイメージング 2017.11.15UP
近日発売のLED ライト用バッテリーシステム「FXLION」を
紹介



サーモス(株) 2017.11.10UP
VECLOSブランドのプロ・セミプロに向けた真空エンクロー
ジャー採用のモニタースピーカー新製品「MSA-380S」を
一般向けに初公開






















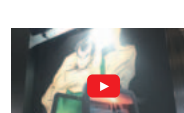



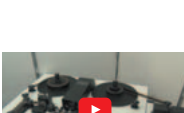



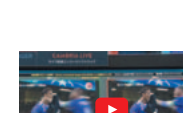

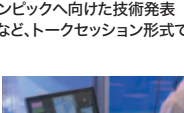



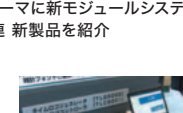
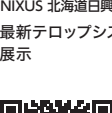
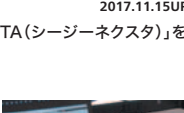
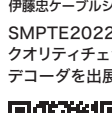
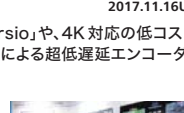
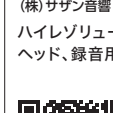
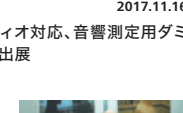
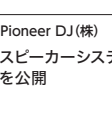
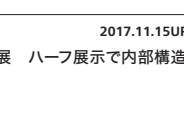
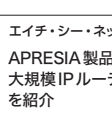
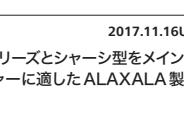
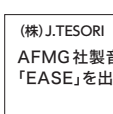
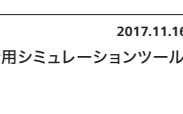


日本放送協会 2017.11.14UP
8K中継車など8K制作支援の最新機器出展 8K視聴を
体感できる「8Kリビングシアター」や受信機器を出展
立体映像や8KVR美術館も



三信電気(株) 2017.11.15UP
複数台の携帯電話を活用したLiveU社製映像伝送の
4K60P対応版を参考出展



<p>(株)システムファイブ 2017.11.15UP IP対応小型中継車の「SMART PROCAST」を展示</p>  	<p>ユアサ工機(株) 2017.11.15UP 新製品の多軸パンチルトと4種類の伸縮ポールシステムの展示</p>  	<p>ACEBIL JAPAN(株) 2017.11.16UP フォト・ビデオ用の三脚モータードライブを利用したスライダースystemなど各種新製品を展示</p>  
<p>シャープ(株) 2017.11.15UP 11月7日に発表した8Kカムコーダー「8C-B60A」を出展</p>  	<p>ローランド(株) 2017.11.15UP 新製品のSDI / HDMI 両対応の6chビデオ・スイッチャー「V-60HD」を出展</p>  	<p>(株)エヌジーシー 2017.11.16UP 最大6種類のOSをマルチブート可能なプラットフォーム「TITAN 380-G3」を中心に様々な製品を紹介</p>  
<p>スネル・アドバンスト・メディア(株) 2017.11.15UP フィニッシングを一貫して行える「Quantel Rio 8K」、スポーツハイライトシステム「LiveTouch」を紹介</p>  	<p>(株)アサカ 2017.11.16UP 番組、CM差し替え用 SCTE104 VANCインサータ / デコーダ「DU-187/DU-188」を出展</p>  	<p>(株)オーディオテクニカ 2017.11.16UP UHFデジタルワイヤレスシステム「3000 Digital Wireless System」や、赤外線マイクロホンシステムなどを出展</p>  
<p>ディーアンドビー・オーディオテクニク・ジャパン(株) 2017.11.15UP 新しい音響空間The d&b Soundscapeを出展、体験デモ</p>  	<p>ATOMOS(株) 2017.11.16UP 19インチの大型録音モニター「SUMO19」を紹介 1200nitで屋外でも高い視認性</p>  	<p>音響特機(株) 2017.11.16UP 米QSC社製シグナルプロセッサー Q-SYSを出展</p>  
<p>(株)ティー・エム・エス 2017.11.15UP ドイツフィルムスキャナー SPInnersを展示</p>  	<p>EMCジャパン(株) 2017.11.16UP 最新世代のスケールアウト型NASストレージ「Isilon」を展示</p>  	<p>カベラシステムズ 2017.11.16UP Cambria LIVEを展示 フレキシブルなライブ配信の自動化を実現</p>  
<p>(株)TBSテレビ 2017.11.15UP 2020年東京オリンピック・パラリンピックへ向けた技術発表 人気番組「ひるおび」のVR生中継など、トークセッション形式で最新技術を披露</p>  	<p>(株)イデオモーターロボティクス 2017.11.16UP 最高時速100km/hのカメラカー ROVER TAROと、水深100mに対応の水中ドローン BiueROV2を展示</p>  	<p>(株)コスミックエンジニアリング 2017.11.16UP 「次世代放送への架け橋」をテーマに新モジュールシステム「C5000」や12G 4K IP関連 新製品を紹介</p>  
<p>NIXUS 北海道日興通信(株) 2017.11.15UP 最新テロップシステム「CG-NEXTA(シージーネクスタ)」を展示</p>  	<p>伊藤忠ケーブルシステム(株) 2017.11.16UP SMPTE2022に対応した「Versio」や、4K対応の低コストクオリティチェッカー、最新技術による超低遅延エンコーダ / デコーダを出展</p>  	<p>(株)サザン音響 2017.11.16UP ハイレゾリューション・オーディオ対応、音響測定用ダミーヘッド、録音用ダミーヘッドを出展</p>  
<p>Pioneer DJ(株) 2017.11.15UP スピーカーシステムXY-3Bを出展 ハーフ展示で内部構造を公開</p>  	<p>エイチ・シー・ネットワークス(株) 2017.11.16UP APRESIA製品の最新版・NPシリーズとシャーシ型をメインに大規模IPルーティングスイッチャーに適したALAXALA製品を紹介</p>  	<p>(株)J.TESORI 2017.11.16UP AFMG社製音響システム設計用シミュレーションツール「EASE」を出展</p>  

ソニー(株)/ソニービジネスソリューション(株) 2017.11.16UP
CineAltaカメラ「VENICE」を展示



ヒビノ(株) ヒビノプロオーディオセールスDiv. 2017.11.16UP
JBL製ライン・アレイスピーカー「VTX-A12」を出展 軽量・コンパクトサイズで高い耐候性 オートロッキング機構で2ステップで吊り作業



リーダー電子(株) 2017.11.16UP
IPソリューションを中心に様々な製品を紹介



ダイナコムウェア(株) 2017.11.16UP
フォント年間ライセンス Dyna Smart V を展示 映像作品や放送、動画配信サービスといった番組内の文字表示に対応



ヒビノインターサウンド(株) 2017.11.16UP
独CODA AUDIO社のアレイアブル・ポイントソース・スピーカーシステム「APS」を出展 27kgの軽量・コンパクトで最大音圧146dB



(株)JVCケンウッド 2017.11.17UP
IPリモートカメラソリューションをメインに3つのテーマでソリューションを紹介



CHIEF/映像センター 2017.11.16UP
業務用フラットパネルディスプレイ&プロジェクター向けマウントブラケット「CHIEF(チーフ)」新製品を紹介



(株)ファイバーネットワーク 2017.11.16UP
高品質専用線「光ファイバー通信サービス」を出展 速度無制限のWDM回線を提供



(株)アイ・ディー・エクス 2017.11.17UP
フラッグシップモデルの新パワーリンクバッテリー、ワイヤレス伝送装置2モデル、LEDライト4モデルなどを参考出品



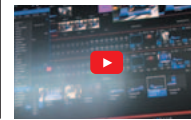
DXアンテナ(株) 2017.11.16UP
IPDC技術を利用した防災地域情報配信システム「DXマルチキャスト」を紹介



(株)フェアウェイ 2017.11.16UP
モザイク加工処理専用機「GANTAI」を出展 開催自動シーン検出・オートトラッキング・多数同時モザイク処理など豊富な機能



(株)アスク/(株)ディストーム 2017.11.17UP
NewTek社「NDI」を中心に紹介



テックウインド(株) 2017.11.16UP
米Westone社製プロ用インイヤーマニター「Westone」を展示 高い遮音性と快適な着け心地を実現



ブラックマジックデザイン(株) 2017.11.16UP
DeckLink 8K Proを来年1月初旬発売にさきがけ出展



(株)アスク メディア&エンタープライズ事業部 2017.11.17UP
5つのテーマで映像業界向けの様々なソリューションを提案



東京エレクトロ デバイス(株)/インレピアム 2017.11.16UP
放送・医療機器向けのビデオコーデックモジュール「ORIGAMI MODULE B20」を出展



ミナル通信(株) 2017.11.16UP
4K/8K放送対応 設備工事向け「高度BS対応RFチェッカー」を参考出品



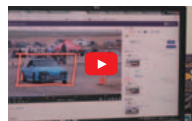
ANTELOPE AUDIO 2017.11.17UP
フルディスクリット トランジスタ・マイクプリアンプ搭載のインターフェイスを発表



日本コントロールシステム(株) 2017.11.16UP
実効レート200Gbpsで非圧縮8K120Hz RGB444データを最大30分録画可能なデータレコーダを出展



メモリーテック(株) 2017.11.16UP
動画のリテイク回数を削減するためのグループウェアの新製品「KaleiDA reView」を出展



(株)石川トランク製作所 2017.11.17UP
軽量タイプのカラフルなトランクを展示 フレーム部分をカラーアングルにした新シリーズ



Harmonic Japan 合同会社 2017.11.16UP
OTT最適化ソリューションのEyeQ、4Kプレイアウトエンコードを展示



(株)モリサワ 2017.11.16UP
4K 8K対応デジタルTV書体を展示





IMAGICA 2017.11.17UP
クラウドファーストのデータ管理・共有ソリューション「TASKEE」を紹介



ヴァイテックビデオコム(株) 2017.11.17UP
スプレッター不要の三脚「フローテック75」を紹介




カールツァイス(株) 2017.11.17UP
新製品の「ZEISS CP.3 XDシネプライムレンズ」、「ZEISS CZ.2シネズームレンズ」、「ZEISS LWZ.3シネズームレンズ」を出展



(株)シグマ 2017.11.17UP
超広角14mm T2.0 フルフレーム対応レンズを出展




AJA Video Systems 2017.11.17UP
HDR/WCG対応「FS-HDR」の実機展示、新製品「Io IP」を公開




(株)加藤電気工業所 2017.11.17UP
テレビ、ラジオ等放送関係のアンテナ、および周辺設備、機器を出展

シスコシステムズ合同会社 2017.11.17UP
SONYと「ライブ制作インフラのIP化」を共同展示




エーティコミュニケーションズ(株) 2017.11.17UP
データバス社製小型軽量の可搬通信アンテナを出展






カリナシステム(株) 2017.11.17UP
ハイブリッドキャスト配信対応MPEG-DASH対応の4K HEVC ハードウェアエンコーダー「NEB-4K」を出展




(株)ジョリーブッド 2017.11.17UP
ハンズフリー 360度カメラマウントシステム「Wearable Mount 360」の先行展示




(株)エーディテクノ 2017.11.17UP
4K UHD 15.6型IPS液晶パネル搭載 業務用マルチメディアディスプレイを出展

共信コミュニケーションズ(株) 2017.11.17UP
米シリコンコア社製220インチLEDディスプレイを出展




ゼンハイザージャパン(株) 2017.11.17UP
公式Facebookでセミナー内容を会場からライブ配信




Extron Electronics, Japan 2017.11.17UP
4K対応クロスポイントシリーズを出展 マトリックススイッチャー、トランスミッター、レシーバーをシステムで提案




Grip Factory Munich GmbH 2017.11.17UP
撮影用各種ショックアブソーバーを出展






(株)ソシオネクスト 2017.11.17UP
超高精度映像(8K)配信サービス、8Kリアルタイムエンコーダーをデモ




NEC 2017.11.17UP
IPルーター、IPゲートウェイなど、放送用IPソリューションを出展




クリプトン・フューチャー・メディア(株) 2017.11.17UP
「ボコーラル」や「スピーチ」を検出、分離し、調整が可能な Audionamix社製ソフトウェア群を出展

(株)ソリトンシステムズ 2017.11.17UP
H.265モバイルエンコーダーを出展




(株)エルグベンチャーズ 2017.11.17UP
SWIT社のモニターを中心に紹介




(有)グルーブ 2017.11.17UP
国産音楽ライブラリー GROOVERS MUSIC LIBRARYを含む国内外約50の業務用音楽ライブラリーを提案




(株)タムラ製作所 2017.11.17UP
DSPエンジン搭載の汎用型オーディオインターフェイスユニット SYSTEM INTERFACEを出展




(株)エレクトリ 2017.11.17UP
米スタジオテクノロジー社製 Dante ネットワーク用 マスタークロック Model 5401 出展 ネットワーク上の複数デバイスに安定したリファレンス提供




KFX Technology 2017.11.17UP
NKLと共同開発したカメラヘッドを出展




DALET 2017.11.17UP
メディア業界向けMAMとワークフローオーケストレーションを紹介




(株)東通インターナショナル 2017.11.17UP
カメラ防振装置を紹介



PROMISEテクノロジー(株) 2017.11.17UP
Thunderbolt3 対応 Pegasus3 シリーズの新製品を出展



(株)ユニテックス 2017.11.17UP
USB 接続 LTO-8 装置とマルチ光ディスクシステムを出展



NOVASTAR 2017.11.17UP
新マルチスクリーン「J6」を出展



(株)朋栄 2017.11.17UP
解像度、伝送方式、階調/色調、コーデックの4つの技術基盤を
中心に、回線、スタジオ・ニュース、スポーツ、グラフィック製品・
ソリューションを提案



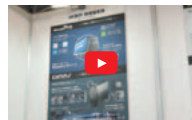
和成(株) 2017.11.17UP
ビデオ三脚「HL-T660,HL-T660II,HL-P880」、ズーム
コントローラー「HL-R1 DVXII」(新製品)などを出展



パナソニック システムソリューションズ ジャパン(株) 2017.11.17UP
12G-SDI 対応 4K スタジオシステムを紹介



(株)マウスコンピューター 2017.11.17UP
4K 編集が可能な法人向けパソコン「MousePro-W900
シリーズ」を出展



WONDER VISION TECHNO LABORATORY(株) 2017.11.17UP
8K 搭載の半球体スクリーン「Sphere 5.2」を出展



(株)日立国際電気 2017.11.17UP
次世代放送システムを提案



メディアエッジ(株) 2017.11.17UP
新製品の 4K / HD 対応シームレス IP 映像送出サーバー
「MEDIAEDGE-APM」を出展



(株)アセント 2017.11.22UP
米社製大型映像演出システム Click Effects PRIME デモ
Bリーグ初代チャンピオン 栃木ブレックスの「ブレイクス
アリーナ宇都宮」の事例紹介



富士通(株) 2017.11.17UP
HEVC 4K 対応小型コーデック 「IP-HE950」を紹介



(株)メディア・ガーデン 2017.11.17UP
照明機器 4 社で共同出展 英国 ROTOLIGHT 社製 LED
などを出展



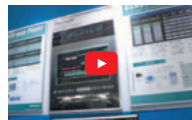
(株)NKL 2017.11.22UP
バギー上にスタビライザーシステム「Movi XL」、Grip
Factory 製ショックアブソーバーを搭載した移動式撮影
システムを参考出展



(株)フジテレビジョン 2017.11.17UP
VR で動画を楽しめる「FOD VR」を出展



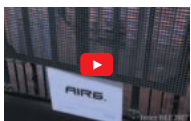
(株)モアソンジャパン 2017.11.17UP
ラジオ放送局向けの「CLASS-PAD ワンマンDJ 対応・
スタジオシステム」を出展



(株)オーディオブレインズ 2017.11.22UP
アビッド社の次世代ライブサウンドシステム「VENUE | S6L」
を出展 WAVES (WSG 社) のマルチバンドコンプレッサー
C6 と連動



BRAX/セカンドステージ 2017.11.17UP
超軽量 LED ディスプレイ「Air6.」を出展



ヤマキ電気(株) 2017.11.17UP
アナログ VU メーターの動特性を忠実に再現したウィンドウス
対応 VU メーターアプリケーションを参考出展



クラウドファン(株) 2017.11.22UP
4K・8K 映像時代のアクティブアーカイブをテーマに、映像
アーカイブに適したオブジェクトストレージ「HYPER STORE」
を出展



(株)プロ機材ドットコム 2017.11.17UP
GH5 用 ENG リグシステムを出展








































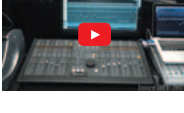










(株)ヤマハミュージックジャパン 2017.11.17UP
新製品の小型コントロールサーフェス「CS-R10-S」を出展
サイズが約 3 分の 2 にコンパクト化、操作性を継承し用途を
拡大



ジャパンマテリアル(株) 2017.11.22UP
「Karisma CG」と「Karisma D-Stream DX」による
ファイルベース編集をデモ

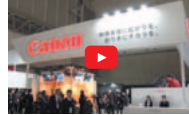



<p>先進映像協会 日本部会 2017.11.22UP グッドプラクティス・アワードとして 8K：VR ライド「東京 VICTORY」を表彰</p>  	<p>(株)エディビット 2017.11.23UP 米 SpectraCal 社製カラーキャリブレーションソフトや、ユニカムノルタ製の最新カラーアナライザー CA-410 を出展</p>  	<p>日本音響エンジニアリング(株) 2017.11.23UP 森の音響効果に着目した新しいルーム・チューニング機構「Acoustic Grove System」(柱状拡散体)を出展</p>  
<p>(株)トラフィック・シム 2017.11.22UP 統合集約監視システムなど各種新監視システムや放送記録/閲覧システムなどを出展</p>  	<p>シーティーシー・エスピー(株) 2017.11.23UP Advantech 社の VEGA シリーズ製品による OTT 配信ソリューションをデモ</p>  	<p>日本ヒューレット・パッカド(株) 2017.11.23UP コンテンツ管理・配信ソリューションをデモ 仮想化・自動化により運用効率を向上、コスト削減に貢献</p>  
<p>(株)ナックイメージテクノロジー 2017.11.22UP AR/VR カメラトラッキングシステム「Nカム ジェネレーション2」出展 カメラ位置を測定しリアルタイムに CG・実写合成</p>  	<p>シュア・ジャパン 2017.11.23UP AV 会議ソリューション「MICROFLEX ADVANCE」、フラッグシップ・デジタルワイヤレスシステム「AXT DIGITAL」を出展</p>  	<p>富士フイルム(株) 2017.11.23UP FUJINON シネレンズの新製品「FUJINON MK 18-55mm T2.9」「FUJINON MK 50-135mm T2.9」を出展</p>  
<p>ヒビノアークス(株) 2017.11.22UP IP 伝送によるホールの遠隔モニタリングシステムなどを出展</p>  	<p>(株)SCREENグラフィックソリューションズ 2017.11.23UP ARIB 準拠のヒラギノ TV ゴシックや、中国語フォントを紹介</p>  	<p>三友(株) 2017.11.23UP シネマレンズ「Leica CINE LENSES」、8K 再生システム「HyperCUBE」、プロ用 8K 3D VR カメラ「Obsidian」など出展</p>  
<p>平和精機工業(株) 2017.11.22UP カメラの着脱をワンタッチで可能にするスマート・クイックリリース・アダプター「AP-X」を出展</p>  	<p>スターコミュニケーションズ(株) 2017.11.23UP ポータブルタイプの映像伝送システム TVU One V2 を出展 モジュール、アンテナ内蔵し 3 キャリアの LTE 通信に対応</p>  	<p>武蔵(株) 2017.11.23UP Simply Live 社製オールイン・ワン・プロダクションシステムを出展 6 カメ分の映像を同時収録</p>  
<p>(株)宮地商会 2017.11.22UP 仮想レコーディングスタジオを開発し各種システムをデモ ProTools マトリクスをコアにしたミックスマスタリング環境などを展示</p>  	<p>スチューダー・ジャパン・ブロードキャスト(株) 2017.11.23UP 音声ミキサー VISTA ファミリーのフラッグシップモデル「VISTA X」を出展</p>  	<p>リワイアー(株) 2017.11.23UP WAVES 社ライブサウンド用ミキサー LV 1 システムや、カナダ Adamson Systems Engineering 社スピーカー「S-Series」を出展</p>  
<p>アイベックステクノロジー(株) 2017.11.23UP 超低遅延 H.264 コーデック HLD-300C と AWS Elemental Cloud サービスによる OTT 配信をデモ</p>  	<p>ソリッド・ステート・ロジック・ジャパン(株) 2017.11.23UP Nucleus2 Dark を国内初出展</p>  	<p>イメージニクス(株) 2017.11.24UP 4K 映像の長距離伝送、分配、ディスプレイ新製品を多数出展</p>  
<p>池上通信機(株) 2017.11.23UP スタジオタイプ 4K カメラ「UHK-435」を出展 4K、HD のサイマル出力を実現 HLG 搭載で暗部から明部まで高ダイナミックレンジに対応</p>  	<p>東芝インフラシステムズ(株) 2017.11.23UP CMバンク、番組サーバで実績のあるフラッシュメモリサーバ「VIDEOS」の次世代機「Next VIDEOS」を参考展示</p>  	<p>(株)エス・シー・アライアンス 2017.11.24UP 米国 AXIA 社の IP オーディオネットワークコンソール「iQ」を出展 コミュニティ FM など国内 30 局に納入実績</p>  

NTTグループ 2017.11.24UP
世界初の4K 120p + HDR拡張対応HEVCエンコーダを4台並列で協調動作




キヤノン(株)/キヤノンマーケティングジャパン(株) 2017.11.25UP
「映像表現に広がり、創り手にチカラを。」をテーマに、最新技術や最新製品を体験するコーナーを開設 8K対応機器など新しい映像制作の可能性を提案

AWS エレメンタル 2017.11.26UP
クラウド上の最新映像配信技術を披露




銀一(株) 2017.11.24UP
台湾 9.solutions社のクランプ・ロッド製品を出展 バイクのセットアップでグリップの方法などをデモ




西華デジタルイメージ(株) 2017.11.25UP
Visionsmith社製ハロゲンランプ交換用LEDバルブ「Relamp」、creamsource社製IP65準拠LEDライトなど出展






Zhiyun-Tech 2017.11.26UP
手ぶれ防止用3軸スタビライザー「Crane 2」を出展 OLED画面を内蔵し本体でカメラの設定も可能




デジキャス合同会社 2017.11.24UP
カナダエンピオニクス社製SFPモジュールベースSDI-IP伝送ソリューションを展示






セイコーソリューションズ(株) 2017.11.25UP
100万分の1秒単位の時刻同期が可能なPTP対応グランドマスタークロックなど、放送局向け時刻同期ソリューションを提案

日本放送協会 2017.11.26UP
IoT機器と番組を連携させるHybridcast Connect Xを出展




日本放送協会 2017.11.24UP
インテグラル方式立体テレビを出展 デスクスタイルの表示装置を用いて授業形式で紹介 多様な利用シーンを想定した研究をアピール

タックシステム(株) 2017.11.25UP
Dolby Atmos フォーマットのレンダリング、マスタリングユニット「RMU」などをデモ




(株)ニューテック 2017.11.26UP
SSD2基内蔵、1GB/secの可搬ストレージ「QBOX-pocket」や20TB対応の「QBOX-carry」などを出展




花岡無線電機(株) 2017.11.24UP
ラジオのスタジオを開設し自社製品をアピール 中継連絡システムをパッケージ化し操作性を向上




テクノロジー・ジョイント(株) 2017.11.25UP
Spin Digital、BOXX Technologiesと共同出展 8K 60p HEVC マルチ3画面リアルタイム再生




(株)芙蓉ビデオエージェンシー 2017.11.26UP
IPビデオルーター「IVR3000」を出展 1Uサイズで4K 24x24の映像ルーティングに対応




(株)HAROiD 2017.11.24UP
テレビとスマートスピーカーを連携させるテクノロジー「HAROiD Note」を出展 テレビのトピックを声だけで記録




(株)府中技研 2017.11.25UP
FM受信機「MR-200」を参考出展 ステレオ音声出力を追加搭載 AM送信機に音声データをFM放送波で供給




ボース合同会社 2017.11.26UP
天井埋め込み型スピーカー「EdgeMax」を出展 露出型と同等の広いカバーエリアを実現




佛山市青松科技株式会社 2017.11.24UP
4K対応1.9ミリピッチのLEDパネルを出展 屋外用3.9ミリピッチ5,500nitsのLEDパネルも出展




アズラボ(株) 2017.11.26UP
16K5K超高精細非圧縮映像再生表示システムなど、各種次世代映像再生システムをデモ




松田通商(株) 2017.11.26UP
FMデジタルオーディオプロセッサ ORBAN OPTIMOD「FM8700i」を出展 Danteデュアルリダundant Audio Over IPに対応




(株)アートウイズ 2017.11.25UP
Allen&Heath社製ライブサウンドエンジニア向け最新ミキサー「SQ-5」を出展




ウエッジ(株) 2017.11.26UP
「MIT7000」などモトローラ製インカム3機種を出展




(株)ラムダシステムズ 2017.11.26UP
4K HDR対応テロップシステム「GRID-ZERO」を出展 4KとHDの同時送込に対応




INTER BEE FORUM

11.15(水)

KN-151 基調講演 1 コンベンションホール A

4K・8K実用放送に向けて

放送政策の最新動向

奈良俊哉氏
総務省 大臣官房審議官

ようこそ スーパーハイビジョンの世界へ

児野 昭彦氏
日本放送協会 専務理事 技師長

キー局系BS5社の取り組み

パネリスト

 神蔵 克氏 株式会社BS5日本 取締役 編成局長	 壁谷 祐一郎氏 株式会社ビーエス朝日 常務取締役	 高田 卓哉氏 株式会社BS-TBS 常務取締役
 松本 篤信氏 株式会社BS3/11 取締役	 荒井 昭博氏 株式会社ビーエスフジ 常務取締役 編成局長	 塚本 幹夫氏 株式会社ワイズメディア 代表取締役 メディアストラテジスト

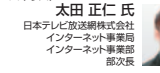
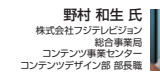
新たな4K8K放送の展望 ～A-PABが周知広報計画を語る～

土屋 円氏
一般社団法人放送サービス高度化推進協会 専務理事

KN-152 INTER BEE CONNECTED 基調講演 コンベンションホール A

配信新時代 ～キー局とプラットフォーム～

パネリスト

 太田 正仁氏 日本テレビ放送網株式会社 インターネット事業局 インターネット事業部 部長	 大場 洋士氏 株式会社テレビ朝日 総合ビジネス局 デジタル事業センター長	 茂川 博史氏 株式会社東映放送ホールディングス 総合戦略局 総合戦略部長
 蛭川 新治郎氏 株式会社テレビ朝日コミュニケーションズ 取締役	 野村 和生氏 株式会社フジテレビジョン 総合事業局 コンテンツ事業センター コンテンツデザイン部 部長	 塚本 幹夫氏 株式会社ワイズメディア 代表取締役 メディアストラテジスト

KN-153 基調講演 2 コンベンションホール A

Society 5.0で変わる新しいメディア体験

パネリスト

 通美 一隆氏 ソフトバンクロボティクス株式会社 取締役兼CCRO コンテンツマーケティング本部長	 三島 健氏 株式会社JTB 執行役員
 益子 宗氏 新技術開発 放送技術研究センター/コンテンツグループ コンテンツグループマネージャー、デジタルコンテンツ 開発部長 部長	 関口 新一氏 株式会社日本経済新聞社 編集委員

SP-151 特別講演 1 国際会議室

ローカル局とスポーツ ～地域活性の決定打を探る～

第1部:プレゼンテーション

 藤村 昇司氏 公益社団法人日本プロサッカーリーグ 特命担当部長	 荻原 一正氏 公益社団法人ジャパンプロフェッショナル バスケットボールリーグ(B.LEAGUE) 常務理事・事務局長
 日置 貴之氏 H.C.熊本日光アイソックス (運営会社)株式会社熊本ユニテッド)COO	 田中 和彦氏 南海放送株式会社 代表取締役社長

SP-152 特別講演 2 日英同時通訳 国際会議室

アドバンスド イメージング ユニバーシティ セミナー

 ジェイク・ブラック氏 Create VR社 Head of VR	 ジム・チャピン氏 先進映像協会 プレジデント兼CEO	 河合 隆史氏 先進映像協会 日本支部 会長
---	---	--





SP-153 特別講演 3 日英同時通訳 国際会議室

海外の次世代放送技術

 長谷 智弘氏 慶応大学 理工学部 教授 工学博士	 リチャード・チェルノク氏 Tritel Digital 最高科学責任者 Dr.	 ウルリッヒ・ライマース氏 フランクフルト工科大学 通信工学研究所 マネージングディレクター 教授 Dr.
---	--	---

TC-152 Technical Session 102 会議室

4K・8K実用放送に向けた送出設備について

 梅津 圭一氏 株式会社BS-TBS 技術局 担当局長 兼 技術部長	 花田 彰氏 日本放送協会 技術開発センターメディア開発部 専任部長
 羽下 修氏 日本電気株式会社 放送・メディア事業部 主幹	 長石 敦氏 東芝インフラシステムズ株式会社 府中事業所 放送ネットワークシステム部 主幹

11.16(木)

KN-161 基調講演 3 コンベンションホール A

2020年の放送と通信連携サービスを考える

一般社団法人IPTVフォーラム

シンポジウム開催に向けたビデオメッセージ

村井 純氏
一般社団法人IPTVフォーラム 理事長 / 慶應義塾大学 環境情報学部教授

基調講演
視聴環境の変化に対応した
放送サービスの高度化に向けて

豊嶋 基暢氏
総務省 情報流通行政局
情報通信作品振興課 課長

KN-162 INTER BEE IGNITION 基調講演 コンベンションホール A

人工知能とともに進化する放送局

基調講演 映像の未来 ～感情、創作、消費～

落合 陽一氏
ピクシードアストテクノロジーズ株式会社 代表取締役
筑波大学 学長補佐・図書館情報メディア系助教

KN-162 INTER BEE IGNITION 基調講演 コンベンションホール A

人工知能とともに進化する放送局

基調講演 映像の未来 ～感情、創作、消費～

落合 陽一氏
ピクシードアストテクノロジーズ株式会社 代表取締役
筑波大学 学長補佐・図書館情報メディア系助教

KN-163 基調講演 4 日英同時通訳 コンベンションホール A

動き出したIPライブ伝送制作の現状と展望

第1部:事例発表

中継車事例
マイケル・クロウク氏
Vice President, Strategic Marketing, Grass Valley/
Chairman of the Board, AIMS

スタジオリモート
プロダクション事例
巖部 和紀氏
朝日放送株式会社 情報開発センター 部長

回線センター事例
安藤 誠吾氏
技術開発センター 編成開発部 部長

制作スタジオ事例
ウィル・ウォータース氏
NewTek, Inc. シニアディレクター,
IPスタジオ-407-407-407-407

第2部:パネルディスカッション

第1部事例報告者

小貝 肇氏
ゾニエスコミュニケーションズ株式会社
パブリックエグゼクティブ
マーケティング 部長

中村 和則氏
株式会社メディアリンクス
Marketing & Business Development
シニアマネージャー

和田 雅徳氏
株式会社朋来 取締役
IP開発部 部長

SP-161 特別講演 4 日英同時通訳 国際会議室

メディア業界におけるAI(Artificial Intelligence)のインパクト

トニー・エマーソン氏
マイクロソフトコーポレーション
ワールドワイドメディアグループ
マネージングディレクター

嶋山 大有氏
日本マイクロソフト株式会社
コマースソフトウェアエンジニアリング本部
Principal Software Development Engineer

SP-162 特別講演 5 日英同時通訳 国際会議室

OTT TV実現のための 大きな転換点とは

マーク・ランバーク氏
アカマイテクノロジーズ インク
ヴァイス プレジデント、ビジネス ディベロップメント

SP-163 特別講演 6 日英同時通訳 国際会議室

欧米の最新スポーツ映像技術トレンド ～ロシアW杯とオリンピックがどのように映像技術を変えるか?～

ケン・ケルシュパウマー氏
Sports Video Group(SVG) 編集長

聞き手: 吉井 勇氏
株式会社ニューメディア 出版局長

SP-164 特別講演 7 国際会議室

メディア業界におけるクラウドファーストの実践

AWSの力で価値創造にドライブをかける！
IMAGICA R&Dグループの取り組み

世界初 Jリーグ
クラウドメディアセンターの全貌

岩貞 和明 氏
株式会社Jリーグメディアプロモーション
プロモーション事業部 部長

河田 恭裕 氏
株式会社Jリーグメディアプロモーション
企画室 部長

安司 仁 氏
アマゾンウェブサービスジャパン株式会社
ソリューションアーキテクト

工藤 隆朗 氏
株式会社IMAGICA
技術統括室 R&Dグループ 課長

山口 誠二 氏
特定非営利活動法人 エフエム和歌山
クロスメディア部長

司会・進行

SP-165 映像シンポジウム 日英同時通訳付 国際会議室

人工知能がクリエイティブコンテンツの未来を創る

第1部:プレゼンテーション

人工知能と
クリエイティブの融合による
新たなコンテンツ制作について

ニューラルネットワークによる
自動色付け写真が創発する
文化コミュニケーションの可能性

コンテンツプロダクションワークフロー
における人工知能のふるまい
～ゲームコンテンツを事例として～

Mr. Lars Trieloff
Principal,
Platform and Developer Ecosystem,
Adobe Systems, Inc.

渡邊 英徳 氏
音韻学専攻 准教授
システムデザイン学部

三宅 陽一郎 氏
株式会社スクウェア・エニックス
テクニカルエンジニア
リードAR/VRデザイナー

第2部:パネルディスカッション
人工知能テクノロジーは、クリエイティブコンテンツの未来をどう開くか！

パネリスト

第1部プレゼンター

モデレーター

為ヶ谷 秀一 氏 女子美術大学 評議員
國重 静司 氏 女子美術大学 非常勤講師

TC-161 Technical Session 102 会議室

4K・8Kと音声制作

4K:名古屋CBCテレビ開局60周年記念番組制作
「伊勢神宮・命あふるる神々の森 五十鈴川に行く」

MBS
音楽台22.2CH制作

齊藤 元氏
有線会社ビルダー

長江 和哉 氏
名古屋芸術大学
芸術学部 芸術学科 音楽領域
サウンドメディアコアラボディレクター

高木 伸隆 氏
ピコム株式会社
制作部 音声

入交 英雄 氏
株式会社WOWOW
技術局
シニアエキスパート/PhD

ソニーPCL/ピコム共同制作 Ultra HD Blu-Ray
「宮古島 癒しのビーチ/ハイレゾ・サラウンドサウンド制作レポート」

喜多 真一 氏
ソニーPCL株式会社
技術部門制作技術部テクニカルプロダクション課
サウンドエンジニア/デザイナー/
サウンドプロデューサー

TC-162 Technical Session 102 会議室

LIVE SOUNDの構築編PART-2 ～その実際と未来への足がかり～

パネリスト

大澤 啓孝 氏
株式会社KENNEK KNOCK
ライブサウンドエンジニア

加藤 晴美 氏
株式会社ハリソン
ライブサウンドエンジニア

山崎 基嗣 氏
株式会社MSI JAPAN東京
ホットシート 取締役

半澤 公一 氏
株式会社イノベーション
代表

モデレーター

TC-163 Technical Session 102 会議室

WEB連動コンテンツの音声制作

AbemaTVにおける
ラウドネスマネージメントへの努力

WEB連動 CMの音声制作

御池 崇史 氏
株式会社AbemaTVトランスコードエンジニア

辰巳 茜璃 氏
Technical Direction Dept. Mixer

司会・進行

沢口 真生 氏 沢口音楽工房 サラウンド寺子屋 UNAMAS-Label/Fellow Members of AES
阿部 健彦 氏 株式会社テレビ朝日 技術局付(テイクシステムズ 技術制作センター 部長)

TC-164 Technical Session 104 会議室

画像と音響の国際標準化動向

画像・マルチメディアの国際標準化動向

音響・音声信号の国際標準化動向

浅井 光太郎 氏
三菱電機株式会社
通信システム事業本部 技術長

杉山 昭彦 氏
データサイエンス研究所 主席研究員

司会・進行

長谷 智弘 氏 龍谷大学 理工学部 教授 工学博士

11.17 (金)

KN-171 基調講演 5 コンベンションホール A

CDN最新動向

インターネット放送を支える
Akamaiプラットフォーム

クラウドファースト時代のCDN
—Amazon CloudFront

伊藤 崇氏
アカマイテクノロジー株式会社
メディア プロダクト マネジメント、プロダクトマネージャー

北迫 清訓 氏
アマゾンウェブサービスジャパン株式会社
ソリューションアーキテクト

放送局が取り組む純国産CDN

CDNをマルチで活用！コストと品質を最適化する
マルチCDNの最新動向

上村 明氏
JCCDN株式会社
取締役

福田 一則氏
JCCDN株式会社
取締役

三山 悟 氏
株式会社Jストリーム 取締役副社長

KN-172 INTER BEE CREATIVE基調講演 コンベンションホール A

トップクリエイタースーパーセッション ～本広克行が語るアジアンクリエイティブ～

司会・進行

本広 克行 氏
株式会社プロダクションアイジー
企画室 監督/演出

山田 亜樹 氏
株式会社東京放送ホールディングス
DigiCon6 ASIA フェスティバルディレクター

KN-173 基調講演 6 コンベンションホール A

5Gセッション 2017

第5世代移動通信システムの
実現に向けた
5GMFの活動紹介

5G早期実現に向けた
NTTドコモの活動

5Gの可能性と展望
KDDIの取り組み

吉田 進氏
第5世代モバイル推進フォーラム 会長
京都大学 名誉教授

中村 武宏 氏
株式会社NTTドコモ
先端技術研究所
5G推進室 室長 主席研究員

酒井 清一郎 氏
KDDI株式会社 技術統括本部
モバイル技術本部
次世代ネットワーク開発部
マネージャー

SP-171 特別講演 8 国際会議室

災害情報とAIの活用 ～データ・ジャーナリズムの視点から～

データ・ジャーナリズムにおける AIへのアプローチ

須藤 修 氏
東京大学大学院 情報学環 教授・博士

パネルディスカッション 災害情報とAIの活用

パネリスト

SP-172 特別講演 9 日英同時通訳付 国際会議室

海外市場動向

ピーター・ホワイト 氏
IABM：国際放送機器工業会
チーフ・エグゼクティブ

ピーター・ブルース 氏
IABM：国際放送機器工業会
APAC理事

乾 健太郎 氏
東北大学大学院
情報科学研究所 教授

後藤 淳 氏
日本放送協会
放送技術研究所 上級研究員

村上 明子 氏
日本アイ・ビー・エム株式会社
東京ソフトウェア開発研究所
コグニティブソリューション開発/IT DART 理事

布村 明彦 氏
一般財団法人河川情報センター 理事長/
前日本災害情報学会 会長/
中央大学 研究開発機構 教授

橋田 敦 氏
株式会社テレビ朝日 福島
報道制作局 専門局長

須藤 修 氏
東京大学大学院
情報学環 教授・博士

SP-173 特別講演 10 日英同時通訳付 国際会議室

ブラジルの地デジ化の現状等について

オリビオ・ジョゼ・フランコ 氏
SET：ブラジル放送技術協会

SP-174 音響シンポジウム 日英同時通訳付 国際会議室

多様化するコンテンツ制作を支える最新テクノロジー

Cingo® & MPEG-H, VR 及び
次世代テレビの没入型オーディオ

バイノーラルコーディング技術HPLと
AMBISONICの応用

ナワビ・ファヒム 氏
フロンティアファームIS 日本代表

久保 二朗 氏
株式会社アコースティックフィールド 代表取締役

3DサウンドのMIXツール3DMIX
DAW

3DサウンドのMIXツール3DMIX
22.2CH LIVE CONSOLE

柳瀬 智史 氏
ディーエスピー・ジャパン株式会社 代表取締役

柳下 悟司 氏
株式会社タムラ製作所
プロトコム事業部 技術統括部 マネージャー

司会・進行

沢口 真生 氏 沢口音楽工房 サラウンド寺子屋 UNAMAS-Label / Fellow Member of AES
阿部 健彦 氏 株式会社テレビ朝日 技術局付(テイクシステムズ 技術制作センター 部長)

TC-172 Technical Session 102 会議室

正しく理解!!コンテンツ制作に必要な国際標準規格

協力：一般社団法人映像情報メディア学会/一般社団法人電産産業学会

第1部

4K・8Kの国際標準規格
BT.2020/BT.2100とは?

超高精細・広色域標準動画像
Bシリーズとその利用法

日下部 裕一 氏
日本放送協会
放送技術研究所 テレビ方式研究部 上級研究員

松田 一朗 氏
東京理科大学
理工学部 電気電子情報工学科 教授

第2部

三次元マルチチャネル標準音源と
その利用法

HDMI規格の正しい理解と
その測定法

小野 一穂 氏
日本放送協会
放送技術研究所 テレビ方式研究部 上級研究員

堀 雄治 氏
レタインレクロイシヤロ株式会社
プロコルソリューショングループ

同時開催

コンファレンススポンサーセッション

▶会場：国際会議場1階「103」「104」

11.15(水)	
12:30 14:30	CS1-152 オートメーション ー進化するスタジオワークフロー Vegard Elgesem 氏 スナールアドバンスドメディア/Vizrt プロダクトマネージャー
13:00 14:30	CS2-152 MQAエンコード/デコードの実際 MQA CDの制作プロセス ポプ・スチュアート 氏 MQA CTO(最高技術責任者)
15:00 16:30	CS2-153 MQAエンコード/デコードの実際 MQA CDの制作プロセス ポプ・スチュアート 氏 MQA CTO(最高技術責任者)
15:15 16:45	CS1-153 Specteeが切り開く、AIと報道の新しい世界 村上 建治郎 氏 株式会社Spectee 代表取締役

11.16(木)	
10:30 12:00	CS2-161 ローカルテレビ局の未来を語る 佐久間 洋和 氏 東海テレビ放送株式会社 編成局デジタルコンテンツ部 局次長 前田 隆紀 氏 株式会社テレビ和歌山 技術本部局長待遇東シメディア企画部長
12:45 14:15	CS1-162 AI時代の新しいニュースメディア 村上 建治郎 氏 株式会社Spectee 代表取締役
13:00 14:30	CS2-162 テレビCMオンライン運用の始まりと未来 中村 尚也 氏 Group IMD株式会社 営業本部 田中 郷資 氏 Group IMD株式会社 事業開発本部
15:00 17:00	CS1-163 『シン・エヴァンゲリオン劇場版』の制作陣が語る 最前線でのデータの有効活用とワークフローの効率化で見える映像制作の未来 講演1:アーカイブデータからビジネスを創造する 大屋 哲男 氏 株式会社ビクチャーエレメント テクニカルプロデューサー 講演2:『シン・エヴァンゲリオン劇場版』制作の下支え 株式会社カラー 小林 浩康 氏、塚塚 大輔 氏 パネルディスカッション:映像制作現場における「データ」の活用とその未来 株式会社ビクチャーエレメント 齋藤 精二 氏、江畑 勝 氏 株式会社カラー 小林 浩康 氏、塚塚 大輔 氏 株式会社プロジェクトスタジオQ 技術管理統括/株式会社フワゴ マルチメディア企画開発部 部長 映像制作部 副部長 鈴木 慎之介 氏 モデレーター EMCジャパン株式会社 天野 献士 氏

11.17(金)	
13:00 14:30	CS2-172 放送品質のインターネット動画配信を実現するには? オリヴィエ・ウェルマン 氏 Conviva社 プロダクトマネージャー (後援:株式会社インターネットイニシアティブ)
13:30 14:30	CS1-172 映像コンテンツにおける効果的なフォント活用について フォントワークス株式会社 営業部 アカウントセールスグループ 安藤 貴文 氏
15:00 17:00	CS1-173 放送業界を支えるシスコの取り組み ~IP化とセキュリティ~ SDIからIP化を実現するシスコのスイッチソリューション データセンターパッチャリゼーション事業部 プロダクトマネージャー 下川 洋平 氏 シスコシステムズ合同会社 サイバー空間の脅威とビデオインフラを防御するシスコのセキュリティソリューション シスコシステムズ合同会社 セキュリティ事業部 グローバルサービスプロバイダー担当 コンサルティングシステムズ副エンジニア 村上 英樹 氏
15:00 16:30	CS2-173 2021年のスポーツ動画ビジネスの展望 黒飛 功二郎 氏 株式会社運動通信社 代表取締役 五十嵐 彰 氏 株式会社CMerTV 代表取締役社長 中瀬 竜太郎 氏 ノアソフト株式会社 CEO 北庄司 英雄 氏 プライムコープ株式会社 シニアセールスディレクター 八田 浩 氏 スキルアップビデオテクノロジー株式会社 代表取締役社長

第54回 民放技術報告会

▶会場：国際会議場3階 ▶主催・企画：一般社団法人日本民間放送連盟 (JBA)

	第1会場「301号室」	第2会場「302号室」	第3会場「303号室」
11.15(水)	10:30▶16:45 制作技術部門	10:30▶18:50 送信部門 14:15▶17:10 画像技術部門	10:30▶16:20 データ放送・デジタルサービス部門
11.16(木)	14:00▶16:30 特別企画「4K放送」夜明け前 ~未来のテレビ局はこうなる!?民放の取り組み~		
11.17(金)	10:30▶15:55 制作技術部門	10:30▶12:10 13:00▶16:45 回線・伝送部門 ラジオ・音声部門	10:30▶12:35 情報・ネットワーク部門 10:30▶16:20 送出部門

全映協フォーラム2017 in 幕張

▶日時:11月16日(木)13:30~ ▶会場:APAホテル 東京ベイ幕張「東京ベイ幕張ホール」
▶主催:一般社団法人全国地域映像団体協議会

Inter BEE IP.SHOW CASE

▶会場：展示ホール3「3506」

11.15(水)	
11:00	Evertz社による非圧縮4K IPライブ伝送制作ソリューション (株)テクノハウス
11:30	IP&ハイブリッド プロダクションシステム デジキャス合同会社
11:50	AIMS RoadmapとGlass to Glass IP Solution グラスノレー(株)
12:00	一眼ムービーの弱点、音声録音をマイクアンプで克服する (株)ワイドトレード
12:30	IP伝送に特化したフレキシブルなソフトウェアライブエンコーダで次世代ライブ配信サービスを実現 カベラシステムズ
12:50	朋楽の考えるVideo over IPと対応製品について (株)朋楽
13:00	EVS IPワークフローイノベーション(IPライブプロダクション) (株)フォロン
13:30	IPライブ配信に必要なIP伝送技術 ~ベースとなるソフトウェア技術とネットワーク技術~ メラノックステクノロジーズ/サーヴァンツインテグレーション
13:50	Media Switching Network Solution ~メディアIPネットワークの統合管理~ (株)メディアリンクス
14:00	国内放送市場向け COTS IPスイッチのご紹介 エイチ・シー・ネットワークス(株)
14:20	ソニーが取り組むMedia Over IPの最新状況 ソニービジネスソリューション(株)
14:30	LiveUシステムによる映像伝送革命 ~LTE回線によるIP映像中継システム~ 三信電気(株)
14:40	IP伝送に特化したフレキシブルなソフトウェアライブエンコーダで次世代ライブ配信サービスを実現 カベラシステムズ
14:50	朋楽の考えるVideo over IPと対応製品について (株)朋楽
15:00	AIMS RoadmapとGlass to Glass IP Solution グラスノレー(株)
15:10	ヒットレス IP伝送と、導入事例の紹介 デジキャス合同会社
15:20	LiveUシステムによる映像伝送革命 ~LTE回線によるIP映像中継システム~ 三信電気(株)
15:30	Evertz社による非圧縮4K IPライブ伝送制作ソリューション (株)テクノハウス
15:40	ソニーが取り組むMedia Over IPの最新状況 ソニービジネスソリューション(株)
15:50	EVS IPワークフローイノベーション(IPライブプロダクション) (株)フォロン
16:00	Media Switching Network Solution ~メディアIPネットワークの統合管理~ (株)メディアリンクス
16:10	一眼ムービーの弱点、音声録音をマイクアンプで克服する (株)ワイドトレード
16:20	演奏所全体のIP化とマスターの姿 NEC
11.17(金)	
11:30	IP&ハイブリッド プロダクションシステム デジキャス合同会社
11:50	IP伝送に特化したフレキシブルなソフトウェアライブエンコーダで次世代ライブ配信サービスを実現 カベラシステムズ
12:00	一眼ムービーの弱点、音声録音をマイクアンプで克服する (株)ワイドトレード
12:30	朋楽の考えるVideo over IPと対応製品について (株)朋楽
12:50	LiveUシステムによる映像伝送革命 ~LTE回線によるIP映像中継システム~ 三信電気(株)
13:00	Evertz社による非圧縮4K IPライブ伝送制作ソリューション (株)テクノハウス
13:20	Media Switching Network Solution ~メディアIPネットワークの統合管理~ (株)メディアリンクス
13:30	ソニーが取り組むMedia Over IPの最新状況 ソニービジネスソリューション(株)
13:40	AIMS RoadmapとGlass to Glass IP Solution グラスノレー(株)
13:50	演奏所全体のIP化とマスターの姿 NEC

ロケ弁クラブ

▶会場:展示ホール5
▶協力:ロケーションジャパン/ロケなび!

現場のパワーを引き出す陰の主役・ロケ弁!
新たな店も加わり、厳選12店舗が
バラエティ豊かに競演しました。

ロケ弁グランプリ結果		
グランプリ	最優秀賞	第3位
すき焼き 島山	ドルフィン	新潟本舗 ふるさと屋

INTER BEE EXPERIENCE

X-Speaker SRスピーカー体験デモ

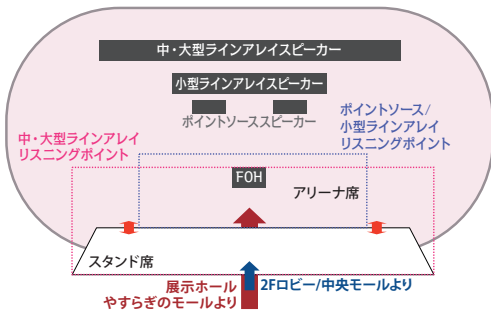
- ▶後援：一般社団法人日本舞台音響家協会、日本舞台音響事業協同組合
- ▶メディアパートナー：Sound & Recording **PROSOUND** Stage Sound Journal **SOUND**
- ▶映像機材協賛：**CREATELED** ▶会場：イベントホール

デモスケジュール ※イベントホール開催時間：15-16日 10:00開場/18:30閉場、17日 10:00開場/16:00閉場

11.15(水)		11.16(木)		11.17(金)	
10:30 ▼	d&b audiotechnik ディーアンドビー オーディオテクニクジャパン(株)	10:30 ▼	BEAW 音響特機(株)	10:30 ▼	dBTechnologies ティアック(株)
11:10 ▼	CODA CODA AUDIO ヒビノインターサウンド(株)	11:10 ▼	TWAUDIO (株)カエルワークス	11:10 ▼	ADAMSON リワイアー(株)
12:00 ▼	d&b audiotechnik ディーアンドビー オーディオテクニクジャパン(株)	11:50 ▼	JBL PROFESSIONAL HARMAN ヒビノ(株)	11:50 ▼	K ライプギア(株)
12:40 ▼	NEXO (株)ヤマミュージックジャパン	12:30 ▼	RCF 音響特機(株)	12:30 ▼	M (株)マーチンオーディオジャパン
13:20 ▼	ベステックオーディオ(株)	13:40 ▼	d&b audiotechnik ディーアンドビー オーディオテクニクジャパン(株)	13:10 ▼	BEAW 音響特機(株)
14:00 ▼	RAMSA Auditorium Series パナソニック システムソリューションズジャパン(株)	14:20 ▼	CODA CODA AUDIO ヒビノインターサウンド(株)	13:50 ▼	TWAUDIO (株)カエルワークス
14:40 ▼	BOSE ボーズ(株)	15:10 ▼	d&b audiotechnik ディーアンドビー オーディオテクニクジャパン(株)	14:30 ▼	JBL PROFESSIONAL HARMAN ヒビノ(株)
15:40 ▼	dBTechnologies ティアック(株)	15:50 ▼	NEXO (株)ヤマミュージックジャパン	15:10 ▼	RCF 音響特機(株)
16:20 ▼	ADAMSON リワイアー(株)	16:30 ▼	ベステックオーディオ(株)		
17:00 ▼	K ライプギア(株)	17:10 ▼	RAMSA Auditorium Series パナソニック システムソリューションズジャパン(株)		
17:40 ▼	M (株)マーチンオーディオジャパン	17:50 ▼	BOSE ボーズ(株)		

ポイントソーススピーカー 小型ラインアレイスピーカー 中・大型ラインアレイスピーカー
機材協力：株式会社ヤマミュージックジャパン / ライプギア株式会社 / 株式会社マーチンオーディオジャパン

会場レイアウト (イベントホール)



X-Microphone | X-Headphone

- マイクロフォン・ヘッドフォン試聴体験展示
- ▶会場：展示ホール1

X-Microphone 参加企業/製品ブランド

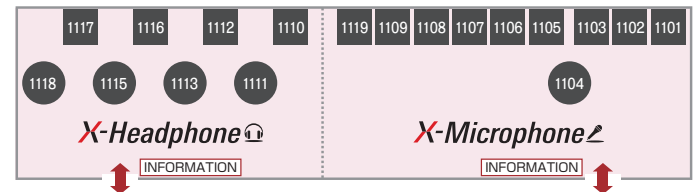
1101	ウエタックス株式会社	UETAX
1102	株式会社サザン音響	SOUTHERN ACOUSTICS
1103	株式会社 J.TESORI	3DIO
1104	ゼンハイザージャパン株式会社	SENNHEISER NEUMANN.BERLIN
1105	日本テクトラスト株式会社	SCHOEPS Mikrofone
1106	株式会社オーディオテクニカ	audio-technica
1107	ローランド株式会社	ASTON MICROPHONES
1108	株式会社宮地商会	HEIL
1109	株式会社オーディオプレインズ	beyerdynamic
1119	ソニービデオ&サウンドプロダクツ株式会社	SONY

X-Headphone 参加企業/製品ブランド

1110	ティアック株式会社	beyerdynamic
1111	OPPO Digital Japan株式会社 / 株式会社エミライ	oppo MrSpeakers SONOMA
1112	株式会社オーディオテクニカ	audio-technica
1113	株式会社タイムロード	ULTRASONIC
1115	シュア・ジャパン株式会社	SHURE
1116	ローランド株式会社	v-moda
1117	ゼンハイザージャパン株式会社	SENNHEISER
1118	株式会社ヤマミュージックジャパン	YAMAHA

機材協力：ティアック株式会社 / 株式会社ヤマミュージックジャパン

会場レイアウト (展示ホール1)



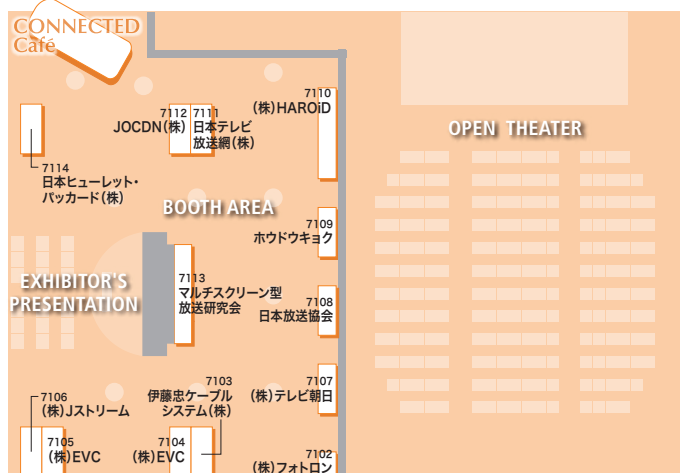
INTER BEE CONNECTED

出展者プレゼンテーション

▶会場：展示ホール7 INTER BEE CONNECTED内 プレゼンテーションコーナー

11.15(水)	
11:00 ▼ 11:20	テレビのリーチパワーにさらなる価値を —インタラクティブCMが実現する新たな視聴者体験— (株)HAROID
13:30 ▼ 13:50	放送局が取り組む動画配信に特化したCDN JOCND(株)
14:00 ▼ 14:20	AIを活用した動画解析に対応するオンラインビデオ配信プラットフォーム "VideoAid"のご紹介 (株)Jストリーム
14:30 ▼ 14:50	次世代映像配信における最新のトレンド情報と 実現方法のご紹介 伊藤忠ケーブルシステム(株)
15:00 ▼ 15:20	HARBORの概要と実績・事例のご紹介および、 CMオンラインに関して (株)フォトロン
15:30 ▼ 15:50	ヘッドエンドの仮想化を促進する仮想化管理ソリューション vHMのご紹介 日本ヒューレット・パッカード(株)
16:30 ▼ 16:50	AI技術を活用した次世代の視聴体験のご紹介 クラウド型動画管理・配信プラットフォーム「Bizlat on Azure」 (株)EVC
11.16(木)	
11:00 ▼ 11:20	次世代映像配信における最新のトレンド情報と 実現方法のご紹介 伊藤忠ケーブルシステム(株)
11:30 ▼ 11:50	HARBORの概要と実績・事例のご紹介および、 CMオンラインに関して (株)フォトロン
13:00 ▼ 13:20	ヘッドエンドの仮想化を促進する仮想化管理ソリューション vHMのご紹介 日本ヒューレット・パッカード(株)
13:30 ▼ 13:50	AI技術を活用した次世代の視聴体験のご紹介 クラウド型動画管理・配信プラットフォーム「Bizlat on Azure」 (株)EVC
14:00 ▼ 14:20	「問いかけ」で実現するテレビ・視聴者の新たなコミュニケーション ～ HAROIDにおけるAmazon Alexa活用事例～ (株)HAROID
15:30 ▼ 15:50	放送局が取り組む動画配信に特化したCDN JOCND(株)
16:30 ▼ 16:50	ローカル局におけるHybridcast放送による4K同時配信実証実験報告 ～東海テレビ放送、石川テレビ共同実証実験を終えて～ (株)Jストリーム
11.17(金)	
11:00 ▼ 11:20	ヘッドエンドの仮想化を促進する仮想化管理ソリューション vHMのご紹介 日本ヒューレット・パッカード(株)
11:30 ▼ 11:50	放送局が取り組む動画配信に特化したCDN JOCND(株)
13:00 ▼ 13:20	マルチCDN (Cedexis) ～IPサイマル配信時代に向けたCDNのあり方～ (株)Jストリーム
13:30 ▼ 13:50	次世代映像配信における最新のトレンド情報と 実現方法のご紹介 伊藤忠ケーブルシステム(株)
14:00 ▼ 14:20	HARBORの概要と実績・事例のご紹介および、 CMオンラインに関して (株)フォトロン
15:00 ▼ 15:20	AI技術を活用した次世代の視聴体験のご紹介 クラウド型動画管理・配信プラットフォーム「Bizlat on Azure」 (株)EVC
15:30 ▼ 15:50	テレビ視聴データは宝の山！マス・デジタル・リアルの合わせ技で 効果を最大化するHAROID CROSS ADの挑戦 (株)HAROID

出展者/会場レイアウト



企画セッション

▶会場：展示ホール7 INTER BEE CONNECTED内 オープンステージ

11.15(水)	
10:30 ▼ 12:00	<h3>本格化する“スクリーン選択”の時代の見取り図を描く ～電通・ビデオリサーチによる挑戦～</h3> <p>スマートフォンやタブレット端末の普及を経て、われわれは常に“スクリーン”に囲まれた生活を送っている。24時間7日曜日の現代的な生活リズムのなかで、放送、動画配信、SNSなど各種メディアの視聴選択が忙しく行われている。今後、あらゆるメディアビジネスの前提として、複雑化する行動の全体状況を俯瞰し変化を捉える力が強く求められる。電通とビデオリサーチ両社によるこの難題への挑戦を、最新の取り組みを通じてご紹介しました。</p> <p>モデレーター：奥 律哉 氏 (株)電通 電通メディアイノベーションラボ 統括責任者</p> <p>パネリスト：美和 晃 氏 (株)電通 電通メディアイノベーションラボ メディアイノベーション研究部長</p> <p>石松 俊之 氏 (株)ビデオリサーチ ソリューション部 エグゼクティブフェロー</p> <p>渡辺 庸人 氏 (株)ビデオリサーチ ヒト研究所 主任研究員</p>
13:00 ▼ 14:30	<h3>配信新時代 ～キー局とプラットフォーム～</h3> <p>今年5月、TBS、テレビ東京、WOWOWなどメディア6社が共同で定額動画配信 (SVOD) のサービスプラットフォーム「プレミアム・プラットフォーム・ジャパン」を立ち上げると発表。日本テレビは子会社化したHuluを完全リニューアル。テレビ朝日は急成長するAbemaTVの一翼を担う。またフジテレビはFOD (フジテレビオンデマンド) の多角化で独自路線を進む。キー局の配信プラットフォーム戦略について、その戦略と展望を伺いました。</p> <p>モデレーター：塚本 幹夫 氏 (株)フイズ・メディア 代表取締役 メディアストラテジスト</p> <p>パネリスト：太田 正仁 氏 日本テレビ放送網株式会社 インターネット事業局 インターネット事業部 部長</p> <p>大場 洋士 氏 (株)テレビ朝日 総合ビジネス局 デジタル事業センター長</p> <p>茂川 博史 氏 (株)テレビ東京ホールディングス 総合戦略局 総合戦略部長</p> <p>野村 和生 氏 (株)フジテレビジョン 総合事業局 コンテンツ事業センター コンテンツデザイン部 部長</p>
14:40 ▼ 15:40	<h3>テレビはリビングルームで生き残れるのか？！ ～スマートテレビの最新動向とビジネスの可能性～</h3> <p>テレビ離れをした若者たちは、これからリビングルームにテレビを置いてくれるのか？これはテレビメーカーにとってもテレビ局にとっても大きな懸念材料です。スマートテレビは新しい世代にも使い続けてもらうための進化をめざしています。そこでこのセッションではその最新動向をメーカーの方にお聞きし、そこの新しいメディアビジネスの可能性を議論します。新時代のテレビとそれを取り巻くビジネスのあり方が、果たしてイメージできるのか？</p> <p>モデレーター：田代 奈美 氏 (株)博報堂DYメディアパートナーズ データドリブンビジネス開発センター ビジネスディベロップメントディレクター</p> <p>パネリスト：松本 諒 氏 ジャブ株式会社 IoT通信事業本部 IoTクラウド事業部 サービスマーケティング部 部長</p> <p>石井 大貴 氏 (株)TBSテレビ メディアビジネス局 ビジネス推進部</p> <p>安藤 聖泰 氏 (株)HAROID 代表取締役社長</p>
16:00 ▼ 17:00	<h3>ケーブルIDでケーブルテレビ業界が変わる</h3> <p>7月から実運用を開始したケーブルIDプラットフォーム。MVNO、転居情報、クラウドファンディング、視聴ログ…予定されるモジュールは豊富。全国半数以上の世帯(約6,400万人)につながるケーブルテレビユーザーに全国共通のユニークIDを発行することで、ケーブルプラットフォームはどう変容・発展を遂げていくのか？起案者の皆さんが思い描くサービスプランを語っていただき、総務省「ケーブルテレビWG」で副主査を務めたNRI北さんもお交え、これからのケーブルライフを展望しました。</p> <p>モデレーター：二瓶 浩一 氏 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 理事 ※株式会社電通 ラジオテレビ局より出向</p> <p>パネリスト：橋本 幸典 氏 日本デジタル配信株式会社 取締役専務執行役員 事業戦略企画推進本部 本部長 プラットフォーム推進室 室長</p> <p>丸山 康照 氏 須高ケーブルテレビ株式会社 代表取締役社長</p> <p>北 俊一 氏 野村総合研究所 プリンシパル</p>

INTER BEE IGNITION

基調講演 ▶会場: 国際会議場2階「コンベンションホールA」

人工知能とともに進化する放送局


<p>11.16 (木)</p> <p>13:30 ▼ 15:00</p>	<p>基調講演 映像の未来～感情、創作、消費～</p>	<p>パネルディスカッション 放送局が人工知能を徹底活用するためには</p>	<p>パネリスト</p>	<p>モデレータ</p>	
	<p>落合 陽一 氏 ピクサー・スタジオ・テクノロジーズ株式会社 代表取締役 筑波大学 学長補佐 図書館情報メディア系助教</p> 	<p>落合 陽一 氏 ピクサー・スタジオ・テクノロジーズ株式会社 代表取締役 筑波大学 学長補佐 図書館情報メディア系助教</p> 	<p>神原 一光 氏 日本放送協会 放送総局 大型企画開発センター ディレクター</p> 	<p>川上 皓平 氏 日本テレビ放送網株式会社 技術統括局技術開発部(兼) 日テレラボ調査研究部</p> 	<p>西村 真里子 氏 SENSORS.jp編集長 株式会社HEART CATCH 代表取締役</p> 

企画セッション ▶会場: 展示ホール6 INTER BEE IGNITION内オープンステージ

11.15(水)

先進映像協会 アワード2017 受賞式

良質な3D、4K、VR作品へ贈られるルミエール・ジャパン・アワード、当該分野の発展への寄与が期待される取り組みへ贈られるグッドプラクティス・アワードの、今年度の受賞者を表彰・公表しました。



10:30
▼
12:00

土屋 敏男 氏
日本テレビ放送網株式会社
日テレラボ シニアクリエイター

齋藤 精一 氏
株式会社ライゾマティクス
代表取締役

西村 真里子 氏
SENSORS.jp編集長
株式会社HEART CATCH 代表取締役

モデレータ

記憶の集合知で、過去の都市を再現～

土屋敏男×ライゾマティクス×齋藤精一の新プロジェクトに迫る

パネリスト

13:10
▼
14:10

出展者プレゼンテーション

VRを活用した放送局向けビジネスマニュアル

～ここをおさえれば必ず儲かる～

株式会社ジョリーグッド

14:20
▼
14:40

コンテンツが導くテクノロジーの未来

パネリスト

15:00
▼
16:00

石橋 素氏
ライゾマティクスリサーチ
エンジニア/アーティスト
ライゾマティクスリサーチチーフ

ノガミ カツキ 氏
コンテンツクリエイティブアーティスト
モデレータ

水江 未来 氏
アニメーション作家

脇本 厚司 氏
公益財団法人 図書館情報教育推進委員会
文化メディア芸術振興委員長
ディレクター

ファッション×アート×テクノロジーが描く表現の可能性

パネリスト

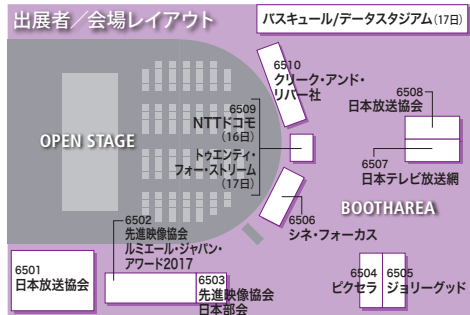
16:30
▼
17:30

石橋 素氏
ライゾマティクスリサーチ
エンジニア/アーティスト
ライゾマティクスリサーチチーフ

中里 唯馬 氏
ファッションデザイナー/アーティスト
モデレータ

田畑 哲穂 氏
66b/cell
映像アーティスト

安藤 嘉康 氏
合同会社CCN
プロデューサー/
クリエイティブディレクター



11.16(木)

メディアの固定概念を壊す!

パネリスト

10:30
▼
12:00

押尾 由起子 氏
日本放送協会 制作局 第一制作センター
生活食料部 企画プロデューサー/
編成局 デジタル編成デジタルラボ
チーフプロデューサー

戸村 朝子 氏
ソニー株式会社 UX事業開発部門
UX企画部 コアUX開発課 総括課長

水口 哲也 氏
エンハンス CEO

モデレータ

12:20
▼
12:40

出展者プレゼンテーション

移動可能な大型球体スクリーン「Sphere 5.2」がもたらす、かつてない映像体験

WONDER VISION TECHNO LABORATORY(株)

13:00
▼
14:00

VR×AI

～先端VRプラットフォームとAIが生む新ビジネス～

13:00
▼
14:00

石井 謙吾 氏
東海テレビ放送株式会社
編成局デジタルコンテンツ部

上野 健介 氏
株式会社ジョリーグッド
代表取締役 CEO

出展者プレゼンテーション

VR映像配信の高画質化テクニック

株式会社ビクセラ

14:20
▼
14:40

ロボット×テレビが拓く未来

パネリスト

15:30
▼
16:30

港 隆史 氏
株式会社国電交通情報技術研究所
システム開発部長 企画AI/O
連携推進チームリーダー
インフララボ/ロボット
インフララボ/ロボット
研究員 博士(工学)

望月 亮輔 氏
ロボットスタート株式会社
執行役員 メディア事業部
司会・進行

川上 皓平 氏
日本テレビ放送網株式会社
技術統括局技術開発部(兼)
日テレラボ調査研究部

杉野 真実 氏
日本テレビ放送網株式会社
アナウンサー

INTER BEE IGNITION NIGHT 2017

～ スマホからスクリーンへ～

＜新たなインタラクティブ体験＞

新体感ライブビューイング

11月16日(木) 18:00～

幕張メッセ 展示ホール6
INTER BEE IGNITION内

渋谷でのライブを幕張メッセリアルタイム配信、最新の映像技術とスマホを使った、ドコモが提案する新しいインタラクティブライブ体験を、ご体感いただきます。

■出演アーティスト EDOGA-SULLIVAN ■冒頭プレゼンテーション

声川 隆範 氏
株式会社NTTドコモ
コンシューマビジネス推進部長

伊能 美和子 氏
タワーレコード株式会社 代表取締役副社長

今投げたピッチャーの投球データをその場でデータ化し、リアルタイムにVR野球の打席に反映する未来の観戦体験!

プロのピッチャーの投球データをVRで完全再現するVR Real Data Baseball。今回は、投球の回転数・変化量等をリアルタイムにデータ化するRapsodoと連動。君は、リアルタイムで再現された投球を、VRで打てるか!? データ連動で実現する、新たなスポーツ中継体験の未来をデモしました。

出展：株式会社/パスキュール、データスタジアム株式会社

11.17(金)

『VR Creative Award 2017』

受賞作品に見るVR表現の未来

一般社団法人VRコンソーシアム

挨拶

10:30
▼
12:00

藤井 直敏 氏
VRコンソーシアム代表理事
株式会社ハピコム 代表取締役

近藤 GOROMAN 義仁 氏
株式会社エクスピア
代表取締役社長

個人部門最優秀賞「Mikulus」

商業部門最優秀賞「VR Real Data Baseball」

朝日新聞社賞「日本列島VR」

12:20
▼
12:40

堀江 隆 氏
株式会社 朝日新聞社
メディアラボ室長

トークセッション：VRがもたらす未来

電通が考えるVRを活用したメディアの未来

パネリスト

13:00
▼
14:00

堀江 孝治 氏
株式会社 朝日新聞社
メディアラボ室長

定立 光 氏
株式会社電通
ビジネスD&A局

朝日新聞社賞選定理由説明

球場とお茶の間の垣根を越える!

データ&センサーが変えるスポーツ観戦スタイル

パネリスト

12:30
▼
13:30

金沢 慧 氏
テラスアクラム株式会社
ソフト開発チーム 兼
ベースボール事業部/アナリスト

朴 正義 氏
株式会社/パスキュール
代表取締役

森永 真弓 氏
株式会社情報堂OYメディアパートナーズ
メディア・コンテンツビジネスセンター
メディア・コミュニケーションプロデューサー

出展者プレゼンテーション

聴覚AR

株式会社トゥエンティ・フォー・ストリーム

13:50
▼
14:10

聴いたことのない音楽、見たことのない映像を求めて!

～音楽とテクノロジーを駆使した世界規模の文化芸術の祭典「MUTEK」とは?～

パネリスト

14:30
▼
15:30

galcid 氏
アーティスト

大野 哲二 氏
Intercity-Express

山本 信一 氏
Intercity-Express

岩波 秀一郎 氏
一般社団法人 MUTEK Japan 代表理事

竹川 潤一 氏
一般社団法人 MUTEK Japan クリエイティブディレクター/ david watts inc. CEO

谷田部 丈夫 氏
一般社団法人MUTEK Japan マーケティングディレクター

2次元キャラクターがテレビを変える!?

SENSORS

パネリスト

16:00
▼
16:50

前田 直敏 氏
日本テレビ放送網株式会社
制作局主任(兼)
事業局イベント事業部
プロデューサー

佐渡島 庸平 氏
株式会社コルク
代表取締役社長

西村 真里子 氏
SENSORS.jp編集長
株式会社HEART CATCH 代表取締役

モデレータ (撮影: 神戸健太郎)

吉澤 馨 氏
株式会社アカソキ
ヴァーチャルアーティスト
代表取締役社長

INTER BEE CREATIVE

基調講演

▶会場：国際会議場2階「コンベンションホールA」

出展者/会場レイアウト

トップクリエイタースーパーセッション ～本広克行が語るアジアクリエイティビティ～

司会・進行

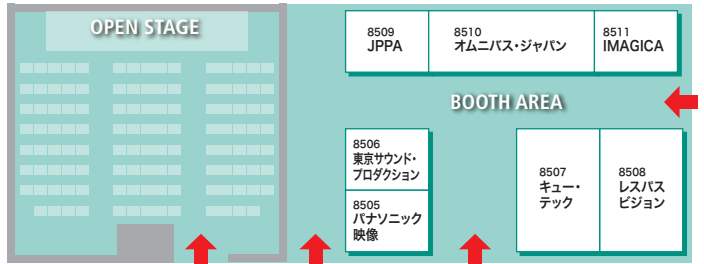


本広 克行 氏
株式会社プロダクションアイジー
企画室 監督/演出



山田 亜樹 氏
株式会社東京放送ホールディングス
DigiCon6 ASIA
フェスティバルディレクター

11.17 (金)
13:00
14:30



クリエイティス セッション

▶会場：展示ホール8 INTER BEE CREATIVE内オープンステージ

11.15(水)	11.16(木)	11.17(金)
BBCの観点から見たマスタリングの必要条件 10:30 - 11:15 Mr. Andy Quested BBC, Design and Engineering	世界のVFX最前線 ～ハリウッド版「ゴースト・イン・ザ・シェル」はこうして作られた～ 10:30 - 11:15 Mr. Axel Bonami MPC Film, VFX Supervisor	世界のVFX最前線 ～ハリウッド版「ゴースト・イン・ザ・シェル」はこうして作られた～ 10:30 - 11:15 Mr. Axel Bonami MPC Film, VFX Supervisor
4K VFXへの道のり ～まもなく放送「精霊の守り人」制作現場から最新情報～ 13:00 - 13:45 高橋 佳宏 氏 日本放送協会 放送技術局 制作技術センター 番組制作技術部「精霊の守り人」VFXスーパーバイザー	放送とオンラインのためのIMF:DPP&SMPTEがBMとパートナーを組みながらこの新しい動きを奨励 11:30 - 12:15 Mr. Andy Wilson Digital Production Partnership, Head of Business Development Mr. Andy Quested BBC, Design and Engineering	Adobe CCによる最新8K VRワークフロー 11:30 - 12:15 古田 正剛 氏 アドビシステムズ株式会社 マーケティング部 ビデオ製品担当 櫻井 充 氏 株式会社Too デジタルメディアシステム部 テクニカルディレクター
実写映画「亜人」VFXメイキング 14:00 - 14:45 宗片 純二 氏 株式会社オムニバス・ジャパン 制作技術部副部長 CG スーパーバイザー	いま注目のディレクター柿本ケンサクに聞く、次世代の映像制作とは？ 13:00 - 13:45 柿本ケンサク 氏 映像作家・写真家 司会・進行 株式会社玄光社 コマーシャル・フォト編集部	ニュース・エクステンジ：昨今のニュースデリバリーの発展から学べること 13:00 - 13:45 Mr. Andy Wilson Digital Production Partnership, Head of Business Development
先端映像技術への挑戦 第2弾(HDR放送に向けて(HLG方式)) 15:00 - 15:45 竹内 明弘 氏 パナソニック映像株式会社 R&Dグループ 技術顧問 佐藤 倫子 氏 パナソニック映像株式会社 スタジオ部門 カラリスト/エディター 中垣 宏規 氏 パナソニック映像株式会社 スタジオ部門 エディター	映画・4Kドラマ制作におけるフォトグラメトリー(3Dスキャン技術)の活用 14:00 - 14:45 久保江 陽介 氏 レスパスビジョン株式会社 SYSTEMS MANAGER	Korea VFX Power ～韓国の実情と中国アジア戦略の最新情報～ 15:00 - 15:45 Mr. SEONG HO JANG MOFAC INC.
マンガは映像になりたがるーマンガで繋がる世界ー ～世界最大のマンガ家ネットワーク『サイレントマンガオーディション』より～ 16:00 - 16:45 持田 修一 氏 株式会社コアミックス 取締役 中島 太陽 氏 株式会社コアミックス	これからの地方創生ムービー ～クリエイティブの力で地域を活性化するには？ 100万再生で本当にやります！別府市・湯～園地計画！ 16:00 - 16:45 島津 祐介 氏 株式会社電通 CMプランナー/コピーライター 西田 淳 氏 株式会社ドリル コンテンツプランナー 宮下 良介 氏 株式会社電通 アートディレクター 小澤 祐治 氏 株式会社ギークビジュアルズ プロデューサー 司会・進行 川本 康 氏 株式会社玄光社 コマーシャル・フォト 統括編集長	Creative Summit 16:00 - 16:45 Mr. Axel Bonami MPC Film, VFX Supervisor Mr. SEONG HO JANG MOFAC INC. 司会・進行 結城 崇史 氏 INTER BEE CREATIVE ディレクター

INTER BEE CREATIVE MEET-UP

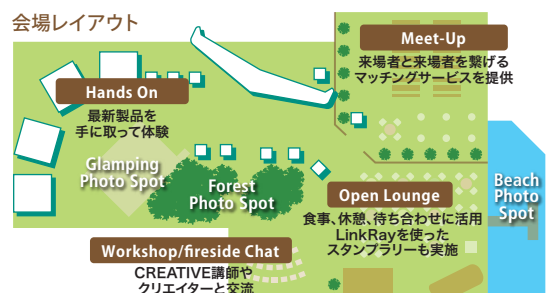
Powered by BACKSTAGE

クリエイターが集うフェス開催！

Inter BEE内に大きな庭が登場。体験展示コーナーとして、休憩の場として、クリエイターの情報交換の場として、様々な機能する多目的エリアを設置しました。

- 出展 (五十音順)**
 アドビシステムズ株式会社 / DJI Japan株式会社 / パナソニック株式会社 / パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社
- 特別協力 (五十音順)**
 株式会社スノーピーク / TACHIHI BEACH / BACKSTAGE (イベントレジスト株式会社、月刊イベントマーケティング、株式会社ホットスケープ) / フォレストサポーターズ (公益社団法人国土緑化推進機構) / HOT SHOT / 株式会社ユーコム / 株式会社ユニオンアルファ
- 協力 (五十音順)**
 グランドキリン / 株式会社シンク・デザイン / 西尾レントオール株式会社 / 株式会社ネットランドジャパン / 株式会社花とみどり社 / バルーン株式会社 / PRONews / やまぎやま創園

会場レイアウト



Result: Visitor Profile

■日別登録来場者の内訳

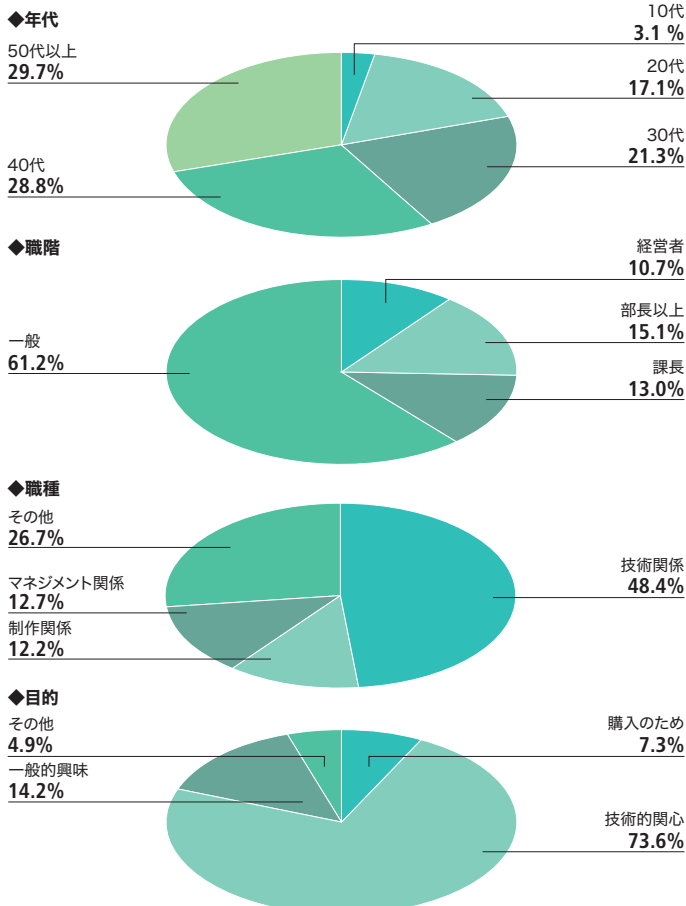
	11/15(水)	11/16(木)	11/17(金)	合計
国内登録来場者数	12,848	12,083	12,219	37,150
海外登録来場者数	517	298	118	933
合計	13,365	12,381	12,337	38,083

登録来場者数: **38,083**名(過去最多)

■登録来場者数の内訳

エリア	国・地域数/来場者数	国・地域別の来場者数
日本国内	1カ国/37,150名	日本 37,150名
アジア地域	13カ国・地域/682名	韓国 343名/中国 93名/台湾 91名/ インドネシア 46名/香港 40名/タイ 26名/ シンガポール 15名/フィリピン 10名/ ベトナム 9名/バングラディシュ 3名/ インド 3名/パキスタン 2名/マレーシア 1名
北中南米地域	4カ国・地域/39名	アメリカ合衆国 31名/カナダ 3名/ ブラジル 3名/コスタリカ 2名
大洋州地域	3カ国・地域/17名	オーストラリア 14名/サモア 2名/ ニュージーランド 1名
中東	5カ国・地域/13名	アラブ首長国連邦 5名/カタール2名/ イスラエル 2名/クウェート 2名/ サウジアラビア 2名
ヨーロッパ地域	10カ国・地域/40名	イギリス 13名/ドイツ 9名/スペイン 5名/ デンマーク 4名/イタリア 3名/フランス 2名/ オランダ 1名/ベルギー 1名/ オーストリア 1名/ロシア 1名
不明		142名
	36カ国・地域	38,083名

■来場者の属性



◆業種

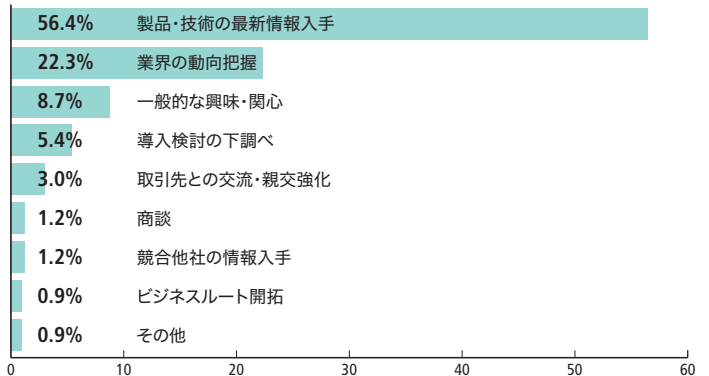
放送機器メーカー	13.0%	コンテンツ制作関連	3.4%
民間放送テレビ局	9.6%	インターネット関連	2.9%
その他ユーザ	9.4%	舞台・演出・美術・照明関連	2.4%
その他ゲスト	8.6%	CATV関係	2.1%
ポストプロダクション	7.1%	官公庁・団体	1.8%
学生	6.5%	施設・店舗関係	1.5%
映画・映像制作会社	6.1%	コンテンツ配信事業者	1.3%
商社	5.9%	広告代理店	1.1%
プロダクション	4.2%	ビデオソフト制作会社	0.9%
PA関係	4.0%	民間放送ラジオ局	0.7%
通信事業者	3.6%	レコード制作会社	0.5%
NHK	3.4%		

◆関心(複数回答)

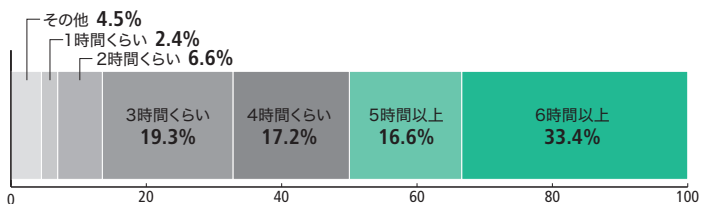
映像機器全般	56.6%	VTR・メモ리카ード・光ディスク	9.4%
オーディオ機器全般	32.3%	送出システム	8.7%
カメラ	26.6%	送信システム	8.4%
編集・制作装置	18.1%	マルチメディアシステム	7.5%
VR、AR、3D	16.1%	各種特機・周辺製品	7.3%
映像モニタ	15.1%	照明機器	7.2%
デジタルコンテンツ	11.4%	デジタルシネマ	6.4%
スピーカ	10.9%	測定機器	5.3%
パブリックビューイング、プロジェクトションマッピング、デジタルサイネージ	10.7%	OTT、SNS、セカンドスクリーン関連	4.5%
サーバ・ストレージ	10.6%	制作管理システム	4.4%
ソフトウェア	10.5%	美術・舞台演出関連	3.6%
ミキサ	10.4%	電源装置	3.1%
中継システム	10.4%	その他	1.1%
クラウドサービス関連	9.8%	無回答	2.2%
マイクロホン	9.7%		

■来場者アンケート

◆『Inter BEE 2017』にご来場された目的を教えてください。(複数回答)



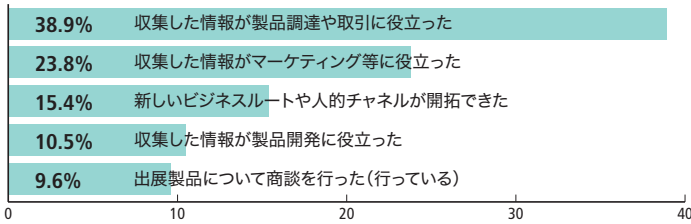
◆『Inter BEE 2017』で過ごされた時間を教えてください。



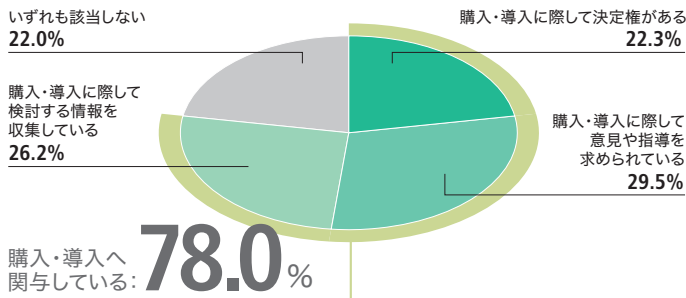
来場者の **50%** が **5時間以上** 滞在

Result: Exhibitor Profile

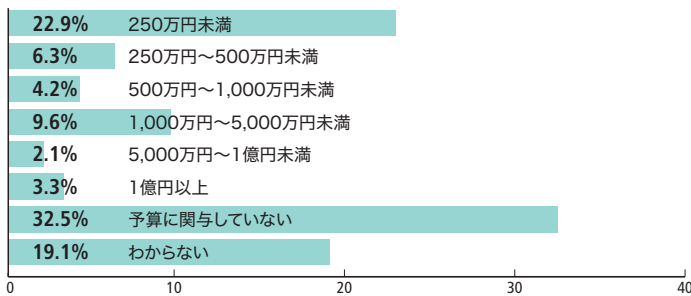
◆『Inter BEE 2017』を見学して、その後のビジネスに役立ちましたか。(複数回答)



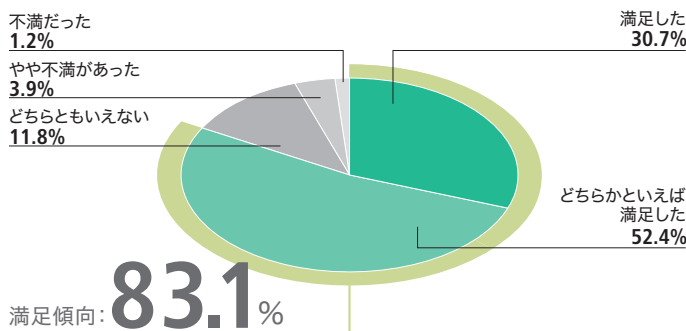
◆御社での製品・サービスの購入・導入にあたって、あなたはどの程度関与されていますか。



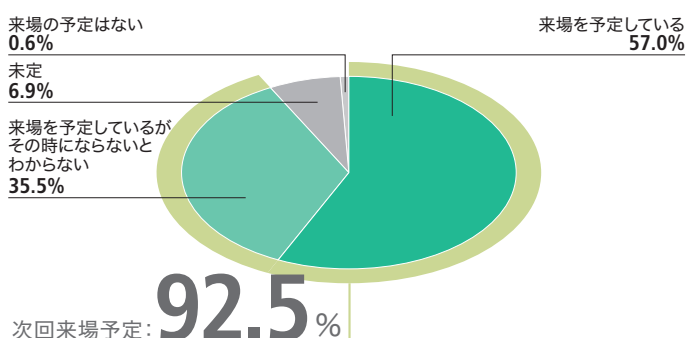
◆あなたが関与する製品・サービスの購入・導入に対する予算は、おおよそ年間いくらくらいですか。



◆Inter BEE 2017 全体を通して、どの程度満足しましたか。



◆次回の『Inter BEE 2018』にご来場いただけますか。



■出展者数

展示部門	出展者数	小間数
プロオーディオ部門	359社	365小間
映像表現/プロライティング部門	50社	73小間
映像制作/放送関連機材部門	628社	1,387小間
ICT/クロスメディア部門	102社	158小間
合計	1,139社	1,983小間

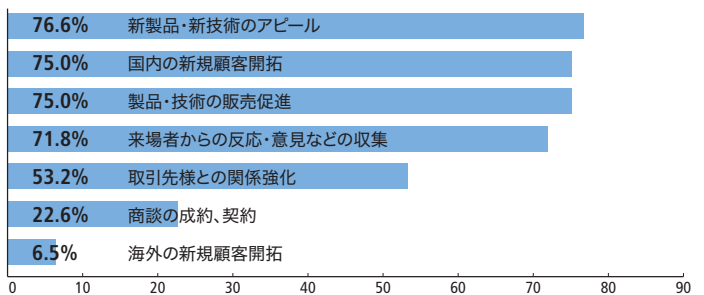
■登録出展者数の内訳

エリア	国・地域数/出展者数	国・地域別の出展者数
日本国内	1カ国/496社	日本496
アジア地域	5カ国・地域/105社	中国49/韓国29/台湾25/シンガポール1/インド1
北中南米地域	3カ国・地域/238社	アメリカ218/カナダ19/ブラジル1
大洋州地域	2カ国・地域/12社	オーストラリア10/ニュージーランド2
中東地域	1カ国・地域/9社	イスラエル9
ヨーロッパ地域	22カ国・地域/279社	ドイツ80/イギリス74/フランス21/オランダ16/イタリア14/スウェーデン13/スイス11/スペイン10/ベルギー9/デンマーク8/ノルウェー3/オーストリア3/ブルガリア3/フィンランド3/ハンガリー2/ラトビア2/トルコ2/ポルトガル1/ロシア1/リヒテンシュタイン1/チェコ1/スロバキア1
	34カ国・地域	1,139社

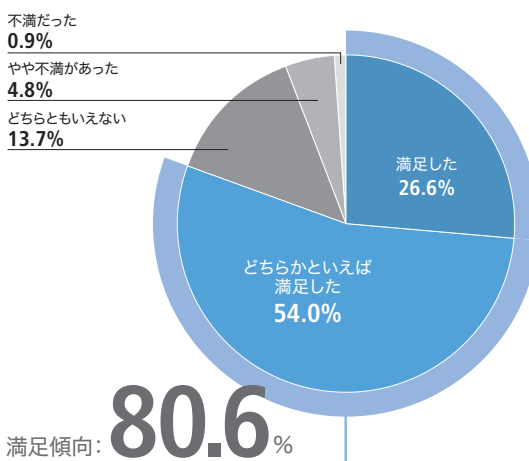
出展国・地域数: **34**カ国・地域
出展者数: **1,139**社

■出展者アンケート

◆出展した目的 (複数回答)



◆今回の目的達成の満足度



Result: Publication and Promotion

1. 広報活動(リリース配信実績)

- * 出展募集開始告知リリース(3/1)
- * 開催概要決定・入場事前登録開始告知リリース(9/27)
- * EXPERIENCE 概要決定告知リリース(10/12)
- * CONNECTED 概要決定告知リリース(10/17)
- * IGNITION 概要決定告知リリース(10/26)
- * CREATIVE 概要決定告知リリース(10/31)
- * 開幕告知リリース(11/14)
- * プレスルーム設置(11/15~17)
- * Inter BEE 2017速報リリース(11/16)
- * 閉幕リリース(11/18)

2. プレス登録者数

353名(うち海外6名)

4. 記事掲載(主な掲載実績)

掲載日	媒体名	内容
2/27	映像新聞	Inter BEE 2017 出展募集説明会開催
3/3	日刊放送ジャーナル	Inter BEE 2017 出展募集開始
3/6	映像新聞	Inter BEE 2017 出展募集開始 メディア総合イベントへ
3/10	電波タイムズ	JEITA Inter BEE 2017 出展募集を開始
3/15	見本市展示会通信	Inter BEE 2017 出展募集説明会開催
4月号	VIDEO JOURnAL	Inter BEE 2017 出展募集を開始
4/21	電波タイムズ	Inter BEE 2017 出展を募集
4/24	電波新聞	《電波時評》NABと国際放送機器展への期待
4/28	EVENT MARKETING	イベントのプロたちがみたSXSW~Inter BEE視察チーム
9/7	電波新聞	関連記事(50周年迎える欧州放送機器展・Inter BEEは53回目を迎える)
9/30	EVENT MARKETING	舞台裏からみる Inter BEEの楽しみ方
10月号	VIDEO JOURnAL	Inter BEE 2017 入場事前登録の受付を開始 過去最大規模
10/2	映像新聞	Inter BEE 2017 過去最大規模で開催 入場事前登録の開始
10/3	電波新聞	《電波時評》Inter BEE、事前登録始まる
10/9	電経新聞	Inter BEE 受付開始 幕張メッセ1~8ホール5万4000m ² 使用
10/20	電波新聞	《電波時評》放送機器展 民法技術報告会にも注目
10/20	電波タイムズ	Inter BEE 2017 特別企画「INTER BEE CONNECTED」実施
10/23	映像新聞	Inter BEEが11月に開催 多数のイベントを併催
10/31	電波新聞	《電波時評》国際放送機器展 映像表現技術に注目
11月号	FILM and Digital TIMES	Inter BEE 2017 特別号
11月号	VIDEO JOURnAL	Inter BEE 2017 開幕
11月号	B-maga	「Inter BEE 2017」開幕直前特集 注目の最新ソリューション
11月号	FDI	Inter BEE 2017 出展者情報(各社)
11/1	電波タイムズ	Inter BEE 2017特別企画 INTER BEE IGNITION概要決定
11/2	ビデオ通信	Inter BEE 2017特別企画 INTER BEE CREATIVEの概要が決定
11/6	電波新聞	関連記事(4K・8K実用放送 来年12月スタート)
11/6	映像新聞	Inter BEE 2017 特別企画が多数開催
11/7	週刊カメラタイムズ	幕張メッセで国際放送機器展 11月15日から3日間
11/8	電波新聞	《電波時評》4K・8K 官民一体で周知を
11/8	電波タイムズ	Inter BEE 2017 特別企画 15日開催 Society5.0で変わる新しいメディア体験
11/8	オートメーション新聞	Inter BEE 2017 特別企画 11月15日~17日 幕張メッセにて開催
11/13	映像新聞	Inter BEE 2017 開幕特集 2K・4K一体化制作進む NHK、キー局の需要反映
11/13	電線新聞	Inter BEE 2017 情通量の増加に繋がる最新技術・動向を紹介
12月号	SOUND DESIGNER	Inter BEE 2017 プロ用ヘッドホンやマイクの視聴体験イベントを開催
12月号	TV Technology 日本版	Inter BEE 2017 出展者情報(各社)

5. 国内テレビ放映 / ラジオ放送

放送日	放送局	番組名
11月14日(火)	日テレNews24	The Socials
11月15日(水)	NHK	NHKニュース
11月15日(水)	NHK	ニュースチェック11
11月15日(水)	NHKラジオ第一	NHKジャーナル
11月16日(木)	MXテレビ	TOKYO MX NEWS
11月25日(土)	フジテレビ	新・週刊フジテレビ批評
11月26日(日)	日本テレビ	SENSORS

6. 海外テレビ放映

放送日	放送局	番組名
11月16日(木)	RCN-TV	Wake Up FM (report1)
11月16日(木)	RCN-TV	News of the Day (report1)(再)
11月17日(金)	RCN-TV	Wake Up FM (report2)
11月17日(金)	RCN-TV	News of the Day (report2)(再)

※RCN TVは南米・コロンビアの主要民放ネットワークテレビ。放映エリアは米国60支局及びコロンビア国内で395万世帯に達する。

3. 印刷媒体掲載記事数

	Inter BEE 2017
開催前	135件
開催中	25件
開催後	211件
合計	371件

※2018.1.20現在

掲載日	媒体名	内容
12月号	NEW MEDIA	Inter BEE 2017 特集
11/15	電波新聞	きょうからInter BEE 2017 4K・8K衛星受信対策 来月から本格化
11/15	電波タイムズ	Inter BEE 2017 新たなメディアの可能性を世界に伝えよう
11/16	電波新聞	「Inter BEE」開幕 4K・8K一色 12G-SDI対応機器の展示目立つ
11/17	日経産業新聞	放送機器展示会「インタービー2017」8K時代の到来映す
11/17	電波タイムズ	「Inter BEE 2017」開幕 過去最多となる1139社が出展
11/20	電波新聞	計測器メーカー各社「Inter BEE」に出展 4K/8K向け製品など訴求
11/20	映像新聞	Inter BEE 2017 12G-SIDとIP 両極の動きが同時進行
11/20	ビデオ通信	Inter BEE 2017が開幕
11/21	電波新聞	「Inter BEE 2017」から(上) 4K・8K放送1年後に控え 対応の新製品一堂に
11/24	日刊自動車新聞	Inter BEE 2017開催 車関連でAR、VR活用も 幕張で放送機器展示会
11/27	映像新聞	Inter BEE 2017 8K制作機材が躍進
11/27	ビデオ通信	Inter BEE 2017特別企画 INTER BEE CREATIVE
11/28	日刊放送ジャーナル	Inter BEE 2017 放送と通信の融合を展示とプレゼンテーションで提案
12月号	B-maga	Inter BEE 2017 Report 4K・8K関連ソリューションが集結
12月号	APB	Reviews of Inter BEE 2017
12月号	VIDEO JOURnAL	Inter BEE 2017 開幕
12/1	毎日新聞	Inter BEE 2017 動画配信を支えるCDN 放送局自ら新会社設立
12/4	Digital Sound Market	Inter BEE・国際放送機器展 「4K・8K時代の到来」紹介
12/4	映像新聞	Inter BEE 2017レポート ネット活用の道筋整う
12/6	電波タイムズ	Inter BEE report 出展社・小間・来場者数とも過去最高 来年は11月14日に開催
12/7	日刊工業新聞	2017国際放送機器展 「4K」「8K」映像新時代 来年、実用放送スタート
12/11	映像新聞	ポストプロダクション各社 Inter BEE で技術を紹介 HDRやVFX、画像処理など
12/12	週刊カメラタイムズ	Inter BEE 2017 次世代放送機器で活況 写真業界各社からも製品出展
12/28	EVENT MARKETING	INTER BEE CREATIVE MEET-UP 目線に合わせてスピーカーと対話
1月号	SOUND DESIGNER	音と映像と通信のプロフェッショナル展 Inter BEE 2017 取材特集
1月号	放送技術	Inter BEE 2017 第53回国際放送機器展 特集
1月号	NEW MEDIA	Inter BEE 2017 「4K・8K実用放送」開始まで1年!
1月号	FDI	Inter BEE 2017 で注目を集めた衛星放送、衛星通信機器、VR
1月号	ラジオライフ	国際放送機器展 Inter BEE 2017開催! 最新映像技術が大集合
1月号	Mac Fan	国際放送機器展「Inter BEE 2017」に見る新技術への取り組み
1月号	日本カメラ	映像・放送の祭典 Inter BEE 2017 時代は8Kに突入!
1/15	電波新聞	関連記事(4K・8K元年へ普及活動強化 新たな放送の世界が開け)
2月号	NEW MEDIA	Inter BEE レポート 放送メディアを呑み込む新たなWAVE
2月号	放送技術	Inter BEE 2017 フォトリポート Part2

7. 広告掲載(国内)

発行日	掲載紙誌	発行日	掲載紙誌
4月1日・10月1日	月刊ニューメディア	9月28日	放送技術
4月15日・9月15日	ビデオジャーナル	9月30日	Stage&Sound Journal
4月20日・9月20日	月刊放送ジャーナル	10月11日・11月15日	電波タイムズ
4月24日・9月24日・11月6日	映像新聞	11月1日・11月8日	ビデオ通信
4月28日・10月28日	FDI(Full Digital Innovation)	11月8日	オートメーション新聞
5月18日・9月16日	PROSOUND	11月9日	サウンドデザイナー
9月10日	CG WORLD+digital video	11月10日	月刊「B-maga」
9月15日	ロケーションジャパン	11月13日	通信興業新聞
9月20日	ビデオサロン	11月15日	電波タイムズ
9月24日	サウンド&レコーディングマガジン	11月15日	電波新聞

8. 広告掲載(海外)

発行日	掲載紙誌	発行日	掲載紙誌
4月21日・10月1日	Asia Pacific Broadcasting (アジア放送)	5月1日~5月31日 10月1日~10月31日	科訊ネット (中国語版 web広告)
4月25日	NAB DAILY NEWS (米放送機器展)	9月15日	IBC DAILY NEWS (英放送機器展)

9. Inter BEE Official Mail Magazine

過去の来場者データベースおよび、2017年の事前登録者に向けて、「Inter BEE 2017 OFFICIAL MAIL MAGAZINE」を配信。

約 **100,000** 件 **26** 回配信

※情報配信可能なデータ件数

10. Inter BEE 公式 Website

◆サイト訪問数: **224,711** 件
(11月1日~30日)

Inter BEE Online Magazineでは、年間を通じて Inter BEE 出展者情報のもとより、関連展示会や業界最新ニュースなど、話題性の高い情報をいち早くキャッチアップして配信しています。

出展者事前取材記事: **26** 本

会場取材ビデオオンデマンド: **172** 本
(Inter BEE TV)



11. 公式Facebook

◆会期終了直後の「いいね!」数:

4,470 件 (対前年比 **106%**)

◆Facebookページから公式Websiteへのアクセス数:

10,208 件

12. 公式Twitter

◆Twitterフォロワー数 (最大):

1,456 件 (対前年比 **148%**)

13. メディアパートナー

関連業界紙誌にはメディアパートナーとして Inter BEE をサポートいただき、多くの出展者の記事を掲載いただいています。



新たなメディアの可能性を世界に伝えよう。

Broadmedia & Entertainment
Inter BEE 2018
11.14 [水] » 16 [金] 幕張メッセ

 INTER BEE ONLINE
www.inter-bee.com



Broadmedia & Entertainment
Inter BEE



■主催：**JEITA** 一般社団法人電子情報技術産業協会

■お問い合わせ：

一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会（JESA）

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-1-3 大手センタービル5階

電話：(03)6212-5231 FAX：(03)6212-5225